

令和4年度

# 福岡県立美術館年報

## 目 次

沿革	1
展覧会事業一覧	4
月別入館者数一覧	5
展覧会事業	
1 常設展	6
2 企画展	12
3 共催展	21
貸館事業	40
普及事業	44
スクール・ミュージアム事業（アートコース）	46
収集事業	48
博物館実習	52
美術作品の貸出	53
どこでもケンピ（バーチャル美術館事業）	54
組織図・名簿	55
主要各室概要	56
建築概要	58
設備概要	59
年度別入館者状況	60
企画展の開催状況一覧	61
共催展（実行委員会方式）の開催状況一覧	62
福岡県美術展覧会（県展）の開催状況一覧	64
県展巡回展の開催状況一覧	65
主要貸館展の開催状況一覧	66
美術館利用案内	67

## 沿 革

昭和 29 年 3 月	福岡文化センター建設期成連盟（会長・荒川文六）を結成
昭和 35 年 9 月 10 日	福岡県と福岡市の間で、須崎公園の一角に文化センターを建設する話合いが進められ、知事と市長が覚書を交換。市が市民会館を、県が図書館と美術館を建設することを決定
昭和 38 年 2 月	県は図書館に美術館を併置した文化会館を建設することとし工費 34,056 万円をもって 2 月 15 日着工、翌 39 年 8 月 15 日落成
昭和 39 年 11 月 3 日	文化会館が中央区天神 5 丁目に開館、鉄筋コンクリート 4 階建て、書庫地下 1 階、地上 7 階、延べ 7,205 m <sup>2</sup>
昭和 54 年 12 月	文化会館が図書資料の増大等により手狭になったため、新しく県立図書館を建設するための基本設計費が 12 月県議会において議決
昭和 55 年 8 月 8 日	福岡県文化会館を美術専門の施設として活用することについて、福岡県文化会館改築検討委員会発足
昭和 57 年 6 月 2 日	福岡県文化会館改築検討委員会から「福岡県文化会館の基本構想—新しい出発に際して—」提案
昭和 58 年 6 月	福岡県文化会館改築設計費が 6 月県議会にて議決
昭和 59 年 3 月	福岡県文化会館改築工事費が 3 月県議会にて議決
昭和 59 年 7 月 1 日	改築工事のため福岡市早良区百道に県文化会館美術部仮事務所設置
昭和 59 年 7 月 6 日	美術館部門は、総工費約 14 億円を持って全面改築工事起工
昭和 60 年 3 月 31 日	『尾形家絵画資料目録』を発行
昭和 60 年 7 月 30 日	「福岡県立美術館組織規則」（教育委員会規則第 8 号）制定 「福岡県立美術館協議会規則」（教育委員会規則第 9 号）制定
昭和 60 年 7 月 31 日	県立美術館改築工事竣工
昭和 60 年 8 月 1 日	「福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例」を一部改正し、県立美術館及び美術館協議会を設置
昭和 60 年 10 月 22 日	「福岡県立美術館の利用等に関する規則」（教育委員会規則第 11 号）制定
昭和 60 年 11 月 2 日	「福岡県立美術館使用料条例施行規則」（県規則第 62 号）改正
昭和 60 年 11 月 3 日	県立美術館開館
昭和 60 年 11 月 3 日	開館記念特別展「現代美術の展望'85 FUKUOKA変貌するイメージーション」開催
昭和 60 年 11 月 3 日	館ニュース「とっぷらいと」創刊号を発行
昭和 60 年 12 月 24 日	博物館法第 10 条により博物館登録原簿に登録
昭和 61 年 3 月 31 日	『尾形家絵画資料図版』を発行
昭和 61 年 11 月 13 日	日本博物館協議会全国大会を幹事県として開催
昭和 62 年 7 月 2 日	実行委員会方式による第 1 回展として「第 42 回春の院展」を開催
平成 2 年 3 月 30 日	「福岡県立美術館美術品取得基金条例」（条例第 15 号）制定
平成 2 年 7 月 23 日	「福岡県立美術館美術品取得基金管理規則」（県規則第 35 号）制定
平成 2 年 10 月 6 日	とびうめ国体記念展として「ホノルル美術館所蔵品によるヨーロッパ・アメリカの版画展」及び「福岡県現代の工芸秀作展」を開催
平成 3 年 3 月 6 日	第 1 回福岡・佐賀・長崎三県合同企画展「西洋絵画への挑戦」を開催
平成 3 年 7 月 30 日	アジア・ジュニア美術展福岡'91（第 1 回）を開催
平成 3 年 7 月 31 日	県立美術館外壁工事終了
平成 4 年 3 月 5 日	第 2 回福岡・佐賀・長崎三県合同企画展「西國工芸博覧會」を開催
平成 4 年 4 月 1 日	「福岡県立美術館使用料条例」（条例第 27 号）改正し、展示室の観覧料、展示室の使用料及び視聴覚室の使用料を改定
平成 4 年 6 月 29 日	「美術館連絡協議会」に新規加盟
平成 4 年 10 月 3 日	ハイビジョン静止画システムを導入し、ハイビジョンギャラリーを開設
平成 4 年 10 月 20 日	九州博物館協議会第 22 回学芸員・事務職員研修会を幹事県として開催
平成 5 年 2 月 11 日	第 3 回福岡・佐賀・長崎三県合同企画展「黄檗禅の美術」を開催
平成 5 年 8 月 3 日	アジア・ジュニア美術展福岡'93（第 2 回）を開催
平成 5 年 10 月 7 日	西瀬戸 7 県合同企画展「西瀬戸近代美術展」開催

平成 5 年 10 月 9 日	国立アジア文明博物館の誘致実現に向けた、日中韓合同企画「アジア文明交流展」（主催：アジア文明交流展実行委員会）を開催
平成 5 年 11 月 8 日	美術図書館に児童生徒用の図書コーナー設置
平成 6 年 9 月 6 日	第 50 回県展開催
平成 6 年 9 月 17 日	第 50 回福岡県美術展覧会記念講演会
平成 6 年 11 月 20 日	大内田茂士遺作収蔵庫設置
平成 7 年 3 月 31 日	『大内田茂士遺作受贈目録』を発行
平成 7 年 7 月 21 日	アジア・ジュニア美術展福岡'95（第 3 回）を開催
平成 7 年 9 月 15 日	『福岡県立美術館所蔵名作 50 選』を発行
平成 7 年 9 月 17 日	福岡県立美術館開館 10 周年記念巡回展「移動美術館－郷土美術のパイオニアたち」を開催
平成 7 年 11 月 11 日	福岡県立美術館開館 10 周年記念展「郷土美術名鑑－美のパイオニアたち」を開催
平成 8 年 3 月 31 日	『福岡県立美術館所蔵品目録』を発行
平成 9 年 4 月 1 日	「福岡県立美術館使用料条例」（条例第 59 号）改正し、展示室の観覧料、展示室の使用料及び視聴覚室の使用料を改定
平成 9 年 10 月 9 日	九州北部三県文化交流展 生誕 100 年記念「中村琢二展」開催
平成 11 年 3 月 18 日	『福岡県展史 1940－1994』を発行
平成 14 年 4 月 1 日	「福岡県立美術館使用料条例施行規則」（福岡県規則第 6 号）を改正し、展示室の観覧料の高校生以下について全土曜日を無料に改正
平成 15 年 8 月 4 日	国の緊急地域雇用創出特別基金事業に基づく「福岡県立美術館所蔵品デジタル化・巡回展示会事業」に着手
平成 17 年 3 月 20 日	福岡県西方沖地震により、施設設備及び美術品の一部損壊
平成 17 年 11 月 12 日	第 18 回全国健康福祉祭ふくおか大会ねりんピックふくおか 2005 美術展開催
平成 17 年 11 月 12 日	常陸宮・常陸宮妃両殿下美術展開会式御臨席
平成 19 年 3 月 23 日	～ 平成 20 年 8 月 28 日
	福岡県立美術館将来構想検討委員会開催（第 1 回～第 5 回）
平成 19 年 9 月～12 月	財団法人 地域創造の助成により平成 19 年度公立美術館活性化事業「北部福岡アート・トライアングル」を県立美術館、春日市ふれあいセンター、甘木歴史資料館で実施
平成 20 年 8 月	福岡県立美術館将来構想検討委員会の報告「新しい福岡県立美術館のあり方について」公表
平成 21 年度	福岡県教職員互助会との共催により、スクール・アートバス事業開始
平成 23 年度	福岡市のミュージアム 3 館（福岡市博物館、福岡市美術館、福岡アジア美術館）が連携して開催してきた「福岡ミュージアムウィーク」に新たに参加
平成 23 年 9 月	県立美術館入館者 500 万人達成
平成 24 年度	福岡県教職員互助会、福岡県青少年科学館との共催により、スクール・アートバス事業の後継事業としてアート・サイエンスの 2 つのコースを設けたスクール・ミュージアムバス事業開始
平成 24 年 4 月 1 日	博物館法等改正に伴い、「福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例」及び「福岡県立美術館協議会規則」を改正し、協議会委員の任命基準等を追加
平成 25 年度	スクール・ミュージアムバス事業をスクール・ミュージアム事業に改称
平成 25 年度	福岡市内のミュージアムが連携して情報発信活動を行う「ふくおかミュージアム連絡会議」に参加
平成 26 年 1 月 5 日	建物の耐震基準をクリアするため、耐震工事を実施するとともに臨時休館（～ 8 月 31 日）
平成 26 年 4 月 1 日	「福岡県立美術館使用料条例」（条例第 7 号）改正し、展示室の使用料及び視聴覚室の使用料を改定
平成 26 年 10 月 4 日	福岡県文化会館建設 50 年記念「とととと？ きおく×キロク＝」展開催
平成 26 年 11 月 29 日	～ 平成 28 年 5 月 8 日
	福岡県立美術館開館 30 周年記念 コレクション展連続企画 2014-15 開催（第 1 弾～第 4 弾）
平成 27 年 11 月 15 日	～ 平成 29 年 3 月 5 日
	福岡県立美術館基本構想検討委員会開催（第 1 回～第 5 回）

平成 27 年 12 月 4 日	福岡県立美術館開館 30 周年記念「没後 40 年 高島野十郎展」開催
平成 28 年 2 月 15 日	空調設備改修工事のため臨時休館（～3 月 28 日）
平成 28 年 3 月	『福岡県立美術館コレクション・アルバム 1964-2014』を発行
平成 29 年 3 月	福岡県立美術館基本構想検討委員会報告
令和 元年 10 月 1 日	「福岡県立美術館使用料条例」（条例第 7 号）改正し、展示室の使用料及び視聴覚室の使用料を改定
令和 元年 10 月 23 日	新・福岡県立美術館建設地選定委員会開催
令和 2 年 1 月 16 日	同委員会報告
令和 2 年 1 月 27 日	同委員会報告を受け、新・福岡県立美術館の建設地（大濠公園内）決定
令和 2 年 2 月 28 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（～5 月 18 日）
令和 2 年 7 月 20 日	第 1 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 2 年 11 月 13 日	第 2 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 3 年 2 月 21 日	第 3 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 3 年 3 月 29 日	「どこでもケンピ」（福岡県立バーチャル美術館・edukenbi えでゅけんぴ）開設
令和 3 年 5 月 12 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（～5 月 14 日） （5 月 15 日～6 月 20 日は部分開館）
令和 3 年 5 月 29 日	第 4 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 3 年 8 月 6 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（～9 月 6 日） （9 月 7 日～9 月 12 日は部分開館）
令和 3 年 8 月 29 日	第 5 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 3 年 11 月 11 日	第 6 回新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催
令和 3 年 11 月 30 日	「新福岡県立美術館基本計画」策定
令和 4 年 11 月 28 日	「新福岡県立美術館整備事業基本設計プロポーザル」一次審査開催
令和 5 年 1 月 21 日	「新福岡県立美術館整備事業基本設計プロポーザル」二次審査開催 株式会社 隈研吾建築都市設計事務所が設計者に決定
令和 5 年 2 月 28 日	熱源改修工事のため臨時休館（～6 月 4 日）

# 令和4年度 展覧会事業一覧

## ◆コレクション展

展覧会名	開催期間 (開催日数)	主 催	入場者数 (人)
コレクション展Ⅰ 特集:ケンピ・カワイイ・コレクション 2022	4. 3. 19～4. 6. 5 (69 日間)	福岡県立美術館	3,805
コレクション展Ⅱ 特集:高島野十郎の世界	4. 6. 11～4. 9. 1 (71 日間)	福岡県立美術館	3,715

## ◆企画展

展覧会名	開催期間 (開催日数)	主 催	入場者数 (人)
郷土の美術をみる・しる・まなぶ2022 牛島智子 2重らせんはからまない	4. 10. 15～4. 12. 4 (44 日間)	福岡県立美術館	2,032
寄贈記念展 野見山暁治	4. 12. 17～5. 2. 12 (43 日間)	福岡県立美術館	5,266

## ◆共催展

展覧会名	開催期間 (開催日数)	主 催	入場者数 (人)
杉浦非水 時代をひらくデザイン	4. 4. 15～4. 6. 12 (52 日間)	杉浦非水展 福岡会場実行委員会	11,590
第77回福岡県美術展覧会「県展」	4. 9. 6～4. 10. 2 (24 日間)	福岡県美術展覧会 実行委員会	7,200
日本の切り絵 7人のミュージズ	4. 10. 28～4. 12. 25 (51 日間)	近代日本絵画の名作展 福岡会場実行委員会	9,463
令和4年度 福岡県立美術館所蔵品巡回展 「移動美術館展」	5. 2. 4～5. 2. 26 (20 日間) (八女市:八女市田崎廣助美術館にて開催)	令和4年度 福岡県立美術館所蔵品巡回展 「移動美術館展」実行委員会	2,016

# 令和4年度 月別入館者数一覧

月	常設展	企画展	共催展	貸館展	移動展 (八女市)	イベント 講演会等	小計	美術 図書室	ビデオ ブース	ハイビジョン ギャラリー	カフェ テラス	小計	合計
4	828		1,845	2,418		46	5,137	212		198	673	1,083	6,220
5	2,292		5,696	1,291		450	9,729	246		258	1,089	1,593	11,322
6	1,314		4,049	4,515		53	9,931	251		366	972	1,589	11,520
7	1,261			3,976		27	5,264	226		324	542	1,092	6,356
8	1,396					0	1,396	237		372	329	938	2,334
9	79		6,280			139	6,498	197		288	789	1,274	7,772
10		432	1,519	6,532		360	8,843	181		276	723	1,180	10,023
11		1,339	4,284	1,948		596	8,167	234		222	569	1,025	9,192
12		892	4,580	1,463		162	7,097	227		276	719	1,222	8,319
1		1,899		11,739		41	13,679	306		504	802	1,612	15,291
2		2,736		12,510	2,016	154	17,416	447		726	934	2,107	19,523
3													
計	7,170	7,298	28,253	46,392	2,016	2,028	93,157	2,764	0	3,810	8,141	14,715	107,872

※1 ビデオブースは当面の間使用中止

※2 美術館改修工事のため、令和5年2月28日から3月31日まで臨時休館。

## コレクション展 I ケンビ・カワイイ・コレクション 2022

◆会 期：令和4年3月19日(土)～6月5日(日) 69日間

◆会 場：4階展示室

◆観覧料：一般210(170)円、高大生140(110)円、小中生60(50)円

\* ( ) 内は20名以上の団体割引料金

\* 以下の方々を無料とした。

65歳以上の方、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその介護者、教職員が引率する小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の児童・生徒及びその引率者、土曜日来館の高校生以下の方

◆入場者数：3,805人

◆展覧会概要：

本展は、今や世界で通じる日本語のひとつとなった「カワイイ」に注目した。人によって感じる「カワイイ」は多様であり、「ゆるカワイイ」など「カワイイ」の派生語も発生し、多種多様な展開を見せる「カワイイ」について、当館収蔵作品から考える展示とした。「枕草子」にある「うつくしきもの」を紹介する序章に始まり、広くカワイイとされる「こども、いきもの、まもりたいもの」、カワイイと感じる対象の大きさに注目した「ちいさいもの、おおきいもの」、また同じく色や形に注目した「いろ、かたち」、そして、カワイイの多様な展開を見せる「きれいな、はかない、ふしぎなもの」という、5つの章で構成した。間には、ミニコーナーとして同時期開催の「杉浦非水展」に関連した非水展コーナー、世界水泳(2022年開催予定が2023年に延期)コーナーを設けた。全体にゆるやかで親しみやすいテーマ設定で幅広い作品を展示し、美術館入門編のような展覧会を目指した。

以前はコレクション展では毎週土曜日のギャラリートークを開催していたが、会期中4回のみで開催に絞り、代わりに作品鑑賞の手助けになるようなワークシート「福岡県美パスポート」の配布と、常設イベント「ケンビ・カワイイ・総選挙 2022」を開催した。総選挙では、展示を見て気に入った作品をひとつ選び、付箋にコメントを書いて貼ってもらうというもので、予想以上の参加があった。

また、同時期に福岡県内で「カワイイ」をテーマとした展示が偶然にも重なり、その中でも九州国立博物館で開催していた「カワイイ考古学のススメ」展と広報協力をお願いし、双方に展示紹介パネルとチラシを配架した。

◆関連事業：

- ・ギャラリートーク(3/19(土)、4/16(土)、5/21(土)、6/5(日)計4回、参加者計29名)
- ・九州国立博物館「カワイイ考古学のススメ」展との相互広報協力

◆作成印刷物：展覧会広報用ミニチラシ／出品リスト／出品作家解説／

ワークシート「福岡県美パスポート」(ひらがな多め・漢字多め)

◆記事・報道等：

- ・NHK福岡「はっけんTV」(テレビ放映)、2022年4月20日
- ・「ケンビ・カワイイ・コレクション2022」『西日本新聞』2022年4月1日朝刊
- ・「展覧会 ケンビ・カワイイ・コレクション2022」『朝日新聞』2022年4月12日夕刊
- ・諏訪部真「『ケンビ・カワイイ・コレクション2022』愛らしい絵や工芸品120点」『西日本新聞』2022年5月28日朝刊



2022年度コレクション展 I「ケンビ・カワイイ・コレクション2022」展示作品リスト

会場：福岡県立美術館4階展示室 会期：2022年3月19日(土)～6月5日(前期：4月24日(日)まで/後期：4月26日から)

作家名	作品名	サイズ(cm)	素材・技法	制作年	
<b>序章 うつくしきもの「枕草子」にみる日本の「可愛い」</b>					
1 山田嘉助	仔犬図	40×57	紙本淡彩	制作年未詳	前期
2 作者不詳	仔犬図	49×75	紙本淡彩	宝暦10年(1760)	後期
3 作者不詳	仔犬図	82×51	紙本墨画	制作年未詳	前期
4 村井円吉	仔犬図	79×51	紙本墨画	制作年未詳	後期
5 作者不詳	三猿図	28×40	紙本淡彩	制作年未詳	前期
6 山田嘉助	布袋図	41×38	紙本淡彩	制作年未詳	前期
7 山田嘉助	猿曳図	51×34	紙本墨画	制作年未詳	後期
8 尾形洞眼	狐僧正図	41×60	紙本淡彩	制作年未詳	後期
9 作者不詳	群牛図	26×49	紙本墨画	制作年未詳	前期
10 尾形探香	馬図	49×32	紙本墨画	文政5年(1822)	前期
11 作者不詳	牛図	16×26	紙本墨画	制作年未詳	後期
12 作者不詳	野馬図	46×63	紙本墨画	制作年未詳	後期
13 小方守興	大根図	35×40	紙本墨画	延寶元年(1673)	前期
14 作者不詳	猪図	39×49	紙本墨画	制作年未詳	前期
15 作者不詳	茄子図	23×27	紙本墨画	制作年未詳	後期
16 作者不詳	鮫図	41×65	紙本淡彩	制作年未詳	後期
17 作者不詳	鶏図	42×57	紙本墨画	制作年未詳	前期
18 尾形探香	雉鳩図	74×41	紙本墨画	天保6年(1835)	前期
19 山田嘉助	雁図	47×59	紙本墨画	寛政4年(1792)	後期
20 作者不詳	矮鶏図	26×40	紙本墨画	制作年未詳	後期
21 尾形洞眼	白鷹図	99.5×39.5	絹本着色	江戸時代後期	前期
22 尾形洞眼	矮鶏図	28.3×56.7	絹本着色	江戸時代後期	後期
23 藤島耕山	花卉蔬菜図	127.6×50.0	絹本着色	近代	個人寄託 前期
24 福田平八郎	芍薬と猫図	126.5×35.3	絹本着色	制作年未詳	個人寄託 後期
25 富田溪仙	牡丹唐獅子図	131.6×41.0	絹本着色	制作年未詳	前期
26 富田溪仙	牡丹唐獅子	128.8×36.1	絹本着色	昭和4年(1929)	個人寄託 後期
27 松本豊太	阿新丸	120.1×40.8	絹本着色	制作年未詳	前期
28 松本豊太	菜の花	134.8×31.5	油彩・画布(軸装)	大正12年(1923)	後期
29 熊谷守一	松虫草	33.3×23.9	油彩・板	昭和28年(1953)	個人寄託
30 高島野十郎	さくらんぼ	15.7×22.6	油彩・板	昭和31年(1956)頃	
31 高島野十郎	冬の鳥	27.3×22.0	油彩・板	制作年未詳	

**第1章 こども、いきもの、まもりたいもの**

32 鹿児島寿蔵	短歌巻「御園 子ども長袴」	51.6×65.3	紙本墨畫(大高楨紙)	制作年未詳	
33 鹿児島寿蔵	短歌巻「鳥の窟」	56.0×23.8	紙本墨畫	制作年未詳	
34 鹿児島寿蔵	短歌巻「吾が庭に」	27.0×42.0	紙本墨畫・墨画淡彩	制作年未詳	
35 鹿児島寿蔵	紙型人形「みづく太夫」	高11.2 幅7.0	紙型	昭和初期	
36 鹿児島寿蔵	紙型人形「鷲と良弁」	高8.8	紙型、自染和紙	昭和47年(1972)	
37 鹿児島寿蔵	紙型人形「太子孝養之像」	高12.0	紙型、自染和紙	昭和30年(1955)頃	
38 鹿児島寿蔵	紙型人形「朱衣の太子」	高12.5	紙型、自染和紙	昭和45年(1970)	
39 鹿児島寿蔵	紙型人形「海の幸」	高9.3	紙型、自染和紙	昭和43年(1968)	
40 鹿児島寿蔵	紙型人形「なごさの裸女」	高3.4	紙型、自染和紙	昭和45年(1970)	
41 鹿児島寿蔵	紙型人形「日灼けの裸女」	高5.8	紙型、自染和紙	昭和45年(1970)	
42 富永朝堂	潮濤環	高88.5	ブロンズ	昭和15年(1940)	
43 中牟田三治郎	白水仙競技メダル	径12.4 厚2.5	石膏	昭和3年(1928)	
44 安永良徳	優勝牌(東京小学校児童水泳大会)	高15.0 幅18.5 奥行18.5	石膏・着色	昭和9年(1934)	
45 安永良徳	天使像	6.0×8.2	石膏・着色	制作年未詳	
46 久留米耕	水天宮 松梅帆掛船	223.0×159.0	藍染綿織物	明治32年(1899)頃	個人寄託
47 大村清隆	愛児を抱く	総高179.0(像高166.0)	木彫	昭和28年(1953)	
48 山崎秀雄	牛	総高37.2 全長57.5	木彫(種)・着色	昭和55年(1980)	
49 津上昌平	愛犬	高148.7	石膏・着色	昭和5年(1930)	
50 北原鹿次郎	ごろつくへえぞう	総高118.0、像高100.5	木彫	大正14年(1925)	
51 早川朝洋	みいくさと児	高124.0	木彫・着色	昭和17年(1942)	
52 坂本繁二郎	山羊のいる風景	60.4×45.4	水彩・紙	大正7年(1918)	
53 坂本繁二郎	牛	39.5×59.2	墨・紙	昭和10年(1935)頃	個人寄託 後期
54 安藤義茂	猫	50.0×60.5	水彩(刀画)・紙	昭和25年(1950)	福岡県立八幡高等学校寄託
55 藤田吉香	静物	162.2×162.2	油彩・画布	平成3年(1991)	
56 藤田吉香	鶏図	33.5×24.0	油彩・画布	昭和63年(1988)	個人寄託
57 平戸	瑠璃釉獅子形香炉	総高7.7 口径3.8 胴径8.5	磁器	天保頃	
58 産地未詳	三彩獅子形水滴	高26.4	陶器	近代	
59 田香	宝袋形香炉	高13.6 最大径24.1 底径15.7	陶器	江戸時代後期	
60 有田	染付蝶文皿	高3.8 口径15.3	磁器	明治以降	
61 小代	黒釉魚形鉢	高6.6 口径11.3 底径6.8	陶器	江戸後期(19世紀前半)	
62 富永朝堂	扇す手板彫	9.0×12.0~28.2×19.8	木彫・素地	大正4~5年(1915-1916)	
63 富永朝堂	鷲	幅11.0 奥行20.8 高38.5	木彫・着色(胡粉、一部墨)	昭和26年(1951)	
64 城下久実	ほろほろ鳥	高18.3 幅31.5	磁器	昭和36年(1961)	個人寄託
65 江藤日出男	遠い日	高17.5 径(帽子)41.5	鍍銀	昭和56年(1981)	
66 藤崎 真	子供と猫	116.8×72.5	油彩・画布	昭和23年(1948)	
67 中村琢二	小犬と女	130.3×97.0	油彩・画布	昭和43年(1968)	
68 中村琢二	宝満山秋色	44.0×51.6	油彩・画布	昭和30年(1955)	
69 島田美津	夏の午后	90.9×116.7	紙本着色	平成8年(1996)	
70 坂 宗一	村の鷓鴣	116.7×91.0	油彩・画布	昭和17年(1942)	
71 蓮尾辰雄	塚の内	71.0×135.5	紙本着色	昭和60年(1985)	
72 石橋美三郎	子供(雷雄の像)	73.3×61.0	油彩・画布	昭和4年(1929)	

**第2章 ちいさいもの、おおきいもの**

73 山口長男	曲形	33.3×24.3	油彩・板	昭和38年(1963)	
74 山口長男	地形	182.0×182.0	油彩・板	昭和35年(1960)	
75 高鶴 元	パンキン C84-8	高33.5 長径58.0 短径49.0	陶器	昭和59年(1984)	
76 高鶴 元	パンキン B83-12	高15.2 長径32.0 短径26.7	陶器	昭和58年(1983)	
77 高鶴 元	パンキン B83-6	高13.5 長径27.0 短径23.5	陶器	昭和58年(1983)	
78 高鶴 元	パンキン B83-10	高10.3 長径23.0 短径20.5	陶器	昭和58年(1983)	
79 永 武	どきどきしたいな	91×182	テンペラ、油彩・綿布	平成19年(2007)	
80 永 武	どきどきしたいな	91×91	テンペラ、油彩・綿布	平成27年(2015)	
81 豊福知徳	作品	高さ21×幅10×奥行5	ブロンズ	昭和41年(1966)	
82 豊福知徳	作品	高さ14.5×幅14×奥行0.7	ブロンズ	昭和62年(1987)	
83 豊福知徳	作品	高さ33×幅30×奥行12.5	ブロンズ	平成11年(1999)	
84 豊福知徳	作品	高さ40×幅17.5×奥行4	ブロンズ	平成12年(2000)	
85 豊福知徳	構成[PA.]	高さ19×幅20.5×奥行5.5	ブロンズ	昭和47年(1972)	

**第3章 いろ、かたち**

86 高鶴 元	ニューイングランドのサンシャイン	高63.0 胴径35.0	陶器	昭和60年(1985)	
87 豊田勝秋	曜日	高22.5 最大径17.5	鍍銀	昭和11年(1936)	
88 伊藤彰耳	集まる力と束ねる力	160×360	紙本着色	令和元年(2019)	
89 荒巻大祐	草紅葉	228.0×182.0	紙本着色	平成5年(1993)	
90 荒巻大祐	かものはし	182.0×223.0	紙本着色	平成6年(1994)	
91 松枝玉記	久留米餅着物「群鶴」	身丈170.3 拵60.1	藍染綿織物	昭和58年(1983)	前期
92 松枝玉記	久留米餅着物「水に湛る象」	身丈160.4 拵65.9	藍染綿織物	昭和54年(1979)	前期
93 釜我敏子	型絵染着物「麦秋」	身丈168.0 拵67.0	絹地型染	昭和63年(1988)	前期

94	釜我敏子	型絵染羽織「熊谷草」	身丈81 拵66	綿地型染	昭和45年(1970)	後期
95	釜我敏子	型絵染着物「山芹文」	身丈158.0 拵68.0	綿地型染	平成6年(1994)	後期
96	松枝哲哉	久留米絳着物「驟雨」	身丈153.0、拵64.0	藍染絳織物	昭和60年(1985)	後期
97	池松一隆	Sep-05	20×48×32	石(花崗岩(黒・赤))	平成17年(2005)	
98	赤星信子	赤い構図	129.4×161.4	油彩・画布	昭和49年(1974)	
99	足達 襄	イタリア森のポピー	53.5×45.5	油彩・画布	平成10年(1998)	
100	松村三之	うみさち	162.1×130.3	油彩・画布	昭和48年(1973)	
101	木下邦子	みやげ	108.0×137.0	油彩・画布	昭和50～51年(1975-1976)	
102	李田たけを	春の曲	45.4×38.0	油彩・画布	制作年未詳	
103	中村琢二	西伊豆	58.7×115.5	油彩・画布	昭和62年(1987)	
104	大内田茂士	外国の水辺	65.0×50.0	油彩・画布	制作年未詳	
105	渡辺 森	いちじく	91.0×116.7	紙本着色	昭和30年(1955)	
106	坂 宗一	桜とあじさい	69.0×43.8	紙本着色画着色	昭和45～64年(1970-1989)	前期
107	坂 宗一	役者ダコ	68.4×45.5	紙本着色画着色	昭和45～64年(1970-1989)	前期
108	坂 宗一	漁師	68.4×45.5	紙本着色画着色	昭和45～64年(1970-1989)	後期
109	坂 宗一	味噌すり	68.4×45.5	紙本着色画着色	昭和45～64年(1970-1989)	後期
110	阿部金剛	Rien No.1	115.2×89.5	油彩・画布	昭和4年(1929)	
111	宇治山哲平	碗	89.0×63.6	油彩・画布	昭和45年(1970)	

#### 第4章 きれいな、はかない、ふしぎなもの

112	高島野十郎	カンナとコスモス	53.1×40.9	油彩・画布	昭和33年(1958)頃	
113	高島野十郎	けし	60.2×50.0	油彩・画布	昭和41年(1966)以降	
114	高島野十郎	ぼらとりんご	51.8×44.1	油彩・画布	昭和38年(1963)頃	個人寄託
115	高島野十郎	こぶしとリンゴ	45.6×37.7	油彩・画布	昭和41年(1966)頃	
116	永 武	何でもない日	91×91	テンペラ・綿布	平成10年(1998)頃	
117	永 武	権のない舟	182×91	テンペラ、油彩・綿布	平成25年(2013)	
118	秋山祐徳太子	虹の皇帝	72.8×91.2	アクリル絵具・画布	昭和63年(1988)	
119	大浦ころ	落ちていくスミレちゃん	194.0×130.3	油彩・画布	平成7年(1995)	
120	江上茂雄	『私の鐘魂花譜』シリーズより		鉛筆、水彩・紙	昭和13-38年(1938-1968)前後	個人蔵
121	児島虎次郎	婦人像	58.6×48.2	油彩・画布	制作年未詳	個人寄託
122	山喜多二郎太	静物	90.8×116.7	油彩・画布	昭和12年(1937)	
123	山喜多二郎太	はる	97.0×145.5	油彩・画布	昭和37年(1962)	
124	熊野礼夫	イヤリング	130.0×80.0	油彩・画布	昭和32年(1957)	

※ 特記のないものは福岡県立美術館所蔵です。

## コレクション展Ⅱ 特集：高島野十郎の世界

◆会 期：令和4年6月11日(土)～令和4年9月1日(木) 71日間

◆会 場：4階展示室

◆観覧料：一般210(160)円、高大生140(100)円、小中生60(50)円

\* ( )内は20名以上の団体割引料金

\* 以下の方々を無料とした。

65歳以上の方／身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその介護者／教職員が引率する小・中・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の児童生徒及びその引率者／土曜日来場の高校生以下の方

◆入場者数：3,715人

### ◆展覧会概要：

高島野十郎(1890-1975)は、福岡県久留米市出身の洋画家で、「蠟燭」や「月」という特異な主題を独特の写實的筆致で描いた画家として、近年では全国的にもよく知られる作家となった。東京帝国大学農学部水産学科を首席で卒業しながらも画家の道を選び、流行や時代の趨勢におもねることなく、自らの理想と信念にひたすら忠実であろうとしたストイックな生き方は、出口の見えない混迷の時代を生きる我々にも非常に魅力的に映る。

当館は、コロナ禍のなかでオンラインサイトである「福岡県立バーチャル美術館」を2021年3月に新たに立ち上げ、その中に当館が誇る野十郎の代表作を高画質、高精細でいつでもどこでも見ることができる「高島野十郎の世界」と題する展示室を作った。本展では、その架空の展示室を実際の展示室で実現することで、《蠟燭》、《からすうり》、《月》など、当館が誇る野十郎の代表作の多くを味わってもらうだけでなく、バーチャルという新たな美術体験とリアルとの違いを体感してもらうことを目的とした。さらには、野十郎の関連資料(書簡、ノート、スケッチ等)も併せて展示し、これまで当館が築き上げてきた野十郎アーカイブの一端を知っていただく機会とした。また、野十郎と直接のゆかりがある作家(青木繁、坂本繁二郎、大内田茂士など)の作品も展示し、同時代の作家との関連性も示した。

\* 出品作家：高島野十郎、青木繁、大内田茂士、大倉正愛、梶原貫五、片山攝三、古賀春江、坂本繁二郎、豊田勝秋、松田諦晶、間部時雄

### ◆関連事業：

- ・ 関連イベント「野十郎についてのQ&A」2022年7月3日(日)
- ・ 令和4年度美術教養講座「高島野十郎の世界」2022年7月10日(日)、於リーセントホテル福岡

◆作成印刷物：展覧会広報用ミニチラシ／出品リスト／出品作家解説

### ◆記事・広報等：

- ・ RKBラジオ「二丁目お茶の間劇場」2022年6月28日(火)、20:00～(ラジオ出演)
- ・ 「あつい福岡都市圏夏2022 “原点”野十郎、リアルの美」『西日本新聞』2022年8月30日(火)
- ・ 福岡県立美術館公式YouTubeで、会期中に作品解説動画10本を配信(西本匡伸、高山百合が出演)

### ◆その他の実績：

オンラインを活用した授業の実施(第一学院高等学校「夢授業」)：2022年7月19日(火)

# 「高島野十郎の世界」作品リスト

## 第1章 青年期

高島野十郎	1890-1975	路面電車のある風景	c.1912-26
		傷を負った自画像	c.1914-16
		静物	1918
		絡子をかけた自画像	1920
		りんごを手にした自画像	1923
		早春	1921
		壺とりんご	1923
		静物	1925

## 第2章 滞欧期

高島野十郎	1890-1975	霧と煙のニューヨーク	1930-33
		セーヌ河畔	1930-33
		横丁	1930-33
		ノートルダムとモンターニュ通Ⅱ	c.1932

## 第3章 戦前期

高島野十郎	1890-1975	からすうり	1935
		洋梨とブドウ	1941
		煙草を手にした自画像	1935-44
		春雨	c.1934-44
		犬吠埼	1935-44
		パイプ	c.1935-44

## 第4章 戦後期

高島野十郎	1890-1975	溪流	1946
		筑後川遠望	c.1949
		すいれんの池	1949
		ひまわり	c.1954
		石神井池	c.1965
		御苑の春	after1948
		春の海	1952
		境内の桜	1955
		雪晴れ	1958
		ティーポットのある静物	after1948
		牡丹	after1948
		さくらんぼ	c.1956
		秋	1957
		割れた皿	c.1958
		こぶしとリンゴ	c.1966
		初秋野路	1961-70
睡蓮	1975		

## 第5章 光と闇

高島野十郎	1890-1975	蠟燭	1912-26
		山の夕月	1940
		月	1962
		秋陽	c.1965
		無題	c.1967

## 第6章 野十郎の様々な側面

高島野十郎	1890-1975	紫をもととリンゴ	1920	寄託作品		
		ひまわりとリンゴ	c.1912-26	寄託作品		
		梨の花	1930-33	一般財団法人恵愛団寄託		
		パリ郊外	1930-33	寄託作品		
		海辺の秋花	c.1953	寄託作品		
		奈良薬師寺	c.1955	寄託作品		
		太陽	1975	寄託作品		
		藤十郎の恋	after1948	寄託作品		
		青木繁	1882-1911	宇朗像	1904	
		高島野十郎関連資料		キャンバスの断片(遺品)		
		携帯用イーゼル(遺品)				
		携帯用絵具箱(遺品)				
		塔のデッサン	after1948			
		『昭和新纂 国訳大蔵経』	東方書院			

		嘉祥大師撰『三論玄義』岩波文庫	
		弘法大師著『三教指帰』岩波文庫	
		高島宇朗著『せらぎ集』福永書店	
		高島野十郎「遺稿ノート」	
		高島野十郎「魚介類の観察図」	
<b>第7章 野十郎の交友関係に迫る</b>			
青木繁	1882-1911	わだつみのいるこの宮(下絵)	1907
大内田茂士	1913-1994	三宝柑	1935
		対馬の石垣	1975
大倉正愛	1868-1903	滞船図	
梶原貫五	1887-1958	陽を受ける窓	1954
片山攝三	1914-2005	高島野十郎氏	1952
		高島野十郎氏	1952

## 牛島智子 2重らせんはからまない

- ◆主 催：福岡県立美術館
- ◆助 成：公益財団法人朝日新聞文化財団
- ◆会 期：令和4年10月15日（土）～12月4日（日） 44日間  
休館日：月曜日  
10:00-18:00 入場は17:30まで
- ◆会 場：4階展示室
- ◆観覧料：一般500（350）円、高大生200（140）円、小中生100（80）円  
\*（ ）内は20名以上の団体割引料金  
\*65歳以上の方は特別割引料金350円  
\*以下の方々を無料とした。

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその介護者、教職員が引率する小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の児童・生徒及びその引率者、土曜日来館の高校生以下の方

- ◆入場者数：2,032人

### ◆展覧会概要

八女市在住のアーティスト・牛島智子（1958～）は福岡県に生まれ、九州産業大学卒業後に上京してBゼミスクールで学び、1990年代の終わり頃に福岡に戻ったのち、九州を中心に精力的に発表を続けている。作品発表だけではなく、八女櫛研究会の立ち上げなど非常に多岐にわたる活動を、その地域にどっしりと根差しつつ、軽やかに展開する牛島智子のこれまでを振り返り、これからを描き出すことを試みた。木蠟や八女和紙、こんにゃく糊といった素材を使い、労働やその土地の人物・産業などもモチーフにし、衣食住ボーダレスに展開する牛島のエネルギーな作品や活動は、地元の作家達をエンパワーメントしている点も含め、ローカル（地方）のもつ力と可能性を強く感じさせる。近年、SDGs（持続可能な開発目標）が唱えられて久しく、アートの現場でも向き合うべき切実な課題となっている。この時代であればこそ、自分が生きる土地と自然を素直に見つめ、身の回りに溢れる素材を手し、根源的な想像力と表現への欲求を形にしていく牛島の在り方は私たちに重要な視座を与えてくれるものと言えるだろう。

本展では、牛島の作品・資料約120点と牛島が選んだ当館収蔵作品6作品を、壁面ケース内の牛島の手による年代記《KAIKO節》シリーズ3～12角節の10点を中心としたインスタレーションと、それをめぐる平面や立体作品を紹介した。回顧展でありながら様々な年代をめぐるような展開で、子どもたちも感覚的に楽しめる体験型の作品が並ぶことで、牛島の作品の持つ独特な空気感を十分に感じられる展示となった。

### ◆関連事業：

- ・対談「2重らせんをからませてみる—生きもの、欲望、ウェルビーイング」  
日時：令和4年10月15日（土） 14:00～15:30  
会場：4階視聴覚室  
講師：牛島智子（本展出品作家）×竹口浩司（広島市現代美術館 学芸担当課長）  
参加者数総計：28名

- ・クロストーク「八女に生きる—まちとアートと私たち」

日時：令和4年11月1日（火） 14：00～15：30

会場：4階視聴覚室

講師：牛島智子（本展出品作家）×高橋康太郎（八女空き家再生スイッチ理事長）×関内潔（木工作家）

参加者数総計：25名

- ・コンセプトブック・タイム

日時：令和4年11月5日（土） 13：30～、20日（日）16：00～、26日（土）13：30～

会場：4階展示室

参加者数総計：21名

#### ◆作成印刷物

A4折両面チラシ、B2ポスター、当日券、招待券、展覧会記録集

\*公益財団法人朝日新聞文化財団の出資により本展記録集を作成した。

#### ◆記事・報道等

##### ■新聞展評等

- ・「牛島智子 2重らせんはからまない」『毎日新聞』2022年11月21日（月）、夕刊
- ・川口史帆「柔軟で力強く 美術家の生き方40年の円環」『西日本新聞』2022年11月25日（金）、朝刊
- ・渡辺亮一「美術「牛島智子 2重らせんはからまない」」『毎日新聞』2022年11月26日（土）、朝刊
- ・「ARTIST INTERVIEW 牛島智子」『美術手帖』2023年4月号

作家名	タイトル	制作年	サイズ(cm)	技法・素材
<b>壁面ガラスケース① 《KAIKO3角節》、《KAIKO4角節》を中心としたインスタレーション</b>				
牛島智子	KAIKO3角節	2022年	約243.0×211.0	和紙、コンニャク糊、印刷物(コラージュ技法)、アクリル絵具、ダーマトグラフ
牛島智子	KAIKO4角節	2022年	約223.0×221.0	和紙、コンニャク糊、印刷物(コラージュ技法)、アクリル絵具、ダーマトグラフ
牛島智子	変形和紙文字①	2020年	85.2×57.5	和紙、銅線・コンニャク糊にアクリル絵具、ダーマトグラフ
牛島智子	割烹着(家族旅行)	2000年	80.0×80.0	既製品の割烹着、アクリル彩、ワイヤー、和紙
牛島智子	割烹着(妹と)	2000年	80.0×80.0	既製品の割烹着、アクリル彩、ワイヤー、和紙
牛島智子	割烹着(Boys be ambitious)	2000年	80.0×80.0	既製品の割烹着、アクリル彩、ワイヤー、和紙
牛島智子	オルゴール	2017年	15.0×14.3×13.8	養生シート、和紙、コンニャク糊、アクリル彩、木炭、ぜんまい式オルゴールキット
牛島智子	壁紙(炭素ダンス)	2022年	サイズ可変	和紙、コンニャク糊、印刷物(コラージュ技法)
牛島智子	ドローイング	2022年	サイズ可変	和紙にアクリル絵具

そのほか:ホーロー製洗面器とガラス、納礼一式(銚子、盃、銅托)、机、古布、ノート(母の洋裁ノート)、定規、鉢、七五三着物の装具とサザエ貝、盃、ザルと古布

<b>壁面ガラスケース② 《KAIKO5角節》、《KAIKO6角節》を中心としたインスタレーション</b>				
牛島智子	KAIKO5角節	2022年	約225.0×239.0	和紙、コンニャク糊、印刷物(コラージュ技法)、アクリル絵具、ダーマトグラフ
牛島智子	KAIKO6角節	2022年	約204.0×236.0	和紙、コンニャク糊、印刷物(コラージュ技法)、アクリル絵具、ダーマトグラフ
牛島智子	変形和紙文字⑤	2020年	86.8×56.8	和紙、銅線・コンニャク糊にアクリル絵具、ダーマトグラフ
牛島智子	犬のエサやり	1968年	18.9×25.5	ドライポイント 額寸55.0×43.8
牛島智子	人形の絵	1975年	91.3×73.5	画布に油彩
牛島智子	犬の死	1975年	102.7×75.0	画布に油彩
牛島智子	晴耕	1987年 (2022年再制作)	57.2×54.4	和紙にアルミ線、コンニャク糊にアルミ線、コンニャク糊、アクリル絵具
牛島智子	割烹着(お姉ちゃんと)	2000年	80.0×80.0	既製品の割烹着、アクリル彩、ワイヤー、和紙
牛島智子	壁紙(東方へちゃちゃ)	2022年	サイズ可変	和紙、コンニャク糊、印刷物(コラージュ技法)
牛島智子	ドローイング	2022年	サイズ可変	和紙にアクリル絵具

そのほか:家の模型(みーちゃんの家)、人形みーとザル、ガラス、からくり貯金家(父のみやげ)、犬の置物、レコード、貝と石とベビーパウダー、コテ(父の道具)、ベンガラ粉、ペインティングナイフとパレット(私の道具)、石膏粉

<b>壁面ガラスケース③ 《KAIKO7角節》、《KAIKO8角節》を中心としたインスタレーション</b>				
牛島智子	KAIKO7角節	2022年	約226.0×232.0	和紙、コンニャク糊、印刷物(コラージュ技法)、アクリル絵具、ダーマトグラフ
牛島智子	KAIKO8角節	2022年	約223.0×223.0	和紙、コンニャク糊、印刷物(コラージュ技法)、アクリル絵具、ダーマトグラフ
牛島智子	牛の頭蓋骨	1977年	53.0×46.0	画布に油彩
牛島智子	妹の背中	1978年	50.0×39.5×3.7	石膏型どり、レリーフ
牛島智子	無題	1979年	116.9×91.0	ロール画布にアクリル絵具、木枠
牛島智子	無題	1980年	36.5×25.7×2.0	パネルに石膏、黒鉛
牛島智子	鳥の教え	1987年 (2022年再制作)	44.3×45.2	和紙にアルミ線、コンニャク糊、アクリル絵具
牛島智子	柿の木	1987年 (2022年再制作)	57.0×41.3	和紙にアルミ線、コンニャク糊、アクリル絵具
牛島智子	ひかりの王冠	1996年	33.0×43.5×43.5	木、塩板、竹ひご、アクリル絵具、和紙
牛島智子	マケット(V字型)	1996年	53.1×29.7×37.0(台座含む)	木、アクリル絵具
牛島智子	木偶の坊食卓	2013年~2014年	12.5×8.5×16.3	木、規制品のマグカップ、和紙、コンニャク糊、アクリル絵具
牛島智子	オルゴール	2005年	10.8×8.0×18.0	木、針金、紙粘土、アクリル絵具、教え子からもらったオルゴールキット
牛島智子	壁紙(階段に豆腐を置く)	2022年	サイズ可変	和紙、コンニャク糊、印刷物(コラージュ技法)
牛島智子	ドローイング	2022年	サイズ可変	和紙にアクリル絵具

そのほか:牛島組カレンダー、書籍、紙かたまり、ガラスかたまり、Bゼミ講義記録、Bゼミ関連書籍、柏原えつとむ関連資料、絵本、ミョウバン、胡粉、蛎殻粉末(サンドマチエール)、レコード

アクリルケース内

ワークショップ・大船モノレール駅関連資料

<b>壁面ガラスケース④ 《KAIKO10角節》を中心としたインスタレーション</b>				
牛島智子	KAIKO10角節	2022年	約220.0×228.0	和紙、コンニャク糊、印刷物(コラージュ技法)、アクリル絵具、ダーマトグラフ
牛島智子	壁紙(海が近い)	2022年	サイズ可変	和紙、コンニャク糊、印刷物(コラージュ技法)
牛島智子	マケット(流星の笑い)	1996年	40.1×48.0×31.0(台座含む)	木、アクリル絵具
牛島智子	光り降るところ	1996年	32.6×43.5×43.5	木、紙ねんど、ガラス、アクリル絵具、和紙
牛島智子	マケット(《結婚式》2人掛けベンチ)	1996年	56×79.5×38.5	発泡スチロール、アクリル絵具
牛島智子	マケット(三角池の藻々)	1998年	34.3×22.8×35.0	発泡スチロール、アクリル絵具
牛島智子	ホを発する	1995年	径49.5	紙にアクリル絵具、鉛筆、オリジナルの額
牛島智子	Oを発する	1995年	径57.5	紙にアクリル絵具、鉛筆、オリジナルの額



牛島智子	濁音を発する	1955年	径53.5	紙にアクリル絵具、鉛筆、オリジナルの額
牛島智子	うさぎを発する	1995年	径62.5	紙にアクリル絵具、鉛筆、オリジナルの額
牛島智子	BODY	1992年	51.0×50.7×4.0	パネルに画布、油彩
牛島智子	R	1992年 (1994年加筆)	50.5×50.6×3.9	パネルに画布、アクリル絵具
牛島智子	このななつのえ(つ)	1997年	43.0×28.0×2.0	水彩、アクリル、透明版、紙、オリジナルの額
牛島智子	このななつのえ(な)	1997年	39.5×25.2×2.0	水彩、アクリル、透明版、紙、オリジナルの額
牛島智子	このななつのえ(の)	1997年	33.5×21.0×2.0	水彩、アクリル、透明版、紙、オリジナルの額
牛島智子	ズガイコツ	2001年	27.5×22.8×25.8	カワラ粘土
牛島智子	うず巻き感	2001年	41.0×20.0×19.6	カワラ粘土
牛島智子	正12面体(ステンドグラス教室)	2005年	26.3×23.0	ガラス、銅テープ、はんだ
牛島智子	割れた20面体(息子の力)	2005年	27.8×23.0	ガラス、銅テープ、はんだ

そのほか:書籍、レコード

アクリルケース内

牛島智子	マケット(《結婚式》2人掛けベンチ・5人掛けベンチ)	1996年	2人掛け:14.5×10.3×16.6、5人掛け:29.3×15.3×10.4	紙粘土、アクリル絵具
------	----------------------------	-------	---	------------

### 壁面ガラスケース⑤《KAIKO11角節》を中心としたインスタレーション

牛島智子	KAIKO11角節	2022年	約229.0×228.0	和紙、コンニャク糊、印刷物(コラージュ技法)、アクリル絵具、ダマトグラフ
牛島智子	昼は夜を追いかける	1994年	51.0×53.0×2.5	パネルに画布、油彩
牛島智子	アラアラあらわれてたよ	2001年	径12.8×11.1	カワラ粘土
牛島智子	「ヤ」シリーズ	2008年	各35.0×35.0	パネルにアクリル絵具
牛島智子	葦の燭台	2012年	各 径5.5×36.0	木に油彩、鉄釘、銅板
牛島智子	蠟燭	2013年	各 径1.0×11.0	既製品パラフィン蠟燭、木炭、銅イオン彩
牛島智子	榎研究会春口さんの像	2013年	45.6×38.9	画布に油彩
牛島智子	荒木製蠟所のテーブル	2013年	46.0×53.0	画布に油彩
牛島智子	木偶口ウソク	2014年	1.6×12.5	木に油彩
牛島智子	丸めがねのろうそく売り	2014年	46.0×53.0	画布に油彩
牛島智子	石ころ売り	2015年	46.0×53.0	画布に油彩
牛島智子	木陰の箱	2015年	46.0×53.0	画布に油彩
牛島智子	祝い独楽の燭台	2017年	各 径9.5×13.0	木に油彩、鉄釘、銅板
牛島智子	壁紙(雑把に言えば時間空間物質でね)	2022年	サイズ可変	和紙、コンニャク糊、印刷物(コラージュ技法)
牛島智子	ドロ잉	2022年	サイズ可変	和紙にアクリル絵具

そのほか:セルロースと炭酸カルシウムと石ころ、木蠟、炭化独楽、貝、八女デザイン会議資料、八女榎研究会資料、蠟燭づくり資料、書籍

### 壁面ガラスケース⑥《KAIKO12角節》を中心としたインスタレーション

牛島智子	KAIKO12角節	2022年	約226.0×226.0	和紙、コンニャク糊、印刷物(コラージュ技法)、アクリル絵具、ダマトグラフ
牛島智子	ーらんち	2013年	73.0×61.0×2.8	パネルに楮和紙、膠貝灰下地、岩絵具、顔料、アクリル絵具、マーカー
牛島智子	ふうしき	2014年	53.0×46.0	画布に油彩
牛島智子	鳥ネット	2016年	31.0×42.0×27.0	アルミ線、和紙、コンニャク糊
牛島智子	シェルハウス	2017年	39.0×45.0×25.0	発泡スチロール、膠、石膏、アクリル絵具、コンニャク糊
牛島智子	平井さんと、クマとレットウのかたちにした銅の铸件	2018年	クマ4.5×4.5×0.7、レットウ5.5×6.8×1.2	銅
牛島智子	寡婦模型	2019年	39.0×34.0×48.0	発泡スチロール、和紙、コンニャク糊、アクリル絵具
牛島智子	結晶集まる。	2016~2022年	7.3×8.3×6.8~41.5×41.5×27.5	養生シート、和紙、コンニャク糊、アクリル彩、油彩
牛島智子	紙文字(ねホリはホリ drawing)	2021年	サイズ可変	和紙、アルミ線、コンニャク糊、アクリル
牛島智子	MAYUDAMA-学生期	2022年	径37.0×26.0	和紙、コンニャク糊、サインペン
牛島智子	MAYUDAMA-家住期	2022年	径41.0×14.0	和紙、コンニャク糊、サインペン
牛島智子	MAYUDAMA-林住期	2022年	径52.3×7.26	和紙、コンニャク糊、サインペン
牛島智子	MAYUDAMA模型	2022年	41.5×41.5×27.5	養生シート、和紙、コンニャク糊、サインペン
牛島智子	池田さん見にきてね	2022年	99.0×141.0	画布、コンニャク糊、アクリル絵具
牛島智子	壁紙(雑把に言えば時間空間物質でね)	2022年	サイズ可変	和紙、コンニャク糊、印刷物(コラージュ技法)
牛島智子	ドロ잉	2022年	サイズ可変	和紙にアクリル絵具

そのほか:赤玉ケイト関連資料、毛糸玉、書籍

全て作家蔵および個人蔵

## 寄贈記念展 野見山暁治

◆会 期：令和4年12月17日（土）～令和5年2月12日（日） 43日間

\*前期は12月17日から1月15日、後期は1月17日～2月12日

◆休 館：月曜日（ただし、祝休日の場合はその翌平日）、12月28日～1月4日

◆会 場：4階展示室

◆観覧料：一般800（600）円、高大生500（300）円、小中生300（200）円

\*65歳以上の方は600円

\*（ ）内は20名以上の団体割引料金

\*以下の方々を無料とした。

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその介護者、教職引率による小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の児童・生徒及びその引率者、土曜日の高校生以下の方

◆主 催：福岡県立美術館

◆特別協力：一般財団法人野見山暁治財団

◆協 力：みぞえ画廊

◆広報印刷物・会場内サインデザイン：上田英治（シルシ）

◆入場者数：5,266人

◆展覧会概要：

本展は、福岡県出身の文化勲章者としても広く知られる洋画家・野見山暁治氏（1920-）から2020年に37点の油彩画が寄贈されたことを記念して開催した。寄贈翌年以降も作家本人および親族から関連する油彩やデッサン等14点を受贈し、この間のすべての新収蔵品の紹介を目的に《廃坑(A)》（1951）、《蔵王》（1966）などの代表的な既収蔵品を交え総点数60点を紹介した。（会期中一部展示替え）

展示会場は、プロローグと6章立ての構成とした。まず、導入として本展に寄せられた作家の言葉を掲示し、ここで「絵とは何か」「なぜ描き続けているのか」について絵を描くことを通して向き合い続けている姿を読み取り、続いてプロローグにおいて最新作《忘れた日》（2021、作家蔵）、《みんな消えた》（2019、作家蔵）を紹介し野見山の現在地を示した。

1章以降は、寄贈された新収蔵品を中心に構成し、時代を順に遡る構成とした。第1章「1983年—2011年 野見山芸術の真骨頂」では、このたびの寄贈の核となる90年代以降の大作を展示。ものを対象に据えて描き続けてきた野見山の、ものから根源的な形象を取り出し、絵画のダイナミズムを生み出した真骨頂といえる作品群として好評を得た。第2章「1961年フランス滞在後期—1966年帰国直後」、第3章「1954年—1956年 ベルギーのボタ山との邂逅」、第4章「1948年上京—1951年廃坑シリーズ」、第5章「1946年—1948年 終戦直後、福岡」、第6章「1943年 東京美術学校卒業制作」までを遡り、「見たものを描いている」と述べる野見山の画業の変遷を遡る一層充実した当館コレクションを紹介することとなった。

本展は、この間の貴重な寄贈の全貌を明らかにするとともに、野見山暁治の現在地を印象付け、当館のひとつの核を成す野見山暁治コレクションが形成されたことを印象付ける展覧会となっただろう。

◆関連事業：

・記者発表 登壇：野見山暁治氏、中村節子氏（一般財団法人野見山暁治財団評議員）、岡部るい（担当学芸員） 参加プレス：7社 日時：12月16日（金）14:00から 会場：4階視聴覚室

- ・開会式・内覧会 野見山暁治氏、服部知事他 参加者 107 名  
日時：12月16日（金）15:00 から 会場：4階視展示室
  - ・特別講演会「野見山暁治の絵画世界—絵画にみなぎるエネルギー」講師：中村節子氏 参加者 42 名  
日時：12月17日（土）14:00 から 会場：4階視聴覚室
  - ・講演会「野見山暁治の見たものとは—当館コレクションを通して」講師：岡部るい 参加者 41 名  
日時：1月14日（土）14:00 から 会場：4階視聴覚室
  - ・講演会「野見山暁治と福岡と」講師：西本匡伸（当館学芸課長） 参加者 62 名  
日時：2月5日（日）14:00 から 場所：4階視聴覚室
- \*新型コロナウイルス感染症拡大を受け、視聴覚室の定員を 40 名程度と設定。2月5日はその定員を撤廃した。

#### ◆団体鑑賞（事前申込みのあったもの）

- ・12月20日福岡聴覚特別支援学校 生徒 19 名、引率 10 名 計 29 名（スクールミュージアム事業）
  - ・1月26日太宰府高校芸術学科（美術科） 生徒 71 名、引率 1 名 計 72 名
  - ・2月1日久留米市立柴刈小学校 生徒 22 名、引率 2 名 計 24 名（スクールミュージアム事業）
  - ・2月1日専門学校九州ヴィジュアルアーツ 学生 11 名、引率 1 名 計 12 名
  - ・2月3日嘉穂高等学校附属中学校 148 名、引率 7 名 計 155 名
- \*2月3日は、学芸員解説、鑑賞だけでなく会場内で野見山氏の特別講演を午前と午後の2回開催した。居合わせた一般客も聴講。プレス 12 名も参加した。

#### ◆作成印刷物

- B 2 ポスター、A 4 両面チラシ、当日券、招待券、正面玄関サイン、仮囲い用シートサイン、バナー 2 種、会場内パネル等
- \*野見山暁治財団の協力を得て図録を発行した。（編集：青幻舎、アートディレクション：上田英司（シルシ）、グラフィックデザイン：叶野夢（シルシ））
  - \*絵葉書 10 種、シャツ 4 種は野見山財団制作物
  - \*会場内掲示の野見山暁治氏ポートレートは、長野聡史氏撮影。

#### ◆記事・報道等

- 新聞（展覧会評）
- ・中村俊介（朝日新聞社編集委員）「寄贈記念展 野見山暁治」朝日新聞（朝刊）、2023 年 12 月 17 日、29 面
  - ・稲富由里子（天神経済新聞編集部）「福岡県立美術館で洋画家・野見山暁治さん展覧会 件寄贈の油彩画 37 点中心に」天神経済新聞、12 月 21 日（オンライン配信のみ）
  - ・白石知子（読売新聞西部本社記者）「[文化]炭鉱の記憶 作品に影響」読売新聞、2023 年 1 月 21 日、27 面
  - ・丸田みずほ（西日本新聞社くらし文化部記者）「[近況往来]102 歳 道楽として気楽に」西日本新聞（朝刊）、2023 年 1 月 23 日、7 面
  - ・正路佐知子（福岡市美術館学芸員）「[アプローチ九州]見たものを描く 原点辿る」日本経済新聞、2023 年 1 月 26 日、35 面
  - ・宮川匡司（日本経済新聞社客員編集員）「[文化]102 歳の情熱 年齢は考えず」日本経済新聞、2023 年 1 月 28 日、40 面
  - ・渡辺亮一（毎日新聞社学芸記者）「[土曜カルチャー]現代から過去へ奔放な筆致」毎日新聞（朝刊）、2 月 4 日、18 面

- ・谷由美子（毎日新聞社記者）「母校の生徒と個展で交流」毎日新聞（朝刊）、2月4日、25面
- ・Tomoko Shiraishi (Reporter of the Yomiuri Shimbun), *CULTURE: Coal mines stain landscapes of pioneering artist*, The Japan News by The Yomiuri Shimbun, 9 February, p. 16

○テレビ

- ・「17日に102歳 福岡県飯塚市出身の現役画家・野見山暁治さんの寄贈記念展」RKB毎日放送、12月16日
- ・「102歳の現役画家・野見山暁治さんが中学生に特別授業“迫力とか心にくるものがあった”」RKB毎日放送、2月3日

◆その他

- ・野見山暁治関連映像として2階ハイビジョンコーナーで野見山暁治財団から映像の提供を受け、本映像をループ上映し野見山作品への関心を一層深めるものとなった。（著作：一般財団法人野見山暁治財団、撮影・編集：西嶋真司氏）
- ・会場内一部LED照明は、CCSにご協力いただいた。

# 野見山 暁 治

寄贈記念展

THE ART OF NOMIYAMA GYOJI

12.17<sub>[土]</sub> <sup>2022.</sup> <sub>2023.</sub> 2.12<sub>[日]</sub>

会期中一部展示替え 前期は1月15日(日)まで、後期は1月17日(火)から

天神の美術館

福岡県立美術館 | 4階展示室 |  
FUKUOKA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

| 観覧時間 | 10:00から18:00まで(入場は17:30まで) | 主催 | 福岡県立美術館  
| 特別協力 | 一般財団法人野見山暁治財団 | 協力 | みぞえ画廊

出品番号	作品名	制作年	技法・材質	寸法	収蔵状況	備考
------	-----	-----	-------	----	------	----

## プロローグ 2020年—2022年 新作

P-1	特別出品 忘れた日	2022年	油彩・画布	91.2×116.8 cm	作家蔵	
P-2	特別出品 みんな消えた	2020年	油彩・画布	130.3×162.0 cm	作家蔵	

## 第1章 1983年—2011年 野見山芸術の真骨頂

1-1	予感にみちた部屋	1991年	油彩・画布	181.5×227.4 cm	2020年度作家寄贈	前期展示
1-2	うつろい	2000年	油彩・画布	73.0×53.0 cm	2020年度作家寄贈	前期展示
1-3	昔も今も	2003年	油彩・画布	194.0×162.0 cm	2020年度作家寄贈	後期展示
1-4	やはり想い出さない	2009年	油彩・画布	91.0×73.0 cm	2020年度作家寄贈	後期展示
1-5	風説	2002年	油彩・画布	194.0×194.0 cm	2020年度作家寄贈	
1-6	待ちぼうけ	2000年	油彩・画布	131.0×162.0 cm	2020年度作家寄贈	
1-7	今だけの景色	2005年	油彩・画布	182.0×227.5 cm	2020年度作家寄贈	
1-8	かたりべ	1993年	油彩・画布	193.5×194.0 cm	2020年度作家寄贈	前期展示
1-9	生まれたての風景	2002年	油彩・画布	194.0×194.0 cm	2020年度作家寄贈	後期展示
1-10	言いたいことばかり	2006年	油彩・画布	194.0×194.0 cm	2020年度作家寄贈	
1-11	自白	1999年	油彩・画布	196.0×196.0 cm	2020年度作家寄贈	
1-12	窮屈な空	2003年	油彩・画布	194.0×131.0 cm	2020年度作家寄贈	
1-13	あとは空	2010年	油彩・画布	112.3×194.0 cm	2020年度作家寄贈	
1-14	もっと離れて	2010年	油彩・画布	182.0×228.0 cm	2020年度作家寄贈	
1-15	黙ってしよう	2011年	油彩・画布	194.0×131.0 cm	2020年度作家寄贈	
1-16	おかしな谷間	1983年	油彩・画布	96.7×130.5 cm	2020年度作家寄贈	前期展示
1-17	また会った	1987年	油彩・画布	91.0×73.0 cm	2020年度作家寄贈	前期展示
1-18	遠い物語	1987年	油彩・画布	81.0×100.3 cm	2020年度作家寄贈	後期展示
1-19	残された風景	1986年	油彩・画布	90.8×72.9 cm	2020年度作家寄贈	後期展示

## 第2章 1961年フランス滞在後期—1966年帰国直後

2-1	夜の山	1966年	油彩・画布	121.5×157.5 cm	2020年度作家寄贈	
2-2	蔵王	1966年	油彩・画布	181.4×227.6 cm	1981年度購入	
2-3	二本の木	1961年頃	油彩・画布	80.4×115.2 cm	2020年度作家寄贈	
2-4	樹の根	1963年	油彩・画布	73.0×53.3 cm	2020年度作家寄贈	前期展示

作品番号	作品名	制作年	技法・材質	寸法	収蔵者等	備考
2-5	パリ郊外の林	1963年	油彩・画布	81.0×100.0 cm	2020年度作家寄贈	後期展示
2-6	青い花	1962年	油彩・画布	72.7×60.5 cm	2020年度作家寄贈	
2-7	人	1961年頃	油彩・画布	100.0×65.3 cm	2020年度作家寄贈	

### 第3章 1954年—1956年 ベルギーのボタ山との邂逅

3-1	シャルルロア 赤いボタ山	1956年頃	油彩・画布	53.0×65.0 cm	2020年度作家寄贈	
3-2	ベルギーのボタ山	1955年	インク、グワッシュ・紙	37.7×53.5 cm	1999年度購入	前期展示
3-3	デッサン、1954年8月13日	1954年	鉛筆・紙	24.7×32.6 cm	2021年度作家寄贈	前期展示
3-4	デッサン、1954年8月15日	1954年	鉛筆・紙	24.9×32.6 cm	2021年度作家寄贈	前期展示
3-5	デッサン、1954年8月18日	1954年	鉛筆・紙	23.9×31.8 cm	2021年度作家寄贈	前期展示
3-6	シャルルロアの町	1955-56年	インク、グワッシュ・紙	48.8×63.7 cm	1999年度購入	後期展示
3-7	デッサン、1954年8月15日	1954年	鉛筆・紙	24.9×32.7 cm	2021年度作家寄贈	後期展示
3-8	デッサン、1954年8月16日	1954年	鉛筆・紙	25.0×32.7 cm	2021年度作家寄贈	後期展示
3-9	デッサン、1954年8月18日	1954年	鉛筆・紙	24.0×31.5 cm	2021年度作家寄贈	後期展示

### 第4章 1948年上京—1951年炭坑シリーズ

4-1	群像(坑内)	1952年	油彩・画布	193.5×130.4 cm	2020年度作家寄贈	
4-2	《群像(坑内)》のためのデッサン[4]	1951年頃	木炭・紙	77.2×54.9 cm	2022年度作家寄贈	前期展示
4-3	《群像(坑内)》のためのデッサン[3]	1951年頃	木炭・紙	54.4×69.1 cm	2022年度作家寄贈	前期展示
4-4	《群像(坑内)》のためのデッサン[6]	1951年頃	木炭・紙	67.6×54.9 cm	2022年度作家寄贈	前期展示
4-5	《群像(坑内)》のためのデッサン[1]	1951年頃	木炭・紙	69.8×54.5 cm	2022年度作家寄贈	後期展示
4-6	《群像(坑内)》のためのデッサン[2]	1951年頃	木炭・紙	54.4×71.1 cm	2022年度作家寄贈	後期展示
4-7	《群像(坑内)》のためのデッサン[5]	1951年頃	木炭・紙	77.2×54.5 cm	2022年度作家寄贈	後期展示
4-8	炭坑(A)	1951年	油彩・画布	112.5×145.5 cm	1991年度購入	
4-9	道	1951年	油彩・画布	53.2×72.6 cm	1999年度購入	
4-10	炭坑	1951年	鉛筆・紙	27.2×39.5 cm	1999年度購入	前期展示
4-11	炭坑	1951年	鉛筆・紙	27.5×38.3 cm	1999年度購入	後期展示
4-12	炭坑の一隅	1951年頃	油彩・板	23.6×33.0 cm	2021年度作家寄贈	
4-13	川沿いの炭坑	1951年頃	油彩・板	15.5×22.8 cm	2020年度作家寄贈	
4-14	顔	1949年頃	油彩・画布	41.0×31.0 cm	2020年度作家寄贈	
4-15	三人の塔	1950年	油彩・画布	72.2×60.6 cm	2020年度作家寄贈	

### 第5章 1946年—1948年 終戦直後、福岡

5-1	自画像	1947年頃	油彩・板	32.7×23.3 cm	2020年度作家寄贈	
5-2	へらと骸骨	1947年	油彩・画布	52.7×45.4 cm	2020年度作家寄贈	
5-3	西洋画の部分模写	1948年頃	油彩・画布	53.0×80.5 cm	2020年度作家寄贈	
5-4	陽子臥像	1948年頃	油彩・紙	48.7×77.7 cm	2020年度作家寄贈	
5-5	焼跡の福岡県庁	1946年頃	油彩・画布	45.5×52.9 cm	2020年度作家寄贈	
5-6	練兵場跡	1946年	油彩・画布	45.3×53.0 cm	2020年度作家寄贈	
5-7	二の丸焼跡	1946年	油彩・画布	91.0×73.0 cm	2020年度作家寄贈	

### 第6章 1943年 東京美術学校卒業制作

6-1	妹の像	1943年	油彩・画布	114.0×80.5 cm	2022年度森山和子氏寄贈	
-----	-----	-------	-------	---------------	---------------	--

## 杉浦非水 時代をひらくデザイン

- ◆ 主催 「杉浦非水 時代をひらくデザイン」福岡会場実行委員会  
(福岡県立美術館、九州朝日放送、西日本新聞社)
- ◆ 協賛 麻生専門学校グループ ASO ポップカルチャー専門学校、久原本家、ニューカラー写真印刷株式会社
- ◆ 助成 (公財)福岡文化財団
- ◆ 後援 福岡県、福岡市、福岡市教育委員会、(公財)福岡市文化芸術振興財団、九州旅客鉄道、西日本鉄道
- ◆ 特別協力 株式会社三越伊勢丹ホールディングス、東京国立近代美術館
- ◆ 企画協力 愛媛県美術館
- ◆ 企画制作 毎日新聞社
- ◆ 会期 令和4年4月15日(金)～6月12日(日) 52日間  
月曜休館(ただし5月2日は開館)  
午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで)
- ◆ 会場 3階展示室1～4号室
- ◆ 入場料 一般 1,300円 (1,100円)  
高大生 900円 (700円)  
小中生 600円 (400円)  
※ 上記( )内は前売り・20名以上の団体料金  
※ 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者1名、特定疾患医療受給者証・特定医療費(指定難病)受給者証の交付を受けている方は無料
- ◆ 入場者数 11,590人
- ◆ 開催趣旨

日本におけるモダンデザインのパイオニアとして知られる杉浦非水(1876-1965)は愛媛県松山市に生まれた。東京美術学校入学後は円山派の川端玉章に師事して日本画を学んでいたが、在学中にフランス帰りの洋画家・黒田清輝がもたらしたアール・ヌーヴォー様式の図案に魅せられたことで、以後は図案家として活動した。非水は明治41年(1908)に三越呉服店(後に三越百貨店)の嘱託として図案部初代主任をつとめ、昭和9年(1934)に退社するまで27年にわたって同店のポスターやPR誌表紙などを一手に担い、活躍した。三越以外にも、幅広い分野のポスター、雑誌の表紙、本の装幀などを手がけ、非水の単なる「宣伝」の枠を超えた幅広い活動から生み出された作品の数々は、現在でいう「グラフィックデザイン」の原点といえる。

本展は、初期から晩年に至る非水の仕事を紹介すると同時に、交友のあった画家の作品や非水が収集した資料など約300点の展示により、その全貌を振り返る内容とした。

### ◆ イベント等

- 開会式(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者を関係者と報道機関に限定して実施)

- ① 日時: 4月15日(金) 9:30～9:50
- ② 場所: 福岡県立美術館 2階ハイビジョン前(テープカット: 2階踊り場)
- ③ 出席者: 福岡県副知事 大曲昭恵  
福岡県会議長 秋田章二  
福岡県教育委員会教育長 吉田法稔  
ASOポップカルチャー専門学校校長 瀧口博俊  
株式会社久原本家グループ本社取締役 河邊太郎 他

● コンサート

- ・ 場 所：福岡県立美術館 2階ロビー
- ・ 参加費：無料（申込不要、人数制限あり）

① アクロス・ミュージアムコンサート in 県美

ア 日 時：5月1日（日）第1部：13:30～14:00、第2部：15:00～15:30

イ 演 者：【タンゴ三姉妹+】長女 Naomi（岡直美）＜ピアノ＞、次女 Yukie（川波幸恵）＜バンド  
ネオン＞、三女 Sakura（松本さくら）＜ヴァイオリン＞

ウ 参加者：第1部：90名、第2部：50名

② ピアノソロコンサート

ア 日 時：5月7日（土）第1部：13:30～14:00、第2部：15:00～15:30

イ 演 者：伊丹晶子＜ピアノ＞

ウ 参加者：第1部：63名、第2部：39名

③ 木管三重奏コンサート

ア 日 時：5月29日（日）第1部：13:30～14:00、第2部：15:00～15:30

イ 演 者：桐谷美貴子＜オーボエ＞、古賀久美子＜クラリネット＞、佐藤貴宣＜ファゴット＞

ウ 参加者：第1部：78名、第2部：68名

● 学芸員によるワンポイントスライドトーク

ア 場 所：福岡県立美術館 4階視聴覚室

イ 参加費：無料（要入場券、人数制限あり）

ウ 講 師：高山百合（福岡県立美術館学芸員）

エ 日 時：①4月30日（土）②5月14日（土）③5月28日（土）④6月11日（土）14:00～14:30

オ 参加者：①20名 ②27名 ③30名 ④43名

● その他

① Retro Kawaii FUKUOKA

現代の“レトロかわいい”として、福岡で活躍するイラストレーター（ABEchan、火曜日）の作品  
を展示し、グッズを販売

② 平日限定！『着物割引』

平日限定で着物・浴衣を着用されている方のみ当日料金から300円割引

③ 門司港レトロ地区との連携

レトロでモダンな杉浦非水の世界観を門司港レトロ地区でも満喫できるよう相互割引を実施

杉浦非水展：門司港レトロ地区にある「関門海峡ミュージアム」の入場券半券提示で前売料金適用

関門海峡ミュージアム：杉浦非水展の入場券半券提示でミュージアム入場料を2割引

④ フォトスポットの設置

設置場所：福岡県立美術館 3階展示室入口1ヶ所、出口1ヶ所

⑤ 入場者プレゼント

5月24日から6月9日までの火・水・木曜日に入場された先着100名様に福岡県立美術館所蔵の  
ポストカード（1枚）をプレゼント

◆主要広報実績

- ・KBC ラジオ「PAO～N」2022年5月6日、15時20分～（中継）
- ・KBC ラジオ「アサデス。ラジオ」2022年5月18日、9時37分～
- ・KBC テレビ「アサデス。GOLD」2022年5月20日



# 杉浦非水 時代をひらくデザイン

## 作品リスト

福岡県立美術館 2022年4月15日(金)～6月12日(日)

\*会期中に展示替えがあります。前期:4/15～5/15、後期:5/17～6/12

\*本リストの掲載順は展示順とは一致しません。

\*本展図録に掲載している全作品のうち、福岡展に出品されないものは本リストには掲載していません。

# HISUI

作家名	作品名	制作年(発行年)	形状・技法・材質	所蔵
<b>第1章 図案との出会い</b>				
<b>1-1 日本画を学ぶ</b>				
1-1	杉浦非水 日本画科写生教室 五月三日	明治30-34年(1897-1901)	墨、水彩・紙	愛媛県美術館
1-2	杉浦非水 模本類	1890年代	墨、水彩・紙	東京国立近代美術館
1-3	杉浦非水 臨模帖「縮図 芳章」	明治31年(1898)	墨、水彩・紙	愛媛県美術館
1-4	杉浦非水 画帖	明治32年(1899)	墨、水彩・紙	愛媛県美術館
<b>1-2 図案へのめざめ</b>				
1-6	アルフォンス・ミュシャ ジョブ	1898年	カラーリトグラフ・紙	三重県立美術館 前期
1-7	黒田清輝 杉浦非水像(複製)	昭和56年(1981)	印刷・紙	愛媛県美術館
1-8	黒田清輝 ポプラの黄葉(グレーの秋)	明治24年(1891)	油彩・キャンバス	島根県立石見美術館
1-9	杉浦非水編 『黒田清輝先生 遺作展覧会目録』	大正13年(1924)	印刷・紙	三重県立美術館
1-10	中澤弘光監督 白馬会絵画研究所 仏語ノ部出席簿		墨・紙	三重県立美術館
1-11	岡田三郎助 婦人像	明治42年(1909)	油彩・キャンバス	福岡県立美術館
1-12	岡田三郎助 黒き帯	大正4年(1915)	油彩・キャンバス	島根県立石見美術館
1-13	中澤弘光 非水像	明治34年(1901)	油彩・キャンバス	東京国立近代美術館
1-14	杉浦朝武、中澤弘光 みだれ髪歌がるた	明治34年(1901)	墨、水彩・紙、千代紙	三重県立美術館
1-15	杉浦非水 『明星』辰歳第一号	明治37年(1904)	雑誌	三重県立美術館
1-16	杉浦非水 中澤弘光宛葉書 明治36年11月3日付	明治36年(1903)	葉書	個人蔵
1-17	杉浦非水 画帖〔大阪時代〕	明治35-37年(1902-04)	墨、鉛筆、水彩・紙	愛媛県美術館
1-18	杉浦非水 『三十六年』第五号	明治35年(1902)9月	印刷・紙	東京国立近代美術館 後期
1-19	杉浦非水 大阪商船株式会社絵葉書	明治35年(1902)頃	葉書	三重県立美術館
1-20	杉浦非水 画帖〔島根時代〕	明治37-38年(1904-05)	鉛筆、色鉛筆、水彩・紙	愛媛県美術館
1-21a	杉浦朝武実写、小林晋古写 露兵の漂着の実況(一)『軍国画報』第二年第八号	明治38年(1905)7月	石版・紙	島根県立石見美術館
1-21b	杉浦朝武実写、小林晋古写 露兵の漂着の実況(二)『軍国画報』第二年第八号	明治38年(1905)7月	印刷・紙	島根県立石見美術館
1-22	森脇忠 〔裸婦〕		油彩・板	愛媛県美術館
1-23	杉浦非水 『中央新聞週報 ホーム』第二十一号	明治40年(1907)3月	新聞付録冊子	宇都宮美術館
1-24	杉浦非水 『中央新聞週報 ホーム』第二十五号	明治40年(1907)4月	新聞付録冊子	宇都宮美術館
1-25	杉浦非水 画帖〔富士山他〕	明治40年(1907)	鉛筆、色鉛筆、水彩・紙	愛媛県美術館
1-26	杉浦非水 『富士山スケッチ』	明治40年(1907)	書籍	愛媛県美術館
<b>第2章 図案の開拓者</b>				
<b>2-1 ブックデザイナー・非水</b>				
2-1	杉浦非水 饗庭篁村著『文学叢書 巢林子撰註』	明治35年(1902)	書籍	愛媛県美術館
2-2	杉浦非水 あやめ会著『あやめ草』	明治39年(1906)	書籍	愛媛県美術館
2-3	杉浦非水 与謝野晶子著『夢の華』	明治39年(1906)	書籍	愛媛県美術館
2-4	杉浦非水 巖谷小波著『小波お伽百話』	大正13年(1924)、13版	書籍	個人蔵
2-5	杉浦非水 河岡潮風著『五五の春』	明治45年(1912)、7版	書籍	個人蔵
2-6	杉浦非水 川崎克編『木堂政論集』	大正2年(1913)、2版	書籍	個人蔵
2-7	杉浦非水 巖谷小波編『日本一ノ画断』(復刻)	昭和53年(1978)	書籍	愛媛県美術館
2-8	杉浦非水 『タングラム』	大正2年(1913)	書籍	愛媛県美術館
2-9	杉浦非水 渋沢栄一著『縮刷 青淵百話』	大正2年(1913)、6版	書籍	個人蔵
2-10	杉浦非水 徳富蘆花著『自然と人生』	大正2年(1913)、3版	書籍	個人蔵
2-11	杉浦非水 シュニツレル著 『近代脚本叢書第一編 恋愛三昧』	大正2年(1913)	書籍	個人蔵
2-12	杉浦非水 ホフマンスタール著『エレクトラ』	大正2年(1913)(2版)	書籍	個人蔵
2-13	杉浦非水 柳川春葉著『生さぬなか』中・下	中巻:大正2年(1913)、2版 下巻:大正2年(1913)	書籍	愛媛県美術館

2-14	杉浦非水	菊池幽芳著『百合子』上・中・下	大正2年(1913)	書籍	愛媛県美術館	
2-15	杉浦非水	菊池幽芳、鍋木清方著『百合子画集』上	大正3年(1914)	書籍	愛媛県美術館	
2-16	杉浦非水	湯浅鏡明著『通人物語 趣味の東京』	大正2年(1913)	書籍	個人蔵	
2-17	杉浦非水	菊池幽芳著『うき世』一・二	一巻:大正4年(1915)、3版 二巻:大正5年(1916)	書籍	個人蔵	
2-18	杉浦非水	渡邊霞亭著『小説 渦巻』上・中	上巻:大正3年(1914)、31版 中巻:大正3年(1914)、18版	書籍	個人蔵	
2-19	杉浦非水	黒田朋信著『趣味叢書 第二編 趣味雑話』	大正3年(1914)	書籍	個人蔵	
2-20	杉浦非水	パスタロッツチ著『教育小説 愛と操』上	大正3年(1914)	書籍	個人蔵	
2-21	杉浦非水	モーパッサン著『パラミー』	大正3年(1914)	書籍	個人蔵	
2-22	杉浦非水	北原鉄雄著『次の一戦』	大正3年(1914)	書籍	個人蔵	
2-23	杉浦非水	高峰博著『夢学』	大正6年(1917)	書籍	愛媛県美術館	
2-24	杉浦非水	尾崎徳太郎原著『合本 英訳金色夜叉』	大正7年(1918)、4版	書籍	個人蔵	
2-25	杉浦非水	桜井忠温著『十字路』	大正4年(1915)	書籍	愛媛県美術館	
2-26	杉浦非水	村松梢風著『梢風物語』	大正8年(1919)	書籍	個人蔵	
2-27	杉浦非水	池田林儀著『改造の独逸より』	大正11年(1922)	書籍	個人蔵	
2-28	杉浦非水	佐佐木信綱著『常盤木』	大正11年(1922)	書籍	個人蔵	
2-29	杉浦非水	黒田鷗心著『人生と趣味』	大正9年(1920)	書籍	個人蔵	
2-30	杉浦非水	吉丸一昌作『新作唱歌』第六集	大正7年(1918)、5版	楽譜	個人蔵	
2-31	杉浦非水	『中学世界』第十五巻第七号	明治45年(1912)6月	雑誌	東京国立近代美術館	前期
2-32	杉浦非水	『中学世界』第十七巻第三号	大正3年(1914)3月	雑誌	愛媛県美術館	
2-33	杉浦非水	『お伽世界』第一巻第一号(原画)		着色・紙	愛媛県美術館	前期
2-34	杉浦非水	『日曜画報』第一巻第三十九号	明治44年(1911)9月	雑誌	愛媛県美術館	
2-35	杉浦非水	『日曜画報』第一巻第一号	明治43年(1910)12月	雑誌	愛媛県美術館	
2-36	杉浦非水	『少年世界』第十八巻第十号	明治45年(1912)7月	雑誌	愛媛県美術館	
2-37	杉浦非水	『少年世界 競争双六』	大正8年(1919)	オフセット・紙	島根県立石見美術館	
2-38	杉浦非水	『リーガルタイムス』第一巻第二号	明治42年(1909)3月	雑誌	東京国立近代美術館	後期
2-39	杉浦非水	『劇と詩』第七号	明治43年(1910)10月	雑誌	東京国立近代美術館	前期
2-40	杉浦非水	『実業倶楽部』第一巻第八号	明治44年(1911)7月	雑誌	東京国立近代美術館	後期
2-41	杉浦非水	『台湾愛国婦人』第四十五巻	明治45年(1912)8月	雑誌	愛媛県美術館	
2-42	杉浦非水	『文章世界』三月号	大正2年(1913)3月	雑誌	愛媛県美術館	
2-43	杉浦非水	『演芸画報』第七年第一号	大正2年(1913)1月	雑誌	愛媛県美術館	
2-44	杉浦非水	『女子文壇』第十巻第六号	大正3年(1914)6月	雑誌	愛媛県美術館	
2-45	杉浦非水	『ダイヤモンド』第三巻第八号	大正4年(1915)8月	雑誌	愛媛県美術館	
2-46	杉浦非水	『家庭と玩具』第二巻第一号	大正5年(1916)1月	雑誌	愛媛県美術館	
2-47	杉浦非水	『家庭』二月号	大正6年(1917)2月	雑誌	愛媛県美術館	
2-48	杉浦非水	『日本印刷界』第五十八号	大正3年(1914)8月	雑誌	東京国立近代美術館	後期
2-49	杉浦非水	『印刷世界』第五十八号(原画)	大正3年(1914)	着色、鉛筆・紙	東京国立近代美術館	後期
2-50	杉浦非水	『婦人倶楽部』第二巻第九号	大正10年(1921)9月	雑誌	愛媛県美術館	
2-51	杉浦非水	『現代』第二巻第四号	大正10年(1921)4月	雑誌	愛媛県美術館	
2-52	杉浦非水	『現代』第二巻第六号	大正10年(1921)6月	雑誌	愛媛県美術館	
<b>2-2 三越での活動 I</b>						
2-53	杉浦非水	三越呉服店 春の新柄陳列会	大正3年(1914)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館	
2-54	岡田三郎助	三越呉服店(むらさきしらべ)	明治42年(1909)	リトグラフ・紙	株式会社三越伊勢丹	前期
2-55	橋口五葉	三越呉服店(此美人)	明治44年(1911)	リトグラフ・紙	株式会社三越伊勢丹	後期
2-56	杉浦非水	三越呉服店 新館落成	大正3年(1914)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館	
2-57	杉浦非水	三越呉服店(エンゼル)	大正4年(1915)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館	
2-58	杉浦非水	『三越』第一巻六号		雑誌	株式会社三越伊勢丹	前期
2-58	杉浦非水	『三越』第二巻四号		雑誌	株式会社三越伊勢丹	前期
2-58	杉浦非水	『三越』第三巻八号		雑誌	株式会社三越伊勢丹	前期
2-58	杉浦非水	『三越』第五巻二号		雑誌	株式会社三越伊勢丹	前期
2-58	杉浦非水	『三越』第八巻六号		雑誌	株式会社三越伊勢丹	前期
2-58	杉浦非水	『三越』第九巻六号		雑誌	株式会社三越伊勢丹	後期
2-58	杉浦非水	『三越』第十二巻七号		雑誌	株式会社三越伊勢丹	前期

2-59	杉浦非水	『三越』第五巻第四号(原画)	大正4年(1915)	水彩、鉛筆・紙	東京国立近代美術館	後期
2-60	杉浦非水	『三越』第四巻第二号(原画)	大正3年(1914)頃	グアッシュ、紙	東京国立近代美術館	前期
2-61	杉浦非水	『三越』第七巻第十一号(原画)	大正6年(1917)頃	グアッシュ、紙	東京国立近代美術館	前期
2-62	杉浦非水	『三越』第八巻第四号(原画)	大正7年(1918)頃	グアッシュ、紙	東京国立近代美術館	前期
2-63	杉浦非水	『三越』第八巻第十一号(原画)	大正7年(1918)頃	グアッシュ、紙	東京国立近代美術館	前期
2-64	杉浦非水	『みつこしタイムス』第八巻第九号		雑誌	株式会社三越伊勢丹	後期
2-64	杉浦非水	『みつこしタイムス』第八巻第十二号		雑誌	株式会社三越伊勢丹	前期
2-64	杉浦非水	『みつこしタイムス』第九巻第十一号		雑誌	株式会社三越伊勢丹	後期
2-64	杉浦非水	『みつこしタイムス』第十巻第十号		雑誌	株式会社三越伊勢丹	前期
2-64	杉浦非水	『みつこしタイムス』第十一巻第六号		雑誌	株式会社三越伊勢丹	後期
2-64	杉浦非水	『みつこしタイムス』第十二巻第四号		雑誌	株式会社三越伊勢丹	後期
2-64	杉浦非水	『みつこしタイムス』第七巻第七号		雑誌	愛媛県美術館	
2-64	杉浦非水	『みつこしタイムス』第八巻第五号		雑誌	愛媛県美術館	
2-64	杉浦非水	『みつこしタイムス』第九巻第四号		雑誌	愛媛県美術館	
2-64	杉浦非水	『みつこしタイムス』第九巻第八号		雑誌	愛媛県美術館	
2-65	杉浦非水	新案家庭衣裳あはせ	明治43年(1910)	雑誌	株式会社三越伊勢丹	後期
2-66	杉浦非水	『ごちうもの菜』	明治45年(1912)4月	パンフレット	個人蔵	
2-67	杉浦非水	『三越のショール』	大正初期(1910年代)	パンフレット	愛媛県美術館	
2-68	杉浦非水	巖谷季雄編『子宝』	明治45年(1912)、2版	書籍	愛媛県美術館	
2-69	杉浦非水	東京三越呉服店 第九回児童博覧会	大正6年(1917)	リトグラフ、オフセット・紙	東京国立近代美術館	後期

## 2-3 多様な活動

2-70	杉浦非水	光風会洋画函授展覧会	明治45年(1912)	木版・紙	愛媛県美術館	
2-71	杉浦非水	光風会第二回絵画展覧会	大正2年(1913)	木版・紙	愛媛県美術館	後期
2-72	杉浦非水	光風会第三回洋画展覧会	大正3年(1914)	木版・紙	東京国立近代美術館	前期
2-73	杉浦非水	南満州鉄道株式会社	大正6年(1917)頃	リトグラフ、オフセット・紙	愛媛県美術館	
2-74	杉浦非水	戦後の用意 貯金は今日の急務	大正4-8年(1915-19)頃	リトグラフ、オフセット・紙	東京国立近代美術館	後期
2-75	杉浦非水	勸業債券売出し 九月一日より十日まで	大正4年(1915)頃	リトグラフ、オフセット・紙	愛媛県美術館	前期
2-76	杉浦非水	勸業債券売だし 十一月廿日より十二月五日まで	大正9年(1920)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館	
2-77	杉浦非水	『ツーリスト』第十八号	大正5年(1916)	雑誌	愛媛県美術館	
2-78	杉浦非水	『THE TOURIST』Vol. X II No.3	大正13年(1924)5月	雑誌	愛媛県美術館	
2-79	杉浦非水	Guide to Kongo-San	大正4年(1915)	パンフレット	東京国立近代美術館	前期
2-80	杉浦非水	SHANTUNG RAILWAY	1910-20年代	パンフレット	東京国立近代美術館	後期
2-81	杉浦非水	MAP OF KEIJYŌ	大正2年(1913)	パンフレット	東京国立近代美術館	後期
2-82	杉浦非水	白地鈴蘭に鳥模様長襦袢	大正初期(1910年代)	染、絹(縮緬)	神戸ファッション美術館	

## トピック展示(1) 妻・翠子

2-83	杉浦非水	翠子宛書簡 明治36年11月28日-12月3日付	明治36年(1903)	墨、水彩・紙	愛媛県美術館	
2-84		〔非水と翠子〕		写真	愛媛県美術館	
2-85	杉浦非水	スケッチ		水彩、鉛筆・紙	愛媛県美術館	
2-86	杉浦非水	杉浦翠子著『愛しき歌人の群』	昭和2年(1927)	書籍	愛媛県美術館	
2-87	杉浦非水	杉浦翠子著『朝の呼吸』	昭和3年(1928)	書籍	個人蔵	
2-88	杉浦非水	杉浦翠子著『寒紅集』	大正6年(1917)	書籍	三重県立美術館	
2-89	杉浦非水	杉浦翠子著『浅間の表情』	昭和12年(1937)	書籍	個人蔵	
2-90	杉浦非水	杉浦朝武編『行雲流水 追悼歌文集』	昭和36年(1961)	書籍	個人蔵	
2-91	杉浦非水	婦人帯(翠子所用)	大正-昭和初期	絹	株式会社三越伊勢丹	
2-92	杉浦非水、翠子	合作〔モミジイチゴ〕	昭和時代	絹本着色	個人蔵	
2-93	杉浦非水、翠子	合作色紙	昭和時代	紙本着色	愛媛県美術館	
2-94	杉浦非水	非水図案年賀状	明治-昭和時代	葉書	愛媛県美術館	

## 第3章 自然に学ぶ一写生と図案

### 3-1 写生のやしない

3-2	杉浦非水	植物写生帖 夏之部		墨、水彩、鉛筆・紙	東京国立近代美術館	前期
3-4	杉浦非水	蟲類写生帖		墨、水彩、鉛筆・紙	東京国立近代美術館	後期
3-5	杉浦非水	スケッチ		水彩、鉛筆・紙	愛媛県美術館	

3-6	杉浦非水	貯蓄は根の如く 平和は花の如し	大正6年(1917)頃	リトグラフ、オフセット・紙	愛媛県美術館
3-7	杉浦非水	貯蓄は根の如く 平和は花の如し(原画)	大正6年(1917)頃	着色・紙	愛媛県美術館
3-8	杉浦非水	美味滋強飲料 カルピス	大正8-12年(1919-23)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館
3-9	杉浦非水	星名刺	昭和4年(1929)頃	リトグラフ・紙	愛媛県美術館
3-10	杉浦非水	柳川春葉著『かたおもひ』一・二・三巻	大正3年(1914)	書籍	愛媛県美術館
3-11	杉浦非水	田口掬丁著『ふたおもて』前	大正4年(1915)	書籍	愛媛県美術館
3-12	杉浦非水	『三越』第一巻第十号	明治44年(1911)11月	雑誌	愛媛県美術館
3-13	杉浦非水	『雄弁』第十五巻第五号	大正13年(1924)5月	雑誌	愛媛県美術館
3-14	杉浦非水	金井紫雲著『花と芸術』	昭和9年(1934)(2版)	書籍	個人蔵
3-15	杉浦非水	桜井忠温著『大将白川』	昭和8年(1933)	書籍	個人蔵
3-16	杉浦非水	グノー作曲『夜のしらべ』	大正5年(1916)、2版	楽譜	個人蔵
3-17	杉浦非水	『たかね』第十九号	大正7年(1918)4月	雑誌	愛媛県美術館
3-18	杉浦非水	『たかね』第十九号(原画)	大正7年(1918)	着色・紙	愛媛県美術館

### 3-2 図案集と『非水百花譜』

3-19	杉浦非水	非水図案絵葉書	大正4-5年(1915-16)頃	葉書	愛媛県美術館
3-20	杉浦非水	『非水図案集 第一輯』	大正4年(1915)	印刷・紙	宇都宮美術館
3-21	杉浦非水	『非水の図案』	大正5年(1916)	印刷・紙	愛媛県美術館
3-22	杉浦非水	『非水一般応用図案集』	大正10年(1921)	印刷・紙	愛媛県美術館
3-23	杉浦非水	『非水百花譜』(大正版)	大正9-11年(1920-22)	木版・紙	島根県立石見美術館
3-24	杉浦非水	『非水百花譜』(昭和版)	昭和4-9年(1929-34)	木版・紙	愛媛県美術館
3-25	杉浦非水	スケッチ〔『非水百花譜』関連下絵〕	大正-昭和時代	鉛筆、水彩・紙	愛媛県美術館
3-26	杉浦非水	スケッチ〔植物〕	大正-昭和時代	鉛筆、水彩・紙	愛媛県美術館

### トピック展示(2) 写真と小型映画

3-27	杉浦非水	『アマチュア』第一巻第一号	大正11年(1922)7月	雑誌	愛媛県美術館
3-28	杉浦非水	熱砂	大正12年(1923)	印刷・紙	愛媛県美術館
3-29	杉浦非水	絵本	大正12年(1923)	印刷・紙	愛媛県美術館
3-30	杉浦非水	二月堂	大正12年(1923)	印刷・紙	愛媛県美術館
3-31	杉浦非水	『家の光』第三巻第五号	昭和2年(1927)5月	雑誌	愛媛県美術館
3-32	杉浦非水	『写真機が旅をする』	大正11年(1922)7月	雑誌	愛媛県美術館
3-33	杉浦非水	〔水景〕		写真	愛媛県美術館
3-34	杉浦非水	〔川〕		写真	愛媛県美術館
3-35	杉浦非水	奥多摩一景	昭和9年(1934)	写真	愛媛県美術館
3-36	杉浦非水	土管の雪	昭和9年(1934)	写真	愛媛県美術館
3-37	杉浦非水	大仏	昭和9年(1934)	写真	愛媛県美術館
3-38	杉浦非水	ペットのまどゐ	昭和9年(1934)	写真	愛媛県美術館
3-39	杉浦非水	〔くらげ〕		写真	愛媛県美術館
3-40	杉浦非水	〔樹氷〕		写真	愛媛県美術館
3-41	杉浦非水	旧蔵フィルム	1920年代後半	映像	国立映画アーカイブ
3-42	杉浦非水	日立電気冷蔵庫	昭和8年(1933)	パンフレット	愛媛県美術館
3-43	杉浦非水	〔浅間山噴火〕	昭和34年(1959)	写真	愛媛県美術館
3-44	杉浦非水	昭和九年十一月廿四日 新雪の浅間	昭和9年(1934)	水彩、鉛筆・紙	愛媛県美術館
3-45	杉浦非水	昭和二十二年八月十四日十二時二十五分噴火	昭和22年(1947)	水彩、鉛筆・紙	愛媛県美術館
3-46	杉浦非水	杉浦翠子著『生命の波動』	昭和27年(1952)	書籍	愛媛県美術館
3-47	杉浦非水	『短歌至上主義』第三巻第二号	昭和10年(1935)2月	雑誌	愛媛県美術館
3-48	杉浦非水	〔潮干狩り〕		写真	愛媛県美術館
3-50	杉浦非水	大電力放送開始JOAK	昭和3年(1928)	リトグラフ・紙	東京国立近代美術館 前期
3-51	杉浦非水	岐阜長良川鶴飼と納涼	昭和4年(1929)	オフセット・紙	愛媛県美術館
3-52	杉浦非水	佐渡まで海上二時間	昭和9年(1934)	リトグラフ、オフセット・紙	愛媛県美術館 後期
3-53	杉浦非水	『家の光』第二巻第八号	大正15年(1926)8月	雑誌	愛媛県美術館
3-54	杉浦非水	『現代』第八巻第十二号	昭和2年(1927)12月	雑誌	愛媛県美術館
3-55	杉浦非水	『科学知識』第十三巻第六号	昭和8年(1933)6月	印刷・紙	愛媛県美術館
3-56	杉浦非水	『科学知識』第十五巻第四号	昭和10年(1935)4月	印刷・紙	愛媛県美術館

3-57	杉浦非水	湊邦三著『距離零』	昭和19年(1944)	書籍	個人蔵
<b>第4章 非水が目指したもの、のこしたのもの</b>					
<b>4-1 ヨーロッパ游学</b>					
4-1	杉浦非水	爽快美味滋強飲料 カルピス	大正15年(1926)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館
4-2	杉浦非水	「カルピス」徳用壘包紙(青、赤)	大正11年(1922)	印刷・紙	愛媛県美術館
4-3	杉浦非水	「カルピス」壘ラベル		印刷・紙	愛媛県美術館
4-4	杉浦非水	「カルピス」発売70周年記念復刻版 化粧箱付壘	平成元年(1989)*1919年発売当時のデザインがモデル	パッケージ	アサヒ飲料株式会社
4-5	藤田嗣治	自画像	昭和4年(1929)	墨・絹	愛媛県美術館
4-6	藤田嗣治	アントワープ港の眺め	大正12年(1923)	油彩・キャンバス	島根県立石見美術館
4-7	杉浦非水	藤田嗣治肖像写真	撮影：昭和2年(1927)	印刷、墨・紙	愛媛県美術館
4-8	杉浦非水所用	旅行鞆		木 ほか	愛媛県美術館
4-9	杉浦非水	ヨーロッパ日記	大正11-13年(1922-24)	ノート	愛媛県美術館
4-10	杉浦非水	フランス語ノート	大正11-13年(1922-24)	ノート	愛媛県美術館
4-11	杉浦非水	スケッチ	大正11-13年(1922-24)	水彩、鉛筆・紙	愛媛県美術館
4-12	杉浦非水	アルバム	大正11-13年(1922-24)	アルバム	愛媛県美術館
4-13	杉浦非水	ヨーロッパ游学中に撮影した写真	大正11-13年(1922-24)	写真	愛媛県美術館
<b>トピック展示(3) コレクター/アーキビストとしての非水</b>					
4-14		非水アルバム帖	明治-昭和時代	アルバム	愛媛県美術館
4-15		アルバム		アルバム	愛媛県美術館
4-16		蔵書票(人魚、飛天)(原画)		鉛筆、インク、ホワイトによる修正・紙	愛媛県美術館
4-17		収集物			愛媛県美術館
4-18		『外国文字集』		スクラップブック	愛媛県美術館
4-19		『名物控帳』	昭和12-28年(1937-53)頃	スクラップブック	愛媛県美術館
4-20		スクラップブック	明治-昭和時代	スクラップブック	愛媛県美術館
4-21		スクラップ		封筒、冊子	東京国立近代美術館
4-22		メニュー		印刷・紙	愛媛県美術館
4-23		ホテルラベル		印刷・紙	愛媛県美術館
4-24		非水宛年賀状	明治-昭和時代	葉書	愛媛県美術館
<b>4-2 三越での活動Ⅱ</b>					
4-25	杉浦非水	京城三越 新館落成	昭和4年(1929)	リトグラフ、オフセット・紙	東京国立近代美術館 前期
4-26	杉浦非水	銀座三越 四月十日開店	昭和5年(1930)	オフセット・紙	愛媛県美術館
4-27	杉浦非水	新宿三越落成 十月十日開店	昭和5年(1930)	オフセット・紙	愛媛県美術館
4-28	杉浦非水	新宿三越落成(原画)	昭和5年(1930)	グアッシュ・紙	東京国立近代美術館 後期
4-29	杉浦非水	『三越』第十五巻第五号		雑誌	愛媛県美術館
4-29	杉浦非水	『三越』第十五巻第六号		雑誌	愛媛県美術館
4-29	杉浦非水	『三越』第十七巻第七号		雑誌	愛媛県美術館
4-29	杉浦非水	『三越』第十八巻第四号		雑誌	愛媛県美術館
4-29	杉浦非水	『三越』第二十二巻第五号		雑誌	愛媛県美術館
4-29	杉浦非水	『三越』第二十二巻第七号		雑誌	愛媛県美術館
4-29	杉浦非水	『三越』第二十二巻十一号		雑誌	愛媛県美術館
4-29	杉浦非水	『三越』第十六巻一号		雑誌	株式会社三越伊勢丹 前期
4-29	杉浦非水	『三越』第十六巻七号		雑誌	株式会社三越伊勢丹 後期
4-29	杉浦非水	『三越』第十七巻十一号		雑誌	株式会社三越伊勢丹 前期
4-30	杉浦非水	三越呉服店広告図案(『帝劇』掲載)(原画)	1920年代	着色・紙	東京国立近代美術館 前期
4-31	杉浦非水	三越呉服店広告図案(原画)	1930年代	着色、鉛筆・紙	東京国立近代美術館
4-32	杉浦非水	『三越』十一月号表紙(原画)	1920-30年代	水彩・紙	東京国立近代美術館 後期
4-33	杉浦非水	『大阪の三越』第二年第七号		雑誌	株式会社三越伊勢丹 前期
4-33	杉浦非水	『大阪の三越』第二年第十一号		雑誌	株式会社三越伊勢丹 後期
4-33	杉浦非水	『大阪の三越』第五年第一号		雑誌	島田安彦コレクション
4-33	杉浦非水	『大阪の三越』第四年第一号		雑誌	愛媛県美術館
4-33	杉浦非水	『大阪の三越』第五年第五号		雑誌	愛媛県美術館
4-33	杉浦非水	『大阪の三越』第六年第五号		雑誌	愛媛県美術館

4-33	杉浦非水	『大阪の三越』第六年十一号		雑誌	愛媛県美術館	
4-34	杉浦非水	LETTER TABLET(孔雀)	1920年代	便箋	愛媛県美術館	
4-35	杉浦非水	LETTER TABLET(女性)	1920年代	便箋	東京国立近代美術館	後期
4-36	杉浦非水	団扇〔青い花〕		印刷・紙	愛媛県美術館	
4-37	杉浦非水	団扇〔海景〕		印刷・紙	愛媛県美術館	
4-38	杉浦非水	大阪子ども研究会編『わが子の歴史』	昭和3年(1928)	書籍	個人蔵	
4-39	杉浦非水	原画(帯図案)	昭和6年(1931)頃	着色、鉛筆・紙	東京国立近代美術館	
<b>4-3 図案を普及する</b>						
4-40	杉浦非水	七人社第一回創作ポスター展覧会	大正15年(1926)	リトグラフ・紙	東京国立近代美術館	前期
4-41	杉浦非水	七人社第二回創作ポスター展覧会	昭和2年(1927)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館	後期
4-42	杉浦非水	七人社第三回創作ポスター展覧会	昭和3年(1928)	リトグラフ・紙	愛媛県美術館	
4-43	杉浦非水	SHICHININSHA	昭和8年(1933)	水彩・紙	愛媛県美術館	後期
4-44	杉浦非水	アフィッシュ創刊号	昭和2年(1927)	リトグラフ・紙	東京国立近代美術館	前期
4-45	杉浦非水	『アフィッシュ』第一年第一号	昭和2年(1927)7月	雑誌	愛媛県美術館	
4-46	杉浦非水	『アフィッシュ』第一年第二号	昭和2年(1927)8月	雑誌	東京国立近代美術館	前期
4-47	杉浦非水	『アフィッシュ』第一年第三号	昭和2年(1927)9月	雑誌	東京国立近代美術館	後期
4-48	杉浦非水	『アフィッシュ』第一年第四号	昭和2年(1927)10月	雑誌	東京国立近代美術館	後期
4-49	杉浦非水	杉浦非水図案生活三十年記念聯合展覧会	昭和11年(1936)	オフセット・紙	東京国立近代美術館	後期
4-50	杉浦非水	七人社第十回創作図案展	昭和11年(1936)	オフセット・紙	愛媛県美術館	
4-51	青井辰雄	多摩帝国美術学校第1回図案科会展覧会	昭和11年(1936)	オフセット・紙	愛媛県美術館	前期
4-52		『デセグノ』1	昭和11年(1936)	雑誌	愛媛県美術館	
4-53	渡邊素舟、杉浦非水ほか編	『現代商業美術全集1 世界各国ポスター集』	昭和4年(1929)	書籍	個人蔵	
4-54	渡邊素舟、杉浦非水ほか編	『現代商業美術全集2 実用ポスター図案集』	昭和3年(1928)	書籍	個人蔵	
4-55	杉浦非水、渡邊素舟共著	『図案の美学』	昭和8年(1933)	書籍	愛媛県美術館	
4-56	杉浦非水、渡邊素舟編	『実用図案資料大成 植物資料図案集』上巻	昭和8年(1933)	書籍	愛媛県美術館	
4-57	杉浦非水、渡邊素舟編	『世界植物図案資料集成』	昭和34年(1959)	書籍	愛媛県美術館	
4-58	杉浦非水、渡邊素舟編	『世界人物図案資料集成』	昭和32年(1957)	書籍	愛媛県美術館	
4-59	杉浦非水	巻一男女共通 幾何学的単独充填模様(原画)		鉛筆、着色・紙	愛媛県美術館	
4-60	杉浦非水	巻三男子巻四女子 風景の図案的表現(原画)		鉛筆、着色・紙	愛媛県美術館	
<b>4-4 モダンデザインの花—ヨーロッパ遊学後の仕事</b>						
4-61	杉浦非水	トモエ石鹸	大正15年(1926)	リトグラフ・紙	東京国立近代美術館	前期
4-62	杉浦非水	ヤマサ醤油	1920年代	オフセット・紙	愛媛県美術館	
4-63	杉浦非水	銅化塗料ノーワン	1920年代	リトグラフ、オフセット・紙	島根県立石見美術館	後期
4-64	杉浦非水	古河コッパーペイント	1920年代	リトグラフ、オフセット・紙	愛媛県美術館	
4-65	杉浦非水	東洋唯一の地下鉄道 上野浅草間開通	昭和2年(1927)	リトグラフ、オフセット・紙	愛媛県美術館	
4-66	杉浦非水	東洋唯一の地下鉄道 上野浅草間開通	昭和2年(1927)	リトグラフ、オフセット・紙	東京国立近代美術館	後期
4-67	杉浦非水	科学の粋をあつめた地下鉄道 上野浅草間開通	昭和2年(1927)	リトグラフ、オフセット・紙	愛媛県美術館	
4-68	杉浦非水	萬世橋まで延長開通 東京地下鉄道	昭和4年(1929)頃	リトグラフ、オフセット・紙	東京国立近代美術館	前期
4-69	杉浦非水	『上野浅草間建設工事概要』	昭和2年(1927)	パンフレット	東京国立近代美術館	前期
4-70	杉浦非水	『東京地下鉄道広告案内』	昭和3年(1928)	パンフレット	愛媛県美術館	
4-71	杉浦非水	アサヒグラフ臨時増刊 明治大正名作展号	昭和2年(1927)	リトグラフ、オフセット・紙	愛媛県美術館	
4-72	杉浦非水	明治大正名作展覧会	昭和2年(1927)	印刷・紙	東京国立近代美術館	前期
4-73	杉浦非水	世界裸体美術全集	昭和6年(1931)	リトグラフ、オフセット・紙	東京国立近代美術館	後期
4-74	杉浦非水	科学の力に魂の叫び	昭和2年(1927)	リトグラフ、オフセット・紙	愛媛県美術館	
4-75	杉浦非水	第二次産業組合拡充三ヶ年計画	昭和12年(1937)	リトグラフ、オフセット・紙	島根県立石見美術館	
4-76	杉浦非水	国の文化は道路から	昭和3年(1928)頃	リトグラフ、オフセット・紙	愛媛県美術館	
4-77	杉浦非水	画帖	昭和3年(1928)頃	鉛筆・紙	愛媛県美術館	
4-78	杉浦非水	日向の早熟蔬菜と果実	昭和3年(1928)頃	オフセット・紙	島根県立石見美術館	
4-79	杉浦非水	『非水創作図案集』	大正15年(1926)	印刷・紙	愛媛県美術館	
4-80	杉浦非水	アグネス・アルウィン著 『美味しい洋食の拵しらへ方』	大正13年(1924)	書籍	個人蔵	
4-81	杉浦非水	フェレンク・モルナー著『白鳥』	大正13年(1924)	書籍	個人蔵	
4-82	杉浦非水	佐藤紅緑著『第一步』	昭和2年(1927)(9版)	書籍	愛媛県美術館	

4-83	杉浦非水	エクトル・マロー著『あゝ故郷』	昭和2年(1927)	書籍	愛媛県美術館	
4-84	杉浦非水	菊池寛編『小学生全集2 太閤記物語』	昭和5年(1930)	書籍	個人蔵	
4-85	杉浦非水	『現代日本文学全集 第十一編 正岡子規集』 (並装版)	昭和3年(1928)	書籍	個人蔵	
4-86	杉浦非水	『現代日本文学全集 第一編 明治開化期文学集』(布装版)	昭和6年(1931)	書籍	個人蔵	
4-87	杉浦非水	『英文世界名著全集 第二十五巻 天路歷程』	昭和3年(1928)	書籍	個人蔵	
4-88	杉浦非水	高田義一郎著『世相表裏の医学的研究』	昭和4年(1929)、2版	書籍	個人蔵	
4-89	杉浦非水	『嫁入叢書 婦人衛生編』	昭和4年(1929)	書籍	個人蔵	
4-90	杉浦非水	麴町幸二編『モダン用語辞典』	昭和5年(1930)、11版	書籍	個人蔵	
4-91	杉浦非水	沖野岩三郎著『赦し得ぬ悩み』	昭和3年(1928)	書籍	愛媛県美術館	
4-92	杉浦非水	伊藤重治郎著『新会社員学』	昭和5年(1930)	書籍	個人蔵	
4-93	杉浦非水	原田三夫、松山思水著 『世界探検全集 第5巻 アフリカ探検 上』	昭和5年(1930)	書籍	個人蔵	
4-94	杉浦非水	仁科春彦著『人を笑はせる小話集』	昭和8年(1933)	書籍	個人蔵	
4-95	杉浦非水	宮寺俊雄著『財界の鬼才 福澤桃介の生涯』	昭和28年(1953)	書籍	個人蔵	
4-96	杉浦非水	『新曲童謡 大風小風』	大正14年(1925)	楽譜	愛媛県美術館	
4-97	杉浦非水	『現代』第六巻第六号	大正14年(1925)6月	雑誌	愛媛県美術館	
4-98	杉浦非水	『現代』(原画)	1920年代	グアッシュ・紙	東京国立近代美術館	前期
4-99	杉浦非水	『科学』創刊号	大正13年(1924)11月	雑誌	東京国立近代美術館	後期
4-100	杉浦非水	『科学』第二巻第三号	大正14年(1925)3月	雑誌	愛媛県美術館	前期
4-101	杉浦非水	『雄弁』第十五巻第十号	大正13年(1924)10月	雑誌	愛媛県美術館	
4-102	杉浦非水	『東京』第一巻第二号	大正13年(1924)10月	雑誌	愛媛県美術館	
4-103	杉浦非水	『東京』第二巻第一号	大正14年(1925)1月	雑誌	愛媛県美術館	
4-104	杉浦非水	『実業界』第三十四巻第四号	昭和2年(1927)4月	雑誌	愛媛県美術館	
4-105	杉浦非水	『処女の友』第十巻第五号	昭和2年(1927)5月	雑誌	愛媛県美術館	
4-106	杉浦非水	『街』第一巻第二月号(原画)	昭和2年(1927)	着色・紙	愛媛県美術館	前期
4-107	杉浦非水	『むれ星』第八巻第七号	昭和10年(1935)7月	雑誌	東京国立近代美術館	前期
4-108	杉浦非水	『むれ星』第十三巻第八号	昭和15年(1940)8月	雑誌	東京国立近代美術館	後期
4-109	杉浦非水	『図画と手工』第一五三号	昭和7年(1932)1月	雑誌	東京国立近代美術館	後期
4-110	杉浦非水	『科学知識』第十一巻第七号	昭和6年(1931)7月	雑誌	東京国立近代美術館	前期
4-111	杉浦非水	『科学知識』第十二巻第十二号	昭和7年(1932)12月	雑誌	東京国立近代美術館	後期
4-112	杉浦非水	新製口付 紙巻煙草のり	昭和5年(1930)	リトグラフ、オフセット・紙	たばこと塩の博物館	
4-113	杉浦非水	響	昭和7年(1932)(商品発売年)	印刷・紙	たばこと塩の博物館	
4-114	杉浦非水	PALOMA	昭和8年(1933)(商品発売年)	印刷・紙	たばこと塩の博物館	
4-115	杉浦非水	Momoyama	昭和9年(1934)(商品発売年)	印刷・紙・金属	たばこと塩の博物館	
4-116	杉浦非水	光	昭和11年(1936)(商品発売年)	印刷・紙	たばこと塩の博物館	
4-117	杉浦非水	扶桑	昭和13年(1938)(商品発売年)	印刷・紙	たばこと塩の博物館	
4-118	杉浦非水	NIKKO	昭和24年(1949)(商品発売年)	印刷・紙	たばこと塩の博物館	
4-119	杉浦非水	エスケーコナ石鱈		印刷・紙	愛媛県美術館	
4-120	杉浦非水	「琥珀ワニス」ラベル		印刷・紙	愛媛県美術館	
4-121	杉浦非水	FORMOSA TAIWAN	昭和13年(1928)	パンフレット	東京国立近代美術館	前期
4-122	杉浦非水	THE TRAVEL BULLETIN	昭和10年(1935)	パンフレット	東京国立近代美術館	後期
4-123	杉浦非水	台湾	1920-30年代	パンフレット	東京国立近代美術館	後期
4-124	杉浦非水	電話番号簿	1920-30年代	印刷・紙	東京国立近代美術館	
4-125	杉浦非水	『近代劇協会』(原画)	1920年代	水彩・紙	東京国立近代美術館	前期
4-126	杉浦非水	「AURORA(極光)」広告図案(白熊)(原画)	1950-60年代	グアッシュ・紙	東京国立近代美術館	後期
4-127	杉浦非水	黎明無風 浅間連作の内	昭和34年(1959)	水彩・紙	愛媛県美術館	
4-128	杉浦非水	雨	昭和40年(1965)	絹本着色	愛媛県美術館	

## 第77回福岡県美術展覧会（県展）

- ◆主催：福岡県美術展覧会実行委員会（福岡県立美術館、公益社団法人福岡県美術協会、西日本新聞社）
- ◆後援：福岡市、福岡市教育委員会ほか
- ◆協賛：株式会社岩田屋三越、学校法人麻生塾 麻生専門学校グループ ASOポップカルチャー専門学校
- ◆会場・会期  
県展（福岡県立美術館） 令和4年 9月 6日（火） ～10月2日（日） 24日間

### <巡回展>

筑後展（大牟田文化会館）	10月10日（月・祝）	～10月16日（日）	6日間
筑豊展（嘉麻市立織田廣喜美術館）	10月18日（火）	～11月6日（日）	18日間
宗像展（宗像ユリックス）	11月 8日（火）	～11月20日（日）	12日間
北九州展（北九州市立美術館）	11月30日（水）	～12月 4日（日）	5日間

- ◆入場料：一般 300円  
          （県展） 高大生 200円  
                  小中生 100円
- ◆入場者数：7,200人（県展）、3,758人（巡回展）

### ◆開催趣旨

県民から広く作品を募集し、その優れた成果を展示することで、創造意欲を高め、美術を通じた豊かな生き方を支援する。あわせて、福岡県美術協会会員の作品を展示し、福岡県における美術活動のより一層の充実をめざす。

### ◆審査員

日本画／関出 稲員 頼子、田中 宗舟、福本 東洋子、峰松 由布子  
洋画／中林 忠良、宇田川 宣人、川副 了造、中原 未央、原田 靖雄  
彫刻／伊東 敏光、佐藤 頌次郎、田中 美貴、安川 弘造  
工芸／赤沼 潔、鈴田 由紀夫、井上 るり子、遠藤 喜代志、白石 栄子、増田 千鶴子  
書／古 浩興、富田 淳、名児耶 明、大淵 鐵牛、北村 久峰、二宮 欣山、野瀬 義也、  
          益尾 天嶽、丸林 玉芳  
写真／蜂須賀 秀紀、川島 幹夫、堀川 不二男、松永 楠生、柳 妙子  
デザイン／牧野 伊三夫、市丸 美波子、重松 依子、田中 喜久子、吉本 暢子

### ◆図録

A4版80頁

<内容> 図版

出品目録（公募の部、会員の部）

選后感

出品数・入選数一覧（公募の部）



◆関連事業

<オープニングセレモニー>

9月7日(水) 福岡県立美術館 2階ハイビジョン前

※台風による臨時休館により、6日(火)の予定を延期して開催。  
各部門県知事賞受賞者によるテープカット及び受賞作品解説を実施。

<合評会>

県展各会期最終日に、県美術協会審査員による部門ごとの合評会を実施。

※台風による臨時休館により日本画、工芸、デザイン部門の合評会は中止。

<表彰式>

10月2日(日) 福岡リーセントホテル 2階舞鶴の間

◆関連記事

<入選・入賞掲載記事>

西日本新聞、朝日新聞、毎日新聞

<オープニングセレモニー>

西日本新聞社

◆事業の概要

県展会期：令和4年9月6日(火)～令和4年10月2日(日) [24日間]

会期	開催期間	部門	入場者数		
			総数	有料	無料
1期	9月6日～9月11日	彫刻・写真	1,780	586	1,194
2期	9月13日～9月19日	日本画・工芸・デザイン	1,241	590	651
3期	9月21日～9月25日	洋画	2,113	942	1,171
4期	9月27日～10月2日	書	2,066	732	1,334
合計			7,200	2,850	4,350

※台風のため、9月6日(火)午前、9月18日(日)、19日(月・祝)は臨時休館

県展出品数・展示数

公募の部				
部門	出品数	出品者数	展示数	
日本画	56	53	41	
洋画	490	381	212	
彫刻	28	25	19	
工芸	154	136	113	
書	漢字	505	-	303
	かな	257	-	154
	てん刻	46	-	28
	調和体	70	-	42
	小計	878	823	527
写真	702	489	280	
デザイン	193	187	97	
合計	2,501	2,094	1,289	

会員の部	
出品数	
48	
166	
35	
39	
194	
65	
22	
569	

## 日本の切り絵 7人のミューズ

- ◆ 主催 「日本の切り絵 7人のミューズ」福岡会場実行委員会  
(福岡県立美術館、毎日新聞社、TNCプロジェクト、テレビ西日本)
- ◆ 協賛 YKK AP株式会社
- ◆ 後援 福岡県、福岡市、福岡市教育委員会、(公財)福岡市文化芸術振興財団、九州旅客鉄道、西日本鉄道
- ◆ 会期 令和4年10月28日(金)～12月25日(日) 51日間  
月曜休館  
午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで)
- ◆ 会場 3階展示室1～4号室
- ◆ 入場料 一般 1,200円 (1,000円)  
高大生 800円 (600円)  
小中生 500円 (300円)  
※ 上記( )内は前売り・20名以上の団体料金  
※ 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者1名、特定疾患医療受給者証・特定医療費(指定難病)受給者証の交付を受けている方は無料
- ◆ 入場者数 9,463人
- ◆ 開催趣旨  
紙という素材の特性を最大限に活かしながら、ハサミやナイフでカットすることで素晴らしいアートとなる「切り絵」。切り絵の創作技法や作風は作家によりさまざまであるが、それだけに作品には個性と特色があふれており、作家自身の完成と創作に向かう強い想いが伝わってくる。  
本展は、日本を代表する女性切り絵作家7人に焦点をあて、代表作をはじめ新作を含めた計105点を展示し、切り絵とは思えないような繊細で華麗な作品が楽しめる内容とした。
- ◆ イベント等
  - 開会式(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者を関係者と報道機関に限定して実施)
    - ① 日時:10月28日(金)9:30～9:50
    - ② 場所:福岡県立美術館 2階ハイビジョン前(テープカット:2階踊り場)
    - ③ 出席者:福岡県副知事 大曲昭恵  
福岡県議会文教委員会副委員長 笠和彦  
福岡県教育委員会教育長 吉田法稔  
YKK AP株式会社ビル本部九州支社福岡支店長 満行 崇 他
  - 作家によるギャラリートーク・サイン会・実演
    - ・場所:ギャラリートーク 福岡県立美術館 3階展示室内
    - サイン会 // 3階物販コーナー横
    - 実演 // 4階視聴覚室
    - ・参加費:無料 ギャラリートーク:本展の入場券が必要  
サイン会:当館物販コーナーで関連書籍を購入した方に限る  
実演:事前申込み及び本展の入場券が必要(半券可)
- 【講師 蒼山日菜】
  - ア 日時:11月5日(土) ①14:00～ギャラリートーク ②15:00～サイン会
  - 11月6日(日) ③10:30～ギャラリートーク ④13:00～実演 ⑤14:30～サイン会
  - イ 参加者:①48名 ②20名 ③74名 ④49名 ⑤26名

【講師 松原真紀】

ア 日 時：11月26日(土) ①14:00～ギャラリートーク ②15:00～サイン会  
11月27日(日) ③10:30～ギャラリートーク ④13:00～実演 ⑤14:30～サイン会  
イ 参加者：① 53名 ②16名 ③67名 ④32名 ⑤32名

● コンサート

- ・ 場 所：福岡県立美術館 2階ロビー
- ・ 参加費：無料(申込不要、人数制限あり)
- ① アクロス・ミュージアムコンサート in 県美  
ア 日 時：11月20日(日) 第1部：13:30～14:00、第2部：15:00～15:30  
イ 演 者：小山田杏、目野菜々子(ヴァイオリン)、太田帆南(ピアノ)  
ウ 参加者：第1部：93名、第2部：71名
- ② ピアノソロコンサート  
ア 日 時：12月10日(土) 第1部：13:30～14:00、第2部：15:00～15:30  
イ 演 者：伊丹晶子(ピアノ)  
ウ 参加者：第1部：51名、第2部：54名

● 絵本読み聞かせ会

ア 日 時：①11月12日(土) ②12月3日(土) 13:30～14:00  
イ 場 所：福岡県立美術館 2階ロビー  
ウ 出 演：吹上恵美(福岡県立図書館司書)  
エ 参加費：無料(申込不要、人数制限あり)  
オ 参加者：①15名 ②15名

● 地図を使った切り絵・塗り絵ワークショップ

ゼンリンの地図をもとにした福岡の切り絵・塗り絵が楽しめるワークショップ  
ア 実施運営：株式会社ゼンリン地図工房福岡  
イ 日 時：毎週土曜日(ただし10月29日、12月17日は除く)  
1日3回 ①11:00～12:00、②13:00～14:00、③14:10～15:10  
ウ 場 所：福岡県立美術館 3階4号展示室  
エ 参加費：無料 ※要事前申込(定員：1回10名)  
オ 参加者：計154名

● その他

- ① ビデオコーナー  
展示作家による切り絵作業風景を上映  
場 所：福岡県立美術館 3階4号展示室
- ② フォトスポット  
切り絵の作品で装飾したフォトスポットを設置  
場 所：福岡県立美術館 3階展示室入口、4号展示室前
- ③ 来場者クリスマスプレゼント  
12月24日・12月25日に入場された先着150名様のうち抽選で35名様に本展覧会オリジナルグッズなどをプレゼント

◆ 主要広報実績

- ・ 高山百合「かみわざ 無限の独創性 日本の切り絵7人のミューズ」『毎日新聞』2022年10月28日
- ・ 上村里花「概念広がる世界 「日本の切り絵7人のミューズ」展」『毎日新聞』2022年11月5日
- ・ 蒼山日菜、Souma、筑紫ゆうな、切り絵 Masayo、松原真紀、柳沢京子(いずれも本展出品作家)「日本の切り絵7人のミューズ 私の「一品」 作品紹介①～⑦」『毎日新聞』2022年11月25日～12月1日
- ・ NHK福岡「はっけんTV」2022年11月15日
- ・ TNCテレビ西日本「CUBE」2022年11月26日(中継)
- ・ LOVE FM「music serendipity」2022年12月17日

「日本の切り絵 7人のミューズ展」

作品リスト

作品名	額サイズ(縦・横)	制作年
蒼山日菜 Hina Aoyama Olympic1	40×59	2021
Olympic2	40×59	2021
Sea Star 1	40×59	2021
Sea Star	40×59	2021
トーチ Tokyo 2020 Olympic	34×34	2021
Voltaire	49×49	2009
花筏	50×40	2012
夢	50×40	2012
アメリカンドリーム	38×38	2017
ウィンターフェアリ	24×16	2015
薔薇の妖精	20×20	2018
Constellation(星座)	90×60	2021
De ville(街)	90×60	2021
Speed Master(宇宙)	90×60	2021
Sea Master(海)	90×60	2021

SouMa ダイヤモンド	32×26	2021
四季～トランプ	45×54	2017
祇園祭	74.5×69	2017
秋を挿す	38×31	2017
Robin	65×60	2017
薄暮・田ノ浦の情景	83×85	2018
鼓動	121×105	2019
枝垂れ五花	18×18×30	2021
湧き起こるNo.4	32×41	2019
スマイル オバケ	34×25	2018
さかさま オバケ	34×25	2018
おしゃべり オバケ	34×25	2018
藪椿	63×33.5	2018
葉と語りて	17×17	2021
樹齢640年	79×67	2017

筑紫ゆうな Yuna Chikushi 無題	82×37	2016
無題	82×37	2013
無題	82×37	2012
無題	82×37	2019
無題	37×80	2019
無題	82×37	2019
無題	82×37	2019
無題	105×73	2019
無題	82×37	2021
無題	82×37	2019
無題	83×40	2019
無題	68×52	2021
無題	78×35	2019
無題	82×39	2021
無題	72×57	2021

福井利佐 Fukui Risa LIFE-SIZED 「surprise(驚き)」	130×100	2013
LIFE-SIZED 「gram(グラム)」	130×100	2013
幽玄美of能 「秘すれば花」	48.5×41	2005
幽玄美of能 「変身」	48.5×41	2005
幽玄美of能 「化身」	48.5×41	2005
「S博士」水道橋博士著	77.5×73	2012
「荒御魂(あらみたま)」	56.5×44.5	2013
「面(おもて)に松」	45.5×33	2019
クロメンガタズメ 成虫	32×44	2019
ヒトスジシマカ	44×56	2020
Formative experience	55×47.5	2018
「菊III」(EL光源)	30.5×25.5	2016
「菊IV」(EL光源)	31.5×26.5	2016
「菊V」(EL光源)	27.5×22	2017
「菊VI」(EL光源)	34×28	2017

作品名	額サイズ(縦・横)	制作年
切り剣 Masayo 海蛸子	82×62.5	2018
幽玄(クラゲ)	52.5×41	2016
リュウグウノツカイ	52×40.5	2017
ザトウクジラ	59×46	2016
ノーテラス	51×38.5	2018
オウムガイ(稚貝)	31×41	2016
残夢	58×76	2020
深海魚	41×53	2014
車海老	40×31	2019
昂然(孔雀)	98×74	2019
鳥の女王(ヒクイドリ)	55×41	2018
シワコブサイチョウ	51×38.5	2018
福龍	55×41	2021
ジャクソンカメレオン	41×55	2018
循環する森	46.5×39	2019

松原真紀 Maki Matsubara 世界	132×91	2021
team BLUE	66×84	2019
花園の緋	73×55	2019
本望	80×65	2019
Take your marks	29×104	2019
コハクツノゼミ	48.5×50	2019
守護者	70.5×70.5	2019
team RED	65×55	2021
満員御礼	56×44	2020
メイさんの日	45.5×57.5	2020
嗚呼!レディハリケーン	95×38×20	2020
蜜のあはれ	54×15	2021
願い	75×56.5	2021
Guardian(鍾軌神)	65.4×52.4	2021
シン・アマビエ AMABIE	57.5×46	2021

柳沢京子 Kyoko YANAGISAWA 抒情するホテル	90×108	1992
勢い響く羽音	72.5×74.5	1997
のふとまる猿	71×76	1989
湯けむり龍	95×82.5	2015
浅間を駆ける	76.5×102	2005
奈良井の雨	91.5×61.5	1977
春よ来い、道祖神。	93×78.5	2013
満月だよ	73.5×107	2016
上を向いて歩こう	58×58	2013
見上げてごらん夜の星を	58×58	2013
舞い降りる幸せ	99×88	2007
秋	89.5×70	2017
キュー、して。	74×74	2021
2歳の掌	63×63	2018
母の掌	63×63	2018

令和4年度福岡県立美術館所蔵品巡回展

梅香る八女は美術も華ざかり！

- ◆主 催：令和4年度福岡県立美術館所蔵品巡回展「移動美術館展」実行委員会  
(八女市、八女市教育委員会、福岡県立美術館)
- ◆共 催：公益財団法人福岡県教育文化奨学財団
- ◆後 援：八女市文化連盟連合会、久留米市教育委員会、筑後市教育委員会、広川町教育委員会、朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社
- ◆会 期：令和5年2月4日(土)～2月26日(日) 20日間
- ◆会 場：八女市田崎廣助美術館
- ◆観覧料：一般 大人210円(170円)  
\* ( )内は20名以上の団体割引料金  
\* 高校生以下、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその介助者は無料
- ◆入場者数：2,016人
- ◆展覧会概要：

平成7年度に開館10周年を記念し、所蔵品巡回展「移動美術館展」を開催して以降、県立美術館が長年収集してきた美術作品の中から福岡県にゆかりの深い近現代の洋画、日本画、工芸、彫刻の作品を県下各地で紹介してきた。平成18年度からは、趣旨を新たに「ファーストステップとしての美術館」と設定し、従来の名品紹介に加え、子どもたちにも親しみやすい展覧会づくりを実現してきた。

令和4年度に八女市で開催した移動美術館展では、これまでの趣旨を継承しつつ、市域の住民層を勘案し、年配の方にも楽しめるよう解説を増やし、ワークシートを作成した。展示では、八女市の位置する「筑後地域」、観梅会にちなんだ「梅」、館名にある洋画家・田崎廣助が愛した「山」をテーマに当館コレクション39点を紹介。また、福岡県と八女市から借用した田崎廣助の作品3点も展示した。

会期中の土日祝日に「夢たちばな観梅会」が開催され、その日は100人近くの来場者があった。また、近年開催を控えていたギャラリートークとワークショップを開催したが、各回大変盛況であった。学校団体もキャンセルなく迎えることができ、ここ数年の中でもかなり多くの入場者数となった。学校の子供たちをはじめ、幅広い年齢層が来場し、地元の作家の本物の作品を間近で見る体験を楽しんでいたようだ。今後の八女市田崎廣助美術館、そして福岡県立美術館への来館につながるような経験になったことと思う。

◆関連事業

(1) 開会式・ギャラリートーク

日時：2月4日(土) 13:30～

ギャラリートーク 参加者28名

講師：中島由実子(福岡県立美術館学芸員)

(2) ギャラリートーク

日時：2月17日(土) 14:00～ 参加者 30名

講師：中島由実子(福岡県立美術館学芸員)

(3) ワークショップ

「ろうそくの賜(おく)りもの」

日時：2月11日(土) 13:00～15:00

講師：牛島智子(作家、八女市在住)

参加者：18名

(4) [八女市小学校・義務教育学校教員対象]

「移動美術館展」を活用した鑑賞教育入門講座

日時：2月7日(水) 15:30～16:50

参加者：16名(事前登録17名、キャンセル1名)

講師：森北さわこ(福岡県立美術館指導主事)、中島由実子(福岡県立美術館学芸員)

◆記事・報道等

・『西日本新聞』2023年2月19日、朝刊

他 新聞1社2件、広報誌掲載、FM八女での広告。

# 令和4年度福岡県立美術館所蔵品巡回展 移動美術館展 「梅香る八女は美術も華ざかり！」 展示作品リスト

会場:八女市田崎廣助美術館 八女市立花町原島108-1 TEL 0943-24-8304

会期:2023年2月4日(土)~2月26日(日) 月曜休館 9:00~17:00(16:30最終入場)

- \* 所蔵表記のない作品は、福岡県立美術館の所蔵作品です。
- \* リストの番号は、展示順とは異なる箇所があります。ご了承ください。

作家	作品名	制作年	素材・技法	所蔵
<b>第1章 筑後の美術—東洋のバルビゾン・八女</b>				
1 青木 繁	わだつみのいるこの宮(下絵)	明治40年(1907)	油彩・板	
2 坂本繁二郎	放牧場	昭和42年(1967)	油彩・画布	
3 古賀春江	窓	昭和2年(1927)	油彩・画布	
4 高島野十郎	からすうり	昭和10年(1935)	油彩・画布	
5 高島野十郎	筑後川遠望	昭和24年(1949)頃	油彩・板	
6 松田諦晶	櫓紅葉(音羽護国寺)	大正3年(1914)	油彩・画布	
7 大内田茂士	椿咲く	昭和53年(1978)	油彩・画布	
8 藤田吉香	百花(2)	平成7年(1995)	油彩・画布	
9 松本英一郎	さくら・うし	平成2年(1990)	油彩・画布	
10 井上三綱	駆ける	昭和34年(1959)	水彩(混合技法)・紙	
11 豊福知徳	継続	昭和48年(1973)	ブロンズ	
<b>第2章 はな咲きほこる作品たち—日本の花・梅</b>				
12 岡田三郎助	婦人像	明治42年(1909)	油彩・画布	
13 高島野十郎	けし	昭和41年(1966)以降	油彩・画布	
14 高島野十郎	秋の野	昭和20~23年(1945~48)頃	油彩・板	
15 大内田茂士	梅林	制作年未詳	油彩・画布	
16 庫田 毅	梅園	昭和60年(1985)頃	油彩・画布	
17 田崎廣助	朝顔	昭和4年(1929)	油彩・画布	
18 足達 襄	イタリア壺のポピー	平成10年(1998)	油彩・画布	
19 児島善三郎	静物	昭和24年(1949)	油彩・画布	
20 鹿児島寿蔵	紙塑人形「鹿島の宮の春の宴」	昭和51年(1976)	紙塑、自染和紙	
21 箆島鑛一	乾漆食籠「梅花」	制作年未詳	乾漆	
22 鹿児島寿蔵	紙塑香合 梅花文	昭和42年(1967)頃	紙塑、自染和紙	
23 鍋島	染付梅文皿	江戸末期	磁器	
24 八代	象嵌梅鉢唇手文瓶	江戸後期(19世紀前半)	陶器	
25 阿部金剛	Rien No.1	昭和4年(1929)	油彩・画布	
26 宇治山哲平	阿吽	昭和59年(1984)頃	油彩・画布	
27 小田部泰久	どっこいしょ	昭和46年(1971)	ブロンズ	
28 山口長男	地形	昭和35年(1960)	油彩・板	



### 第3章 山と画家—阿蘇山と田崎廣助

29	田崎廣助	阿蘇山	昭和51年(1976)	油彩・画布	八女市所蔵
30	田崎廣助	朝焼けの櫻島風景	制作年未詳	油彩・画布	八女市所蔵
31	中村琢二	仙丈岳を望む	昭和50年(1975)	油彩・画布	
32	吉田 博	穂高の春	大正4年(1915)	油彩・画布	
33	藤島武二	山中湖畔の朝	大正5年(1916)	油彩・画布	
34	田崎廣助	阿蘇山	制作年未詳	油彩・画布	
35	田崎廣助	山(宝満山)	昭和55年(1980)	油彩・画布	福岡県所蔵
36	山村秀一	由布連山	昭和57年(1982)	水彩・紙	
37	高島野十郎	八ヶ岳への道	昭和23年(1948)以降	油彩・板	
38	野見山暁治	遠ざかった景色	昭和56年(1981)	油彩・画布	
39	星野	夕日釉菊花形皿	江戸後期	陶器	
40	星野	三耳付葉茶壺	江戸後期	陶器	
41	豊福知徳	レリーフ	平成7年(1995)	陶	
42	豊福知徳	レリーフ	平成8年(1996)	陶	

# 貸館事業

県内の美術家や美術団体などに、作品発表の場として、展示室（1～4）、彫刻展示室、視聴覚室の使用を許可。詳細は令和4年度展示施設（貸館等）使用状況及び令和4年度展示施設使用者一覧のとおり。

◆受付期間： 4月末まで ……その年度の後半（10月～翌年3月 ※令和4年度後半は翌年2月まで）  
10月末まで ……次の年度の前半（翌年4月～9月 ※令和5年度前半は翌年6月～）

◆使用料：（展示開始の日から展示終了の日まで1日につき）

展示室	面積	無料展	有料展
展示室1	298㎡	7,310円	11,030円
展示室2	198㎡	4,960円	7,440円
展示室3	189㎡	4,710円	7,060円
展示室4	131㎡	3,090円	4,710円
彫刻展示室	147㎡	3,710円	5,580円
視聴覚室	8.7㎡（80席）	午前9時～12時 3,710円 午後1時～6時 6,200円	

※貸館は原則として1週間単位。（6日間）

## ◆利用方法

### ○申込み

所定の様式にて、普及課へ申請。

### ○貸館の決定

4月までの申込分は5月中・下旬に、10月までの申込分は11月中・下旬に通知。

### ○使用料納付

展示室等利用の2週間前までに納付書を送付。納期限までに納入。

### ○展示作業

- ・使用許可証に記載してある時間帯で実施。（9時～17時）
- ・係員の指示に従い展示。

### ○展示期間中

- ・受付の配置。（9時50分から18時まで）
- ・10時に開室し18時に閉室。
- ・花輪・生花等の飾りは原則として認めない。
- ・日毎の入場者数を記録、問題点は普及課へ連絡。
- ・主催者控室を利用の場合は、監視室にて鍵の受け渡しを行う。

### ○撤去作業

- ・使用許可証に記載してある時間帯で実施。（18時～20時）
- ・展覧会開始日の3週間前までに「搬出撤去に係る閉室時間繰り上げ申請書」を提出することにより、通常18時の搬出撤去日の閉室時間を15時まで繰り上げ可能。
- ・係員の指示に従い撤去。使用した用具を返却。
- ・終了時、係員の点検を受けた後、報告書を提出。

◆展示室の使用許可基準（令和3年11月25日〔許可の条件〕一部改訂）

〔許可の条件〕

- (1) 使用料は別途発行する納入通知により展示室等使用前に納入すること。
- (2) 搬入・展示・搬出の際は、使用許可証に記載している時間を遵守すること。
- (3) 搬出撤去作業は20時までには終了すること（時間厳守）。なお、展覧会開始日の3週間前までに「搬出撤去に係る閉室時間繰り上げ申請書」を提出することにより、通常18時の搬出撤去日の閉室時間を15時まで繰り上げることができること。この場合、他の来館者の迷惑とならないよう館職員の指示に従い、搬出撤去作業には万全の注意を払うこと。
- (4) 閉室時間を繰り上げる場合の周知、説明は主催者の責により行うこととし、繰り上げに伴う使用料の返金は行わないこと。
- (5) 使用者が、その責に帰す理由により使用物件、そのほか財産の全部または一部を滅失または損傷したときは、損害を賠償するものとする。ただし、現状に回復した場合はこの限りではない。
- (6) 出陳作品の保管、監視等管理上の責は使用者が負うものとする。
- (7) 上記（1）～（6）を遵守できない場合若しくはその他展示室の使用に際して当館職員の指示に従わない場合は、その後の展示室使用については認めず、その場合、（1）の使用料は返金しないこと。

◆新型コロナウイルス感染症拡大防止対策（※令和5年3月13日以降のマスク着用の取扱い等について一部改訂）

令和4年度においても感染症拡大防止対策を実施の上、運営。対策の継続、強化、緩和については、国や県の方針に基づき、適宜見直し。

○来館者について

- ・発熱や風邪の症状（せき・のどの痛みなど）がある方や体調がすぐれない方の入館のご遠慮
- ・入館前のサーモカメラによる検温、及び氏名・連絡先の記入のご協力
- ・館内施設の消毒液による手指の消毒
- ・館内又は入館の待機時における他のお客様との距離（密が発生しない程度の間隔）
- ・展示室内での会話や長時間滞在の御遠慮
- ・作品、展示ケース、壁をさわらないことへの御協力
- ・混雑をさげるための入場制限に対するご理解と御協力

○展示室利用者について

- ・展示室の出入り口の限定
- ・展示室への入場の制限  
展示室内で密を発生させないための来場者同士の十分な間隔の確保  
（適切な間隔が確保できない場合は、当該者への声掛けや入場者数を制限するなどの対応）
- ・展示室内でのイベント等（表彰式・ギャラリートーク・物品販売等）を行う場合は事前に相談
- ・密集を避ける展示配置の工夫



\*【スタッフ証】

貸館関係者の感染防止を実施していることの証明証

○視聴覚室利用者について

利用時の新型コロナウイルス感染症の感染状況をふまえ、利用人数、内容等によっては利用の制限もしくは利用を断る場合あり。

令和4年度展示施設(貸館等)使用状況

利用団体等	延べ開催日数(日)	入場者数(名)
入場有料の場合(有料展) 2団体	9	2,687
入場無料の場合(無料展) 42団体	244	43,705
計 44団体	253	46,392

令和4年度展示施設使用者一覧

No	展覧会名称	主催者	期間	展示室	内容	入場料	入場者数
1	桃朋書作品展-軌跡20年のあゆみ-	日本習字支部長会	(3/29-3/31) 4/1-4/3	彫	書	無料	209
2	第2回佐賀景勝紀行展	吉川幸作	(3/29-3/31) 4/1-4/3	1	油彩、アクリル	無料	83
3	第43回九州創光写真展・巡回展(福岡)	九州創光写真協会	(3/29-3/31) 4/1-4/3	2	写真	一般500円学生・障がい者・介助者は無料	88
4	自由課題たなけん展Vol.7	たなけん展メンバー	(3/29-3/31) 4/1-4/3	3	絵画、デザイン、立体物	無料	117
5	第38回読売女流書法展	読売新聞社	4/5-4/10	1~4, 彫	書	無料	1,617
6	あとリエ展	あとリエ	4/12-4/17	彫	油彩・水彩・パステル	無料	304
7	中川コレクション展II	中川三四郎	5/3-5/8	彫	油彩・水彩	無料	347
8	専門学校九州ビジュアルアーツ写真学科PhotoCollection2022	専門学校九州ビジュアルアーツ写真学科	5/17-5/22	彫	写真	無料	391
9	糸かけ数楽アート作品展	糸かけデザイン研究所九州地区グループ	5/24-5/29	彫	板に打ち付けた釘に糸をかけて表現するアート作品	無料	483
10	糸島美術工芸展 福岡展	糸島美術協会	5/31-6/5	彫	絵画	無料	543
11	チョークアートグループ展vol. 10	グラフィティ・ファクトリー チョークアートデザインズ	6/7-6/12	彫	黒板にチョークで描いたアート作品	無料	929
12	第96回国展福岡展	国画会	6/21-6/26	1~4, 彫	絵画、彫刻、工芸、写真	一般1000円・障がい者/学生/20歳以下は無料	2,599
13	第81回創元展福岡巡回展	創元会、西日本新聞社	6/28-7/3	1~4	油彩・水彩・彫刻	無料	1,162
14	第20回九州二紀展	九州二紀会	7/5-7/10	1~4	絵画、彫刻、工芸	無料	565
15	第28回土筆書道会中展	土筆書道会	7/5-7/10	彫	書	無料	403
16	第50回「日本の書展」九州展	公益社団法人 全国書美術振興会	7/12-7/18	1~4	書	無料	743
17	すぎもりえいとく展	A-forest project	7/12-7/18	彫	絵画、ライブペインティング	無料	459
18	第46回毎日女流書展	毎日新聞社、西部毎日書道会	7/20-7/24	1~4, 彫	書	無料	1,158
19	第22回ねんりんスポーツ・文化祭2022福岡県シニア美術展	福岡県、公益社団法人福岡県美術協会	10/12-10/16 10/18-10/23	1~4, 彫	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・デザイン	無料	4,944
20	MOA美術館福岡児童作品展	MOA美術館(公財)岡田茂吉美術文化財団	10/25-10/30	彫	絵画(水彩、パステル等)	無料	1,588
21	障がい者と健常者の文化交流イベント 移動美術Car開設記念絵画コンテスト	移動美術Car運営実行委員会	11/1-11/6	彫	絵画(水彩、パステル等)	無料	352

No	展覧会名称	主催者	期間	展示室	内容	入場料	入場者数
22	第19回姚明中国水墨画書道研究会展	姚明中国水墨画書道研究会	11/8-11/13	彫	水墨画	無料	606
23	第4回原遊会書作展	原遊書道会	11/15-11/20	彫	書	無料	413
24	第20回山善油彩個展 俺と仲間	OFFICE ROCKSTOCK	11/22-11/27	彫	油彩	無料	420
25	第23回ロータリー・ジュニア美術展	福岡中央ロータリークラブ	11/29-12/4	彫	絵画(水彩、パステル等)	無料	633
26	「工房は一べすと」アクリルペイント教室作品展	工房は一べすと	12/6-12/11	彫	アクリル(立体・平面)	無料	325
27	とも展ー海咲遺墨展ー	安島みさき遺墨展実行委員会	12/13-12/18	彫	書	無料	261
28	9人の作家によるR0展	Friends 2	12/20-12/25	彫	写真、鉛筆画、グラフィックデザイン、アクリル画、水彩画	無料	401
29	魚心堂第2回美術発表会	魚心堂	1/5-1/9	彫	書、絵画	無料	1,156
30	第69回福岡県小学校児童画展	福岡県小学校図画工作教育研究会	1/5-1/9	1~4	絵画(水彩、パステル等)	無料	4,552
31	第57回全九州新春書道展	福岡書道会	1/11-1/15	1,2	書	無料	806
32	福岡県高等学校芸術・文化連盟福岡地区写真展	福岡県高等学校芸術・文化連盟写真専門部	1/11-1/15	3,4	写真	無料	292
33	西日本写真協会福岡支部「フォト二水会」第26回作品展	西日本写真協会福岡支部「フォト二水会」	1/11-1/15	彫	写真	無料	449
34	木蓮の会作陶展ー20周年記念展ー	奈古窯	1/17-1/22	彫	工芸	無料	617
35	第37回福岡市中学校美術部合同作品展	福岡市中学校美術教育研究会	1/17-1/22	1,2	生徒作品(絵画、半立体)	無料	815
36	野口正幸絵画教室生徒作品展	野口正幸	1/17-1/22	3,4	油彩、水彩、アクリル、パステル	無料	352
37	福岡県立太宰府高等学校芸術科(美術・書道)第35回卒業制作展	福岡県立太宰府高等学校	1/24-1/29	1~4, 彫	油彩、日本画、デザイン、彫刻、工芸、書道	無料	2,509
38	九州産業大学付属九州高等学校造形芸術科第57期生卒業制作展・令和4年度授業作品展	九州産業大学付属九州高等学校 造形芸術科	1/31-2/5	1~4, 彫	油彩、日本画、デザイン、彫刻、陶芸、映像表現	無料	2,385
39	第32回福岡県中学校美術展	福岡県中学校美術教育研究会	2/7-2/12	1~4, 彫	絵画、デザイン、水彩、アクリルなど	無料	5,998
40	令和4年度福岡教育大学卒業制作展(美術)・赤間展	福岡教育大学	2/14-2/19	1	油彩画、日本画、木彫、平面・立体構成、金属工芸、美術教育研究	無料	477
41	福岡教育大学書道専攻第21期生卒業制作展	福岡教育大学	2/14-2/19	2,3	書	無料	450
42	令和4年度福岡教育大学書道専攻書作展	福岡教育大学	2/14-2/19	4, 彫	書	無料	716
43	くぼらだんだんアートの世界展2023	(株)久原本家グループ 本社 一般社団法人だんだんボックス	2/21-2/26	1,2	絵画(水彩、パステル、貼り絵等)	無料	513
44	第54回九州かな書道協会展	九州かな書道協会	2/21-2/26	3,4, 彫	書	無料	2,162
総 計							46,392

※令和4年度の展示室貸出期間は、令和4年4月1日～令和5年2月26日まで。(令和5年2月28日～6月4日まで臨時休館)

# 普及事業

## ◆美術館ニュース「とっぷらいと」の発行状況

号数 (発行月)	主な掲載記事
第122号 (R4.6)	<ul style="list-style-type: none"><li>・展覧会紹介「コレクション展Ⅱ 特集 高島野十郎の世界」</li><li>・コレクション通信「早川朝洋《みいくさと児》」 「大村清隆《愛児を抱く》」</li><li>・アートの質問「牛島智子」</li><li>・展覧会報告「豊福知徳寄贈記念展「光の探求」」</li><li>・スケジュール</li></ul>
第123号 (R4.9)	<ul style="list-style-type: none"><li>・展覧会紹介「郷土の美術をみる・しる・まなぶ2022 牛島智子 2重らせんはからまない」</li><li>・報告レポート「野十郎についてのQ&amp;A」</li><li>・コレクション通信「井上三綱《文字発生》」</li><li>・展覧会紹介「寄贈記念展 野見山暁治」</li><li>・スケジュール</li></ul>
第124号 (R4.12)	<ul style="list-style-type: none"><li>・展覧会紹介「寄贈記念展 野見山暁治」</li><li>・美術家列伝「田崎廣助」</li><li>・展覧会紹介「令和4年度福岡県立美術館所蔵品巡回展 移動美術館展」</li><li>・コラム「野見山さんの福岡」</li><li>・スケジュール</li></ul>

## ◆美術教養講座

### ・「寄贈記念展 野見山暁治」講演会

「野見山暁治の見たものは—当館コレクションを通して」

日時：令和5年1月14日(土) 14時～15時30分

講師：岡部るい（福岡県立美術館学芸員）

41名参加（要事前申込）

### ・「寄贈記念展 野見山暁治」講演会

「野見山暁治と福岡と」

日時：令和5年2月5日(日) 14時～15時30分

講師：西本匡伸（福岡県立美術館学芸課長）

62名参加（要事前申込）

◆ 「令和4年度スケジュール」の発行状況

1 掲載内容

- ・特別展、企画展の展覧会情報
- ・コレクション展の展覧会情報
- ・利用案内、交通案内等

2 発行部数

33,000部（日本語版26,000部、英語版7,000部）

3 主な送付先

全国美術館、全国博物館、県内大学、県内画廊、画材店、市町村教委、県立学校、教育庁各課、教育庁出先、アクロス福岡、その他文化センター、近郊ホテル等

◆ ホームページコンテンツについて (<https://fukuoka-kenbi.jp/>)

1 コンテンツの種類

- ・美術館について
- ・展覧会・イベント
- ・コレクション  
コレクションについて、所蔵品検索、どこでもケンビ、野十郎通信、所蔵品200選
- ・アクセス・施設案内  
アクセス（交通案内）、利用案内、施設貸出
- ・美術館からのお知らせ  
お知らせ、ケンビブログ、県展について、刊行物、  
県内のミュージアム、お問い合わせ
- ※『県内のミュージアム』では福岡県博物館協議会加盟館園を掲載  
（『地震、そのとき博物館はー福岡県西方沖地震における県内博物館の被災に関する  
報告書』のダウンロードによる紹介あり）

2 ホームページアクセス数

299,773件

## ◆スクール・ミュージアム事業（アートコース）

### 1 趣 旨

福岡県立美術館は、福岡県における美術活動の促進と県民の美術に関する知識と教養の向上に寄与する展覧会活動などを長年続けてきた。特に近年、地域社会における美術館の役割が注目され、それに伴い美術館と学校との連携もますます重要になってきている。図画工作科・美術科学習指導要領では、児童生徒や学校の実態に応じて地域の美術館などを利用したり、連携を図ったりするよう明示されており、美術館で行う鑑賞教育の積極的な実施が求められるようになってきている。

こうした現状を踏まえ、福岡県教育委員会が推進する学校支援事業の一環として、福岡県立美術館、福岡県青少年科学館、九州歴史資料館及び一般財団法人福岡県教職員互助会の四者で児童生徒の体験活動にかかる合同事業を行うことにより、情操教育、美術教育、科学教育、歴史教育の活性化及び地域文化の振興発展に寄与することを目的とし、スクール・ミュージアム事業を実施している。

福岡県立美術館で実施するスクール・ミュージアム事業（アートコース）では、児童生徒に美術館で本物の美術作品を直に鑑賞する機会を提供している。学芸員による展覧会の説明やワークシートを活用した鑑賞活動など様々なプログラムを通して、児童生徒の新たな見方や感じ方への気づきを導き、同時に文化施設利用のマナーについて自覚を高めることに貢献している。

2 主 催：福岡県立美術館、福岡県青少年科学館、九州歴史資料館、一般財団法人福岡県教職員互助会

3 実施期間：令和4年5月～令和5年2月

### 4 実施対象展覧会

- (1) コレクション展Ⅰ ケンピ・カワイイ・コレクション2022  
令和4年3月19日（土）～ 令和4年6月5日（日）
- (2) 杉浦非水 時代をひらくデザイン  
令和4年4月15日（金）～ 令和4年6月12日（日）
- (3) コレクション展Ⅱ 特集：高島野十郎の世界  
令和4年6月11日（土）～ 令和4年9月1日（木）
- (4) 第77回福岡県美術展覧会（県展）  
令和4年9月6日（火）～ 令和4年10月2日（日）
- (5) 郷土の美術をみる・しる・まなぶ2022 牛島智子 2重らせんはからまない  
令和4年10月15日（土）～ 令和4年12月4日（日）
- (6) 日本の切り絵 7人のミューズ  
令和4年10月28日（金）～ 令和4年12月25日（日）
- (7) 寄贈記念展 野見山暁治  
令和4年12月17日（土）～ 令和5年2月12日（日）

5 対 象 校：県内の公立小・中・義務教育学校・高等学校、中等教育学校、特別支援学校

### 6 補助対象経費（主催者負担）

- ・実施対象展覧会の観覧料（児童生徒及び引率教員分）
- ・往復バス借上料及び有料道路使用料（実費相当額）（ただし、バス借上料は上限額あり。）  
※往復の経路に体験活動を重視した他の社会教育施設等を含めることも可能
- ・学習プログラムの実施に係る材料費



## 7 実施校一覧

### 小学校

No.	学校名	学年	児童生徒数	引率数	実施日			館主催の展覧会	主な実施内容
					月	日	時間		
1	福岡市立名島小学校	全	36	7	5月20日	金	午前	コレクション展Ⅰケンビ・カワイイ・コレクション2022 杉浦非水 時代をひらくデザイン	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
2	久留米市立長門石小学校	5	74	4	5月27日	金	午前	コレクション展Ⅰケンビ・カワイイ・コレクション2022 杉浦非水 時代をひらくデザイン	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
3	小郡市立石小学校	4	24	2	6月3日	金	午前	コレクション展Ⅰケンビ・カワイイ・コレクション2022 杉浦非水 時代をひらくデザイン	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
4	久留米市立青峰小学校	5	16	2	6月28日	火	午後	コレクション展Ⅱ特集:高島野十郎の世界	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
5	久留米市立水縄小学校	6	29	2	6月29日	水	午前	コレクション展Ⅱ特集:高島野十郎の世界	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
6	うきは市立山春小学校	3	19	2	7月1日	金	午前	コレクション展Ⅱ特集:高島野十郎の世界	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
7	北九州市立高槻小学校	5.6	37	3	7月5日	火	午前	コレクション展Ⅱ特集:高島野十郎の世界	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
8	みやこ町立諫山小学校	5.6	13	3	9月14日	水	午前	第77回福岡県美術展覧会(県展)	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動、外部講師による説明
9	上毛町立友枝小学校	6	17	3	9月22日	木	午前	第77回福岡県美術展覧会(県展)	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動、外部講師による発表
10	大牟田市立玉川小学校	4~6	34	4	11月8日	火	午前	牛島智子 2重らせんはからまない 日本の切り絵 7人のミュージズ	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
11	うきは市立吉井小学校	4	31	4	11月15日	火	午前	牛島智子 2重らせんはからまない 日本の切り絵 7人のミュージズ	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
12	久留米市立竹野小学校	5	20	2	11月16日	水	午前	牛島智子 2重らせんはからまない 日本の切り絵 7人のミュージズ	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
13	福岡市立香坂東小学校	5	31	3	11月30日	水	午前	牛島智子 2重らせんはからまない 日本の切り絵 7人のミュージズ	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
14	久留米市立柴刈小学校	5・6	22	2	2月1日	水	午前	寄贈記念展 野見山峻治	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
			計	403	43				

### 中学校

No.	学校名	学年	児童生徒数	引率数	実施日			対象展覧会	主な実施内容
					月	日	時間		
15	北九州市立石峯中学校	2	48	6	5月13日	金	午前	コレクション展Ⅰケンビ・カワイイ・コレクション2022 杉浦非水 時代をひらくデザイン	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
16	水巻町立水巻中学校(美術部)	全	8	2	8月26日	金	午前	コレクション展Ⅱ特集:高島野十郎の世界	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
17	柳川市立柳南中学校	1	52	6	9月7日	水	午前	第77回福岡県美術展覧会(県展)	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動、外部講師による説明
18	飯塚市立穂波東中学校	1	89	8	12月6日	火	午前	日本の切り絵 7人のミュージズ	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
			計	197	22				

### 高等学校

No.	学校名	学年	児童生徒数	引率数	実施日			対象展覧会	主な実施内容
					月	日	時間		
19	福岡県立大川樟風高等学校(定時制)	全	22	8	11月4日	金	午前	牛島智子 2重らせんはからまない 日本の切り絵 7人のミュージズ	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
20	福岡県立浮羽工業高等学校(定時制)	全	35	8	11月18日	金	午後	牛島智子 2重らせんはからまない 日本の切り絵 7人のミュージズ	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
21	福岡県立福岡高等学校(定時制)	全	20	10	11月25日	金	午前	牛島智子 2重らせんはからまない 日本の切り絵 7人のミュージズ	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
			計	77	26				

### 特別支援学校

No.	学校名	学年	児童生徒数	引率数	実施日			対象展覧会	主な実施内容
					月	日	時間		
22	福岡県立福岡特別支援学校	小・中	19	20	11月1日	火	午前	牛島智子 2重らせんはからまない 日本の切り絵 7人のミュージズ	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
23	福岡県立太宰府特別支援学校	小3.4	7	10	11月11日	金	午前	牛島智子 2重らせんはからまない 日本の切り絵 7人のミュージズ	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
24	福岡県立福岡聴覚特別支援学校	中 1~3	19	10	12月20日	火	午前	日本の切り絵 7人のミュージズ 寄贈記念展 野見山峻治	講義(鑑賞マナー、展覧会の概要/鑑賞のワンポイント)、ワークシートを活用した鑑賞活動
			計	45	40				

参加校数(24校)	児童生徒数	引率数	総計
	722	131	853

# 収集事業

## ◆収集基本方針

### 1 美術品

福岡県出身作家及び本県ゆかりの作家の近世・近代・現代の作品を対象とする。

### 2 美術資料

ア 国内外の展覧会図録や大型画集を中心に美術図書を収集する。

イ 広く美術館情報収集に努める。

ウ 美術関係のビデオソフトの充実を図る。

エ ハイビジョンソフトの充実を図る。

## ◆収集美術品数

年度	種別	購入金額(税込)(円)	日本画	洋画	彫刻	工芸	その他	合計
平成11年度以前		1,049,792,500	86	131	26	82	2	327
			67	1,366	76	186	16	1711
平成12年度		0	10	17			2	29
平成13年度		0	1	36			1	38
平成14年度		0	5	18	3	25	65	116
平成15年度		0	2	82	2	6		92
平成16年度		0	6	12	2			20
平成17年度		0		21	1		1	23
平成18年度		0	2	17	2	2	1	24
平成19年度		0	2	5		1		8
平成20年度		0	2	36				38
平成21年度		0	2	18		1		21
平成22年度		0	5	15	7	7		34
平成23年度		0	2	23	5			30
平成24年度		0	1	2	1	1	3	8
平成25年度		0	31	14		10	5	60
平成26年度		0		4			1	5
平成27年度		0	3	31				34
平成28年度		0	2	29	1	5		37
平成29年度		0	7	13		25	36	81
平成30年度		70,350,000	1	25	1	6	13	46
令和元年度		0	2	203	56		4	265
令和2年度		81,000,000	4	60	3		67	134
令和3年度		0	6	15	3	4	4	32
令和4年度		20,130,000	2	14	1	9		11
合計		1,221,272,500	88	135	26	91	2	342
			171	2,076	164	281	219	2,911
			259	2,211	190	372	221	3,253

上段は購入件数、下段は寄贈件数(管理換を含む)

## ◆令和4年度新収蔵品（購入）一覧

no	作家名	作品名	制作年	材質 種別	数量	寸法
1	横尾芳月	茶々殿	昭和2年	絹本着色 日本画	1隻	220.0×237.0cm、令和4年度取得（基金）
2	吉村忠夫	麻須良乎	昭和12年	絹本着色 日本画	1隻	163.0×163.5cm、令和4年度取得（基金）
3	小川規三郎	共色献上博多織帯	平成19年	絹織物 工芸	1条	幅31.0cm、令和4年度取得（基金）
4	小川規三郎	博多織帯「竹林」	平成22年	絹織物 工芸	1条	幅31.0cm、令和4年度取得（基金）
5	小川規三郎	七献上博多織帯	平成25年	絹織物 工芸	1条	幅31.0cm、令和4年度取得（基金）
6	福島善三	中野月白瓷壺	令和3年	陶器 工芸	1口	径37.0、高25.0cm、令和4年度取得（基金）
7	福島善三	中野青瓷蝶鉢	令和4年	陶器 工芸	1口	径47.3×42.1、高18.7cm、令和4年度取得（基金）
8	中村信喬	陶彫彩色「星河」	令和3年	陶彫彩色 工芸	1軀	高42.0cm、令和4年度取得（基金）
9	中村信喬	陶彫彩色「聖使」	令和4年	陶彫彩色 工芸	1軀	高36.0cm、令和4年度取得（基金）
10	松枝哲哉	久留米絰着尺「光韻」	平成28年	藍染綿織物 工芸	1反	幅38.4cm、令和4年度取得（基金）
11	松枝哲哉	久留米絰着物「筑後路・ 花火シリーズII」	令和2年	藍染綿織物 工芸	1領	身丈163.0、衿71.5cm、令和4年度取得（基金）

## ◆令和4年度新収蔵品（寄贈）一覧

no	作家名	作品名	制作年	材質 種別	数量	寸法
1	梅崎雲嶺	東波泛舟図	昭和4年	紙本墨画淡彩 日本画	1幅	146.0×56.0cm
2	梅崎雲嶺	山水図	昭和5-14年	紙本墨画 日本画	1幅	135.0×68.0cm
3	梅崎雲嶺	萬仞靈峰図	昭和5-14年	紙本墨画 日本画	1幅	143.0×60.0cm
4	梅崎雲嶺	蓬萊朝陽図	昭和23年	絹本着色 日本画	1幅	181.0×91.0cm
5	梅崎雲嶺	達磨図	大正11年	紙本墨画淡彩 日本画	1幅	142.0×79.0cm
6	梅崎雲嶺	鐘馗図	大正9年-昭和4年	紙本墨画 日本画	1幅	131.0×59.0cm
7	早川朝洋	苗運び	昭和13年	木彫 彫刻	1軀	高105×58×66cm
8	富田溪仙	紙漉き	昭和26年	紙・鉛筆（素描） 洋画	1面	17.0×19.0cm
9	堂本印象	葡萄之図	大正9年	紙本着色 日本画	1面	31.5×34.5cm
10	堂本印象	観音	大正12年	絹本着色 日本画	1面	35.0×33.8cm
11	中村琢二	木曾の秋	制作年不詳	油彩・画布 洋画	1面	38.5×45.5cm
12	坂本繁二郎	馬	昭和17年	鉛筆・紙 洋画	1面	12.0×20.0cm
13	野見山暁治	失題	昭和49年	油彩・画布 洋画	1面	22.0×21.0cm
14	野見山暁治	[無題]	昭和36年	グワッシュ・紙 洋画	1面	40.4×31.5cm
15	野見山暁治	妹の像	昭和18年	油彩・画布 洋画	1面	114.0×80.5cm
16	野見山暁治	《群像（坑内）》のため のデッサン[1]	昭和27年頃	コンテ・紙 洋画	1面	69.8×54.5cm
17	野見山暁治	《群像（坑内）》のため のデッサン[2]	昭和27年頃	コンテ・紙 洋画 （裏面別デッサンあり）	1面	54.4×71.1cm
18	野見山暁治	《群像（坑内）》のため のデッサン[3]	昭和27年頃	コンテ・紙 洋画	1面	54.4×69.1cm

19	野見山暁治	《群像（坑内）》のための のデッサン[4]	昭和 27 年頃	コンテ・紙 洋画 (裏面別デッサンあり)	1 面	77.2×54.9cm
20	野見山暁治	《群像（坑内）》のための のデッサン[5]	昭和 27 年頃	コンテ・紙 洋画	1 面	77.2×54.5cm
21	野見山暁治	《群像（坑内）》のための のデッサン[6]	昭和 27 年頃	コンテ・紙 洋画	1 面	67.6×54.9cm
22	福島善三	赫釉四方鉢	令和 5 年	陶器 工芸	1 口	高 15.4、最大径 54.5cm
23	福島善三	赫釉鉢	令和 5 年	陶器 工芸	1 口	高 16.5、口径 41.0cm
24	中村琢二	少女	昭和 37 年	油彩・画布 洋画	1 面	116.0×81.0cm
25	中村琢二	婦人像	戦後期	油彩・画布 洋画	1 面	53.0×45.5cm

## ◆美術館資料整備状況

### 1 美術図書室収納図書資料数

大 分 類		総 冊 数 (R5. 3. 31現在)	令和4年度 受入冊数	内 訳	
				購 入	寄 贈
A	美 術 総 記	5,347	54	0	54
B	日 本 美 術	3,925	29	0	29
C	西 洋 美 術	2,124	4	0	4
D	東 洋 美 術	462	0	0	0
E	図 録	23,355	561	0	561
F	福 岡 資 料	2,070	22	0	22
G	関 係 諸 学	1,781	3	0	3
計		39,064	673	0	673

※雑誌 26タイトル 16,082冊

### 2 ビデオテープ数

大 分 類	本 数
A 当館企画展覧会	6
B 西 洋 美 術	46
C 現 代 美 術	6
D 東 洋 美 術	16
E 世界古代遺跡	25
F 日本美術 (平安時代)	27
G 日本美術 (中世～近世)	28
H 日本美術 (近代日本画・洋画等)	26
I 日本美術 (近代工芸)	63
J 技法・学習	30
K その他	16
計	289

注) ビデオブースは、当面の間使用中止

### 3 ハイビジョンソフト数

鑑賞ソフト	本数
「日本で見られる19世紀フランス美術」	(20タイトル)
「パリで見られる19世紀フランス美術」	(20タイトル)
「印象派展覧会」	(8タイトル)
「連作の魅力」	(12タイトル)
「都市の表情」	(4タイトル)
「パリで見られる19世紀フランス美術Ⅱ」	(10タイトル)
「人物画の名品」	(10タイトル)

### 4 複製絵画数

95点

### 5 利用者数等

図書室開室日数	267 人
図書室利用者数	2,764 人
レファレンス数	522 件

## 博物館実習

令和4年度博物館実習においては、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、例年取り組んでいた対面ワークショップの企画・運営を中心とした実習を中止し、学芸員の実務について学ぶことを中心とする実習を行った。

具体的には、福岡県立美術館の活動に関する座学に加え、作品の取り扱いや、会場看視、ギャラリートークなど、美術館の学芸員が実際に日常業務として行っている内容を中心とする実習を実施した。また、それぞれの関心のあるテーマに基づいた展覧会の企画を発表し、講評するという展覧会企画実習も行った。

令和4年度は6大学から10名の実習生を受け入れた。

### ・実習期間

令和4年8月1日(月)―令和4年8月29日(月)のうち7日

### ・実習内容

- 1) 福岡県立美術館についての座学
- 2) 工芸(着物、やきもの)、日本画の取り扱いと展示
- 3) 油彩画の取り扱いと展示(作品調査、作品調書作成、コンディションチェック等)
- 4) コレクション展「高島野十郎の世界」展を用いた活動
  - ・「高島野十郎の生涯と芸術」(座学)
  - ・「展覧会をつくること」(座学)
  - ・ギャラリートークの実習
  - ・会場看視実習
- 5) 展覧会企画実習
- 6) 図書室作業実習

大学名	人数
北九州市立大学	1名
九州産業大学	1名
佐賀大学	1名
筑紫女学園大学	1名
福岡大学	4名
八洲学園大学	2名
合計 6大学	10名

# 美術作品の貸出

貸出件数 8 件 貸出点数 82 点

No	分野	作家名	作品名	主催者	展覧会期(会場)	目的
1	油彩画等	伊東静雄 森三美 松本豊太 青木繁 坂本繁二郎 松田諲晶 高島野十郎	「溜」 「須佐能袁神社図」 「画室の二少女」 「筑後風景」 「放牧場」 「巴里の乞食」 「今宿海岸暮色」 「緑陰高良川女人群」 「春の海」 「筑後川遠望」 ほか 31 点 計 41 点	九州芸文館美術展実行委員会	令和 4 年 4 月 23 日～5 月 29 日 (九州芸文館教室工房 1・2)	「福岡県立美術館コレクション展 筑後の美術 川と大地の精神」展への出品のため。
2	油彩画等	坂本繁二郎 森三好	「柿」 「能面」 「放牧場」 「題不詳」(半期) 「月」(寄託) 「石膏像」(寄託)(半期) 「刈入れ」(寄託)(半期) 計 7 点	東京展：公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館 福岡展：久留米市美術館、西日本新聞社、テレビ西日本	令和 4 年 7 月 30 日～10 月 16 日 (アーティゾン美術館 6・5 階展示室)、令和 4 年 10 月 29 日～令和 5 年 1 月 22 日(久留米市美術館本館 2 階)	「生誕 140 年 ふたつの旅 青木繁×坂本繁二郎」展への出品のため。
3	日本画等	富田溪仙 吉田 博	「梅尾晚秋」 「かひこの森」 「雲井桜」(前期) 「雲表」(後期) 計 4 点	下関市立美術館、毎日新聞社、tys テレビ山口	令和 4 年 8 月 20 日～10 月 16 日 (下関市立美術館)	「特別展 山水画と風景画のあいだ—真景図の近代」展への出品のため。
4	資料		「大図」(尾目 4047) 「鳥類写生帖」(尾目 4356) 「獣類写生帖」(尾目 4357) 「鳥類写生帖」(尾目 4358) (いずれも尾形家絵画資料) 計 4 点	福岡市美術館、高山寺、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス、TVQ 九州放送、朝日新聞社	令和 4 年 9 月 3 日～10 月 16 日(福岡市美術館)	「国宝 鳥獣戯画と愛らしき日本の美術」展への出品のため。
5	油彩画	児島善三郎	「下板橋雪景」(寄託) 計 1 点	東京ステーションギャラリー【公益財団法人東日本鉄道文化財団】	令和 4 年 10 月 8 日～令和 5 年 1 月 9 日(東京ステーションギャラリー)	「鉄道と美術 150 年」展への出品のため。
6	工芸		「須恵《染付牡丹文蓋物》」 計 1 点	朝倉市秋月博物館	令和 4 年 10 月 22 日～12 月 11 日 (朝倉市秋月博物館)	「生誕二五〇年 秋月藩御用絵師 斎藤秋圃」展への出品のため。
7	水彩素描画	横尾龍彦	「七つの燈台」 計 1 点	福岡展：横尾龍彦展実行委員会(北九州市立美術館、読売新聞社) 神奈川展：神奈川県立近代美術館	令和 4 年 12 月 17 日～令和 5 年 1 月 22 日(北九州市立美術館本館)、令和 5 年 2 月 4 日～4 月 9 日(神奈川県立近代美術館葉山)	「横尾龍彦 瞑想の彼方」展への出品のため。
8	資料	小方守房 小方仲由 小方守義 小方仁兵衛 小方守義 野中亀之助 作者不詳 小方守房 尾形喜六 小方守房 尾形洞谷	「聖賢図」(尾目 1811) 「靈昭女図」(尾目 1969) 「雑画卷」 「鐘馗図」(尾目 388) 「蓮に雁図」(尾目 3687) 「樹下美人図」(尾目 1944) 「黄帝図」(尾目 1946) 「黄帝図」(尾目 1947) 「蝦蟇仙人図」(尾目 423) 「笛吹地藏図」(尾目 82) 「三十六歌仙図」(尾目 1122) 「山水図」(尾目 2420) 「鷹捕撃兔図」(尾目 2826) 「達磨図」(尾目 1242) 「騎馬観音図」(尾目 65) 「鐘馗図」(尾目 461) 「唐人抱鶴図」(尾目 1846) 「羅漢図(那俱羅尊者)」(尾目 197) 「大江山絵巻【酒吞童子絵巻】(上・中・下巻)」(尾目 1095-1097) 「牧童騎牛図」(尾目 1986) 「笠原一春叟遺像」(尾目 735) 計 23 点	九州歴史資料館	令和 5 年 1 月 18 日～3 月 12 日 (九州歴史資料館第一展示室近世近代コーナー)	「尾形家三代—探幽に学んだ福岡藩御抱え絵師—」展への出品のため。

---

## どこでもケンビ（バーチャル美術館事業）

福岡県立美術館では、新型コロナウイルスと共存せざるを得ないこの時代、「新しい生活様式」への対応のため、地方創生臨時交付金によりバーチャル美術館等の制作に取り組み、令和3年3月29日に公開を開始した。

具体的には、当館ホームページのトップページ等をリニューアルして、よりわかりやすく情報をお知らせするとともに、新たに「どこでもケンビ」と題して、そこに「福岡県立バーチャル美術館」と「edukenbi（えでゅけんび）」という2つの魅力的なサイトを立ち上げ、自宅等にいながらも、当館の美術品をじっくり鑑賞し、また児童生徒の皆さんにも楽しく学習してもらえるような内容にした。

### ◆福岡県立バーチャル美術館

<https://virtualmuseum.fukuoka-kenbi.jp/>

「高島野十郎の世界」、「福岡県美のたからもの」、「福岡県立美術館紹介ムービー」の3つの柱で構成し、「孤高の画家」、「蠟燭の画家」として知られる高島野十郎（1890-1975）の作品を中心に、当館が所蔵する珠玉の作品を自宅等にいながら高精細画像で鑑賞することができ、そしていつかまた本物を観るために美術館を訪れたいくなるような内容を目指した。

令和4年度アクセス数 39,777件

### ◆edukenbi（えでゅけんび）

<https://edukenbi.fukuoka-kenbi.jp/>

「子どもたちのための美術と学びのウェブサイト」として、おうちにいながら、インタラクティブな地図を探索して福岡県立美術館の作品について学んだり、動画をみたり、アクティビティに挑戦したりできる内容にした。

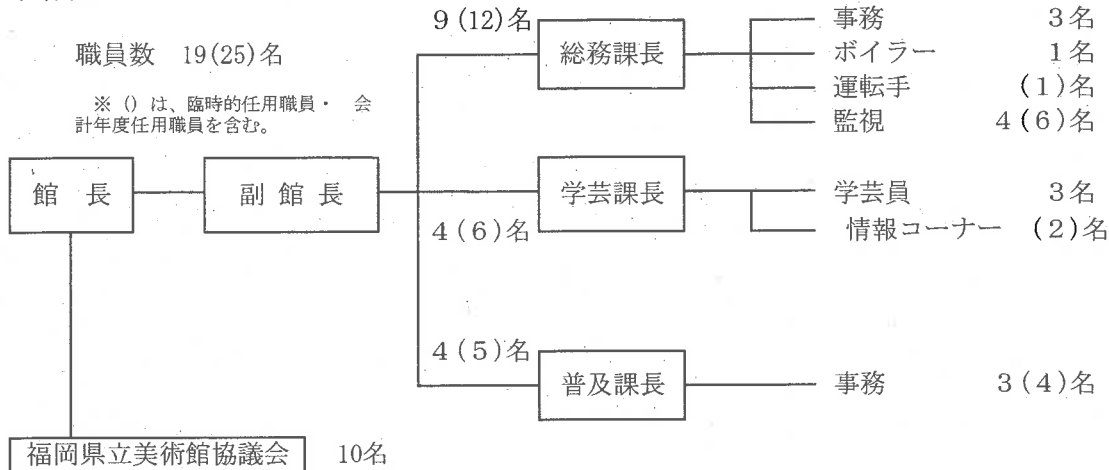
今後も作品紹介や動画を随時追加しながら、そのほかのインタラクティブなツールや学校の先生や保護者に役立つ資料・素材などを提供していく予定である。

令和4年度アクセス数 5,257件



# 組織図・名簿

## 組織図



## 令和4年度職員

館長	寺崎 雅巳	学芸課長	西本 匡伸
副館長	魚里 洋一	技術主査	高山 百合
総務課長	末吉 大祐	技術主査	岡部 るい
参事補佐		主任技師	中島 由実子
兼総務課副長	鈴木 理恵	図書室補助職員	長田 杉美
事務主査	原 遊	図書室補助職員	池田 千代美
主任主事	松本 達彦	普及課長	木下 幸恵
主任技能員	大東 正治	普及課副長	草野 聡子
主任技能員	山口 聡	指導主事	
主任技能員	野中 篤成	兼事務主査	森北 さわこ
主任技能員	松村 貴行	主事	白井 ちはや
技能員	井上 誠治	主事補	平田 薫
技能員	大東 誠幸		
技能員	山田 吉生		
技能員	豊福 康		

## 福岡県立美術館協議会委員

任期 自 令和3年9月7日  
至 令和5年9月6日

委員名	現職名
糸山 裕子	NPO法人 アートマネジメントセンター福岡代表理事
今林 久	福岡県議会議員
植野 健造	福岡大学人文学部教授
尾瀬 摂	行橋市立仲津中学校校長
小泉 恵英	九州国立博物館副館長
小田部 黄太	公益社団法人 福岡県美術協会理事長
土肥 恵美子	株式会社 福岡こどもクラブ代表取締役
中山 景子	久留米市市民文化部文化振興課課長補佐兼主査 学芸員
樋田 京子	元太宰府市教育委員会教育長
三島 美佐子	九州大学総合研究博物館教授

※名簿 50音順

## 福岡県立美術館協議会開催状況

日時 令和5年2月14日(火)

- 議事
- (1) 令和4年度実施の主要事業について
  - (2) 令和4年度福岡県立美術館の自己評価について
  - (3) 令和5年度実施予定の主要事業(案)について
  - (4) 令和5年度福岡県立美術館の自己評価(計画段階)について

## 主要各室概要

### 展示部門

	展示室	面積 (㎡)	使用料 (1日)		摘 要
			有料展	無料展	
1	彫刻展示室	147	5,580	3,710	天井高 5.38m 搬入口 W1.7×H2.6 (m)
3	展示室 1	298	11,030	7,310	天井高 3.25m 固定壁面 224m 壁面延長時306m (最大) (可動パネル使用) 展示室1 107m 展示室2 80m 展示室3 69m 展示室4 57m 可動パネル w1.66×H2.6×D0.95 (m)
	展示室 2	198	7,440	4,960	
	展示室 3	189	7,060	4,710	
	展示室 4	131	4,710	3,090	
	計	816			
4	常設展示室	441	観覧料 ( ) 内は団体料金 一般 210円 (170円) 高大生 140円 (110円) 小中生 60円 (50円)		天井高 3.3m 固定壁面 119m 固定ケース 6.7m×6
合 計		1,404			
4	ギャラリー		壁面 (傾斜角30°の展示台) 19m		

### 収蔵部門

階	室 名	面積 (㎡)	摘 要
収蔵庫 3～7	収 蔵 庫	245	49㎡ × 5室 搬出入エレベータ W2.49×H2.75×D2.63 (m) (扉幅2.0m)
本館3	大内田茂士 遺作収蔵庫	46	
合 計		291	

サービス部門

階	室名	面積 (㎡)	摘要
1	カフェテラス	80	喫茶・軽食
2	ハイビジョン ギャラリー		10席 65インチ液晶テレビ 静止画再生装置
4	視聴覚室	87	80席 大型スクリーン 16mm映写機 スライド映写機、液晶プロジェクター 使用料 9:00~12:00 3,710円 13:00~18:00 6,200円
	美術図書室 情報コーナー	236	11席 開架式書架、自由閲覧方式 美術情報レファレンスカウンター コインロッカー(23)
	ビデオコーナー		4ブース(8席) 自動放映システム 番組自由選択

管理部門

階	室名
1	監視室、印刷燻蒸室、ボイラー管理室、機械室、シャワー室、職員休憩室 総合案内控室、美術団体交流室
2	館長室、副館長室、事務室(総務課・学芸課・普及課)、会議室
3	荷解室、倉庫
4	情報コーナー事務室、視聴覚編集室、視聴覚操作室、撮影室

ロビー・その他

階	室名	摘要
1	総合案内	
	エントランスホール	コインロッカー、ロビーチェア、車椅子、ベビーカー
2	ロビー	丸テーブル、ロビーチェア
	授乳室	ベンチ
3	主催者控室	
	エントランスホール	コインロッカー
	休憩コーナー	ロビーチェア
4	エントランスホール	車椅子、ベビーカー

# 建築概要

- 1 名称 福岡県立美術館
  
- 2 管理  
設置者 福岡県  
管理者 福岡県立美術館  
主管課 福岡県教育庁教育振興部社会教育課
  
- 3 所在地 福岡市中央区天神5丁目2番1号  
(郵便番号 810-0001)
  
- 4 電話等 電話 092-715-3551  
FAX 092-715-3552
  
- 5 供用開始日 昭和60年(1985年)11月3日
  
- 6 建築  
工期 昭和59年7月6日(起工)~昭和60年7月31日(竣工)  
設計 ㈱佐藤企画(旧称:佐藤設計事務所)  
福岡県建築部営繕課  
施工 建築工事 ㈱龍建設・旭・広田建設共同企業体  
電気工事 東和・サン電工建設企業体  
設備工事 大橋・久栄共同企業体  
総工費 約14億円
  
- 7 土地  
面積 敷地 5,645.95 m<sup>2</sup>  
財産分類 借受  
所有者 福岡市  
現況地目 宅地  
借受目的 美術館用地  
借受期間 当初 昭和35年9月1日  
開始 昭和60年8月1日(貸借契約締結)  
終了 美術館の存する間  
借受料 なし
  
- 8 建物  
分類 行政財産  
構造 鉄筋コンクリート造地上4階建(本館部分)  
鉄骨鉄筋コンクリート造地上7階建(収蔵庫部分)  
価格 776,704,873円(平成29年3月31日現在)  
面積 敷地面積 5,645.95 m<sup>2</sup>  
建設面積 1,975.83 m<sup>2</sup>  
延床面積 6,929.08 m<sup>2</sup>

# 設備概要

## 1 電気設備

変圧器	単相 50KVA×1、単相 75KVA×2 三相 200KVA×1、三相 1,2相(スコット)30KVA×1 進相コンデンサー 50KVA×1、20KVA×4
直流電源装置	鉛蓄電池(シール形据置)150Ah-10HR
非常用発電機	ガスタービン 3φ-3W 220V 187.5KVA
電話設備	電子式 局線 5回線
放送設備	防災放送設備、BGM放送設備、インターホン設備
防災設備	自動火災報知、煙感知器連動制御、非常照明 非常放送、誘導灯
防犯設備	ITV監視装置 カメラ 17台(うち電動式 13台)
視聴覚設備	AVガイドシステム 3ブース 16ミリ映写機、スライド映写機 データビューアー ハイビジョン 65インチ液晶テレビ 設置型液晶プロジェクター 静止画再生装置 移動型液晶プロジェクター
照明設備	展示室 紫外線防止用自然白色蛍光灯 40W (調光付 80~450LUX)、白熱電球 60W 配線ダクト設備 収蔵庫 紫外線防止用自然白色蛍光灯 40W 視聴覚室 紫外線防止用自然白色蛍光灯 40W ロビー レフランプ 100W

## 2 機械設備

ボイラー	鋳鉄製セクショナルボイラー 631,000Kcal/h 1基
ターボ冷凍機	210USRT(635,000Kcal/h) 1基
空気調和器	6基(ファンコイルユニット併用)

3 給排水設備 受水槽(FRP製)16t、高架水槽(FRP製)4.5t

4 昇降機設備 乗用(身障者用)油圧式 750Kg 1基、乗用 2,200Kg 1基  
荷物用 油圧式 1,600Kg 1基

5 燻蒸設備 エチレンオキサイドガス滅菌装置 W700×H900×D1,800(mm)

6 加湿設備 電気蒸発式加湿器 蒸気発生量 15 kg/H

# 年度別入館者状況

区分	年度	平成23年度 以 前	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 1	令和 2	令和 3	令和 4	累 計	
	展 覧 会 ①	常設展	230,732	8,488	2,997	6,114	13,395	10,784	15,311	9,085	7,626	7,551	7,170	319,253
	企画展	221,333	4,458	4,347	8,441	6,182	6,574	9,258	8,043	1,737	2,627	7,298	280,298	
	共 催 展	県展	335,589	9,933	9,512	9,843	9,337	9,805	8,893	8,990	0	7,028	7,200	416,130
		実行委 員会展	1,246,202	33,552	8,685	41,475	76,495	77,411	63,781	52,842	12,010	18,167	21,053	1,651,673
	小計	1,581,791	43,485	18,197	51,318	85,832	87,216	72,674	61,832	12,010	25,195	28,253	2,067,803	
	貸館展	2,625,258	46,124	34,520	58,008	76,652	86,253	89,722	64,334	24,418	32,593	46,392	3,184,274	
	計	4,659,114	102,555	60,061	123,881	182,061	190,827	186,965	143,294	45,791	67,966	89,113	5,851,628	
展 覧 会 ②	移動美術館展	8,912	1,171	2,108	1,079	1,268	3,527	1,246	1,871	1,471	818	2,016	25,487	
	イベント等	20,449	3,499	1,773	4,309	7,084	6,545	4,604	3,576	379	687	2,028	54,933	
	計	29,361	4,670	3,881	5,388	8,352	10,072	5,850	5,447	1,850	1,505	4,044	80,420	
そ の 他	美術図書室	213,833	3,370	1,746	4,131	4,411	4,617	4,380	3,371	1,740	1,872	2,764	246,235	
	ビデオブース	151,755	1,197	405	1,464	1,167	974	1,380	882	0	0	0	159,224	
	ハイビジョン	191,582	8,828	3,042	6,714	15,078	4,914	6,216	5,010	5,139	2,922	3,810	253,255	
	カフェテラス	(未集計)		10,760	20,685	29,910	27,482	28,545	21,383	8,035	7,402	8,141	162,343	
	計	557,170	13,395	15,953	32,994	50,566	37,987	40,521	30,646	14,914	12,196	14,715	821,057	
合 計		5,245,645	120,620	79,895	162,263	240,979	238,886	233,336	179,387	62,555	81,667	107,872	6,753,105	

年間開館日数	—	230	175	268	304	304	305	277	258	269	269	—
--------	---	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	---

# 企画展の開催状況一覧

(過去10ヶ年)

年度	展覧会名	開催会期 (開催日数)	入場者数		
			総数	有料	無料
25	郷土の美術をみる・しる・まなぶ 特別編 江上茂雄 風ノ影、絵ノ奥ノ光	25.10.5～11.10(32日間)	4,458	2,208	2,250
	計		4,458	2,208	2,250
26	福岡県文化会館建設50年記念 とととと? きおく×キロク＝	26.10.4～11.24(45日間)	2,703	922	1,781
	古川吉重 1921-2008	27.2.7～3.15(32日間)	1,644	703	941
計		4,347	1,625	2,722	
27	紙、やどる形	27.10.10～11.23(40日間)	4,030	1,754	2,276
	型と花と 釜我敏子の型絵染	27.11.29～28.1.17(37日間)	4,411	1,658	2,753
計		8,441	3,412	5,029	
28	九大百年 美術をめぐる物語	28.10.8～11.13(32日間)	2,831	762	2,069
	郷土の美術をみる・しる・まなぶ 2017 写真家片山攝三 肖像写真の軌跡	29.2.4～3.20(39日間)	3,351	2,018	1,333
計		6,182	2,780	3,402	
29	郷土の美術をみる・しる・まなぶ 番外編 ARS/NATURA - 「風景」の向こう側 -	29.10.7～11.26(44日間)	2,982	1,633	1,349
	没後50年 中村研一展	30.2.3～3.11(32日間)	3,592	1,867	1,725
計		6,574	3,500	3,074	
30	郷土の美術をみる・しる・まなぶ2018 泰光コレクション寄贈記念展 鹿児島寿蔵の人形と短歌	30.10.6～11.25(44日間)	4,513	2,179	2,334
	平成30年度独立行政法人国立美術館巡回展 国立国際美術館コレクション:美術のみかた 自由自在	30.12.18～31.2.5(37日間)	4,745	2,773	1,972
計		9,258	4,952	4,306	
令和元	郷土の美術をみる・しる・まなぶ2019 新たな高島野十郎展	1.10.5～11.24(44日間)	7,001	3,971	3,030
	赤星孝と赤星信子展	2.2.1～3.8(32日間) →2.27で中止(23日間)	1,042	528	514
計		8,043	4,499	3,544	
2	1964-福岡県文化会館、誕生。	2.7.18～8.27(35日間) →次年度へ開催延期			
	郷土の美術をみる・しる・まなぶ2020 生きることから 柏崎栄助とデザイン	3.1.23～3.14(44日間)	1,737	855	882
計		1,737	855	882	
3	1964-福岡県文化会館、誕生。	2.7.23～9.2(36日間) →新型コロナウイルス感染症の感染 拡大防止のため8.5で中止(12日間)	311	169	142
	郷土の美術をみる・しる・まなぶ2021 豊福知徳寄贈記念展 光の探求	4.1.22～3.13(44日間)	2,316	1,242	1,074
計		2,627	1,411	1,216	
4	郷土の美術をみる・しる・まなぶ2022 牛島智子 2重らせんはからまない	4.10.15～12.4(44日間)	2,032	939	1,093
	寄贈記念展 野見山暁治	4.12.17～5.2.12(43日間)	5,266	2,802	2,464
計		7,298	3,741	3,557	

# 共催展(実行委員会方式)の開催状況一覧

(過去10か年)

年度	展覧会名	開催会期 (開催日数)	入場者数			共催等
			総数	有料	無料	
25	マリー・アントワネット物語展	25.4.27～25.6.23 (50日間)	33,552	27,511	6,041	RKB毎日放送 東映
	平成25年度 移動美術館 未来をデザインする美術館	26.1.7～26.2.9 (30日間)	1,171	192	979	田川市教育委員会 田川市美術館
	計		34,723	27,703	7,020	
26	草月流秘蔵コレクション展	26.11.8～26.12.23 (40日間)	8,685	4,628	4,057	毎日新聞社 RKB毎日放送
	平成26年度 移動美術館 福岡県立美術館名作60選 アートで結ぶ虹色ハイウェイ	26.9.4～26.9.28 (22日間)	2,108	351	1,757	行橋市 行橋市教育委員会
	計		10,793	4,979	5,814	
27	金子みすゞ・金澤翔子 ーひびきあう詩と書ー展	27.6.20～27.7.26 (32日間)	15,858	9,514	6,344	毎日新聞社 RKB毎日放送
	没後40年 高島野十郎展	27.12.4～28.1.31 (45日間)	25,617	18,447	7,170	西日本新聞社 TNCテレビ西日本
	平成27年度 移動美術館 たちあらい 伝説と祈りの里ミュージアム	28.2.14～28.2.28 (13日間)	1,079	185	894	大刀洗町 大刀洗町教育委員会
計		42,554	28,146	14,408		
28	色彩の奇跡 印象派展	28.4.16～28.6.5 (45日間)	47,858	35,404	12,454	TNCテレビ西日本 西日本新聞社
	ピアトリクス・ポター™生誕150周年 ピーターラビット™展	28.10.28～28.12.11 (39日間)	28,637	21,090	7,547	読売新聞社 RKB毎日放送 東映
	平成28年度 移動美術館 なかま 色とかたちのハーモニー	29.2.9～29.2.28 (18日間)	1,268	117	1,151	中間市 中間市教育委員会
計		77,763	56,611	21,152		
29	POWER OF PRINCESS 「ディズニープリンセスとアナと雪の女王 展」	29.4.14～29.6.11 (52日間)	57,009	46,015	10,994	電通 KBC九州朝日放送
	追悼水木しげる ゲゲゲの人生展	29.10.27～29.12.10 (39日間)	20,402	14,032	6,370	西日本新聞社 TVQ九州放送 朝日新聞社
	平成29年度 移動美術館 柏の森の美術館	29.11.2～29.12.4 (34日間)	3,527	402	3,125	飯塚市教育委員会
計		80,938	60,449	20,489		
30	息を呑む繊細美 切り絵アート展	30.4.20～30.6.3 (41日間)	33,361	24,216	9,145	毎日新聞社 RKB毎日放送
	印象派への旅 海運王の夢 パレルコレクション	30.10.12～30.12.9 (52日間)	30,420	20,202	10,218	毎日新聞社 FBS福岡放送
	平成30年度 移動美術館展 大きなクスの木の下で美術館展vol.10	31.2.2～31.2.24 (20日間)	1,246	238	1,008	宗像市教育委員会 宗像ユリックス
計		65,027	44,656	20,371		



年度	展覧会名	開催会期 (開催日数)	入場者数			共催等
			総数	有料	無料	
31 (1)	ウォルト・ディズニー・アーカイブス展	31.4.19～1.6.16 (52日間)	41,070	31,512	9,558	KBC九州朝日放送 電通
	大相撲展福岡	1.10.18～1.12.1 (41日間)	11,772	7,054	4,718	読売新聞社 RKB毎日放送 LOVE FM 東映
	令和元年度 移動美術館展 出会おう！ミリカでアート	2.1.10～2.2.6 (24日間)	1,871	222	1,649	那珂川市教育委員会 公益財団法人那珂川 市教育文化振興財団
	計		54,713	38,788	15,925	
2	ストラスブール美術館展 ～印象派からモダンアートへの眺望～	2.6.5～2.7.19 (39日間)		※開催中止		毎日新聞社 TNCテレビ西日本
	没後70年 吉田博展	2.10.16～2.12.13 (51日間)	12,010	9,378	2,632	毎日新聞社 RKB毎日放送
	令和2年度 移動美術館展 おおむたアートミュージアム	3.1.20～3.2.11 (21日間)	1,471	445	1,026	大牟田市 公益財団法人大牟田 市文化振興財団
	計		13,481	9,823	3,658	
3	ムーミンコミックス展	3.5.15～3.7.11 (50日間)	10,849	8,912	1,937	西日本新聞社 RKB毎日放送 東映
	近代日本絵画の名作展 —ひろしま美術館コレクション—	3.10.29～3.12.26 (51日間)	7,318	6,093	1,225	毎日新聞社 西日本新聞社
	令和3年度 移動美術館展 時を超えたアートステーション	4.1.18～4.2.13 (24日間)	818	505	313	桂川町教育委員会 公益財団法人 福岡県教育文化奨学財団
	計		18,985	15,510	3,475	
4	杉浦非水 時代をひらくデザイン	4.4.15～4.6.12 (52日間)	11,590	9,447	2,143	KBC九州朝日放送 西日本新聞社
	日本の切り絵 7人のミューズ	4.10.28～4.12.25 (51日間)	9,463	7,230	2,233	毎日新聞社 TNCプロジェクト TNCテレビ西日本
	令和4年度 移動美術館展 梅香る八女は美術も華ざかり!	5.2.4～4.2.26 (20日間)	2,016	916	1,100	八女市 八女市教育委員会 公益財団法人 福岡県教育文化奨学財団
	計		23,069	17,593	5,476	

※実行委員会方式による共催展は昭和62年度から実施。

# 福岡県美術展覧会(県展)の開催状況一覧

(過去10か年)

年 度	会 期	公 募		入 場 者 数		
		出品数(人数)	入選数(人数)	総 数	有 料	無 料
25	1期 9月3日～9月8日 書	3,477(2,889)	1,374(1,374)	9,933	4,099	5,834
69	2期 9月10日～9月16日 洋画					
回	3期 9月18日～9月23日 日本画 彫刻 デザイン					
	4期 9月25日～9月29日 工芸 写真					
26	1期 9月2日～9月7日 書	3,424(2,841)	1,371(1,369)	9,512	3,669	5,843
70	2期 9月9日～9月15日 洋画					
回	3期 9月17日～9月21日 日本画 彫刻 デザイン					
	4期 9月23日～9月28日 工芸 写真					
27	1期 9月8日～9月13日 書	3,435(2,848)	1,372(1,365)	9,843	3,789	6,054
71	2期 9月15日～9月20日 洋画					
回	3期 9月22日～9月27日 日本画 彫刻 デザイン					
	4期 9月29日～10月4日 工芸 写真					
28	1期 9月6日～9月11日 書	3,414(2,813)	1,368(1,360)	9,337	3,444	5,893
72	2期 9月13日～9月19日 洋画					
回	3期 9月21日～9月25日 日本画 彫刻 デザイン					
	4期 9月27日～10月2日 工芸 写真					
29	1期 9月5日～9月10日 書	3,235(2,667)	1,347(1,338)	9,805	4,049	5,756
73	2期 9月12日～9月18日 洋画					
回	3期 9月20日～9月24日 日本画 彫刻 デザイン					
	4期 9月26日～10月1日 工芸 写真					
30	1期 9月4日～9月9日 書	2,947(2,471)	1,338(1,320)	8,893	3,688	5,205
74	2期 9月11日～9月17日 洋画					
回	3期 9月19日～9月24日 日本画 彫刻 デザイン					
	4期 9月26日～9月30日 工芸 写真					
31	1期 9月3日～9月8日 書	2,822(2,346)	1,323(1,303)	8,990	3,562	5,428
(1)	2期 9月10日～9月16日 洋画					
75	3期 9月18日～9月23日 日本画 彫刻 デザイン					
回	4期 9月25日～9月29日 工芸 写真					
2	※開催中止					
76	※開催中止					
回	※開催中止					
3	1期 9月7日～9月12日 彫刻 写真	2,587(2,161)	1,313(1,292)	7,028	2,792	4,236
76	2期 9月14日～9月20日 日本画 工芸 デザイン					
回	3期 9月22日～9月26日 洋画					
	4期 9月28日～10月3日 書					
4	1期 9月6日～9月11日 彫刻 写真	2,501(2,094)	1,289(1,271)	7,200	2,850	4,350
77	2期 9月13日～9月19日 日本画 工芸 デザイン					
回	3期 9月21日～9月25日 洋画					
	4期 9月27日～10月2日 書					

# 県展巡回展の開催状況一覧

(過去10か年)

## ○第69回県展(平成25年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門・出 品 数
筑後展 10月7日～10月13日	大牟田文化会館	894人	日本画・洋画・書・写真 207点
宗像展 10月16日～10月27日	宗像ユリックス	840人	日本画・洋画・書・写真 180点
北九州展 10月29日～11月4日	北九州市立美術館	5,603人	全7部門 535点
筑豊展 11月6日～11月24日	嘉麻市立織田廣喜美術館	657人	日本画・洋画・写真・デザイン・書 244点

## ○第70回県展(平成26年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門・出 品 数
筑後展 10月6日～10月12日	大牟田文化会館	808人	日本画・洋画・書・写真 223点
宗像展 10月15日～10月26日	宗像ユリックス	835人	日本画・洋画・書・写真 183点
筑豊展 10月28日～11月16日	嘉麻市立織田廣喜美術館	740人	日本画・洋画・写真・デザイン・書 250点
北九州展 11月18日～11月24日	北九州市立美術館	4,275人	全7部門 576点

## ○第71回県展(平成27年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門・出 品 数
宗像展 10月14日～10月23日	宗像ユリックス	644人	日本画・洋画・書・写真 183点
筑後展 11月8日～11月14日	大牟田文化会館	714人	日本画・洋画・書・写真 206点
筑豊展 11月17日～12月6日	嘉麻市立織田廣喜美術館	987人	日本画・洋画・写真・デザイン・書 253点

## ○第72回県展(平成28年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門・出 品 数
筑後展 10月10日～10月16日	大牟田文化会館	788人	日本画・洋画・書・写真 214点
筑豊展 11月1日～11月20日	嘉麻市立織田廣喜美術館	786人	日本画・洋画・書・写真・デザイン 242点
宗像展 11月22日～12月4日	宗像ユリックス	820人	日本画・洋画・書・写真 177点

## ○第73回県展(平成29年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門・出 品 数
筑後展 10月9日～10月15日	大牟田文化会館	905人	日本画・洋画・書・写真 211点
筑豊展 10月31日～11月19日	嘉麻市立織田廣喜美術館	874人	日本画・洋画・書・写真・デザイン 242点
宗像展 11月21日～12月2日	宗像ユリックス	669人	日本画・洋画・書・写真 180点

## ○第74回県展(平成30年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門・出 品 数
筑後展 10月8日～10月14日	大牟田文化会館	715人	日本画・洋画・書・写真 214点
宗像展 10月16日～10月28日	宗像ユリックス	651人	日本画・洋画・書・写真 174点
筑豊展 10月30日～11月18日	嘉麻市立織田廣喜美術館	961人	日本画・洋画・書・写真・デザイン 238点
北九州展 11月20日～11月25日	北九州市立美術館	2,098人	全7部門 550点

## ○第75回県展(2019年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門・出 品 数
筑後展 10月7日～10月13日	大牟田文化会館	560人	日本画・洋画・書・写真 203点
宗像展 10月16日～10月25日	宗像ユリックス	478人	日本画・洋画・書・写真 172点
筑豊展 10月29日～11月17日	嘉麻市立織田廣喜美術館	746人	日本画・洋画・書・写真・デザイン 263点
北九州展 11月19日～11月24日	北九州市立美術館	2,193人	全7部門 557点

## ○第76回県展(令和2年度)

※開催中止

## ○第76回県展(令和3年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門・出 品 数
筑後展 10月12日～10月17日	大牟田文化会館	533人	日本画・洋画・書・写真 213点
筑豊展 10月20日～11月7日	嘉麻市立織田廣喜美術館	747人	日本画・洋画・書・写真・デザイン 269点
宗像展 11月9日～11月21日	宗像ユリックス	585人	日本画・洋画・書・写真 185点
北九州展 11月24日～11月28日	北九州市立美術館	2,274人	全7部門 579点

## ○第77回県展(令和4年度)

会 期	会 場	入場者数	部 門・出 品 数
筑後展 10月10日～10月16日	大牟田文化会館	595人	日本画・洋画・書・写真 188点
筑豊展 10月18日～11月6日	嘉麻市立織田廣喜美術館	773人	日本画・洋画・書・写真・デザイン 251点
宗像展 11月8日～11月20日	宗像ユリックス	579人	日本画・洋画・書・写真 164点
北九州展 11月30日～12月4日	北九州市立美術館	1,811人	全7部門 565点

# 主要貸館展の開催状況一覧

(過去10か年)

年度	展覧会名	開催会期	開催日数	入場者数	主催者
25	2013福岡県シニア美術展	25.10.22～25.11.04	13日間	7,161	(公社)福岡県美術協会 福岡県社会福祉協議会
26	2014福岡県シニア美術展	26.10.15～26.10.26	11日間	2,807	(公社)福岡県美術協会 福岡県社会福祉協議会
27	ホジェル・メロ展	27.4.23～27.5.17	22日間	6,204	西日本新聞社
	2015福岡県シニア美術展	27.10.20～27.11.1	12日間	5,528	(公社)福岡県美術協会 福岡県社会福祉協議会
28	2016福岡県シニア美術展	28.10.12～28.10.23	11日間	6,028	(公社)福岡県美術協会 福岡県社会福祉協議会
29	2017福岡県シニア美術展	29.10.11～29.10.22	11日間	5,227	(公社)福岡県美術協会 福岡県社会福祉協議会
30	2018福岡県シニア美術展	30.7.3～30.7.16	13日間	5,203	福岡県 (公社)福岡県美術協会
31 (1)	2019福岡県シニア美術展	1.10.2～1.10.14	12日間	5,115	福岡県 (公社)福岡県美術協会
2	2020福岡県シニア美術展	2.10.3～2.10.11 福岡県立美術館(日・洋・彫・工) 〔2.10.3～2.10.8〕 〔アクロス福岡(書・写・デ)〕	8日間 〔6日間〕	1,502	福岡県 (公社)福岡県美術協会
3	2021福岡県シニア美術展	3.10.12～3.10.24	12日間	2,191	福岡県 (公社)福岡県美術協会
4	2022福岡県シニア美術展	4.10.12～4.10.23	11日間	4,944	福岡県 (公社)福岡県美術協会

---

# 美術館利用案内

## 利用案内

### ●開館時間

展覧会	午前 10 時～午後 6 時 (入場は午後 5 時 30 分まで)
ハイビジョン・ギャラリー	午前 9 時～午後 6 時
美術図書室	午前 9 時～午前 12 時、午後 1 時～午後 5 時 30 分
ビデオブース	午前 9 時～午後 5 時 30 分

### ●休館日

毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌平日)  
年末年始 (12 月 28 日～1 月 4 日)

## 交通案内

●福岡市地下鉄空港線	天神駅	徒歩 10 分
●西鉄天神大牟田線	西鉄福岡(天神)駅	徒歩 15 分
●西鉄バス	福岡市民会館	徒歩 2 分
	市民会館南口	徒歩 2 分
	天神北	徒歩 5 分
●自動車	福岡都市高速道路 [天神北] ランプ	3 分
	〃 [築港] ランプ	3 分
●専用駐車場	乗用車 50 台駐車可	